

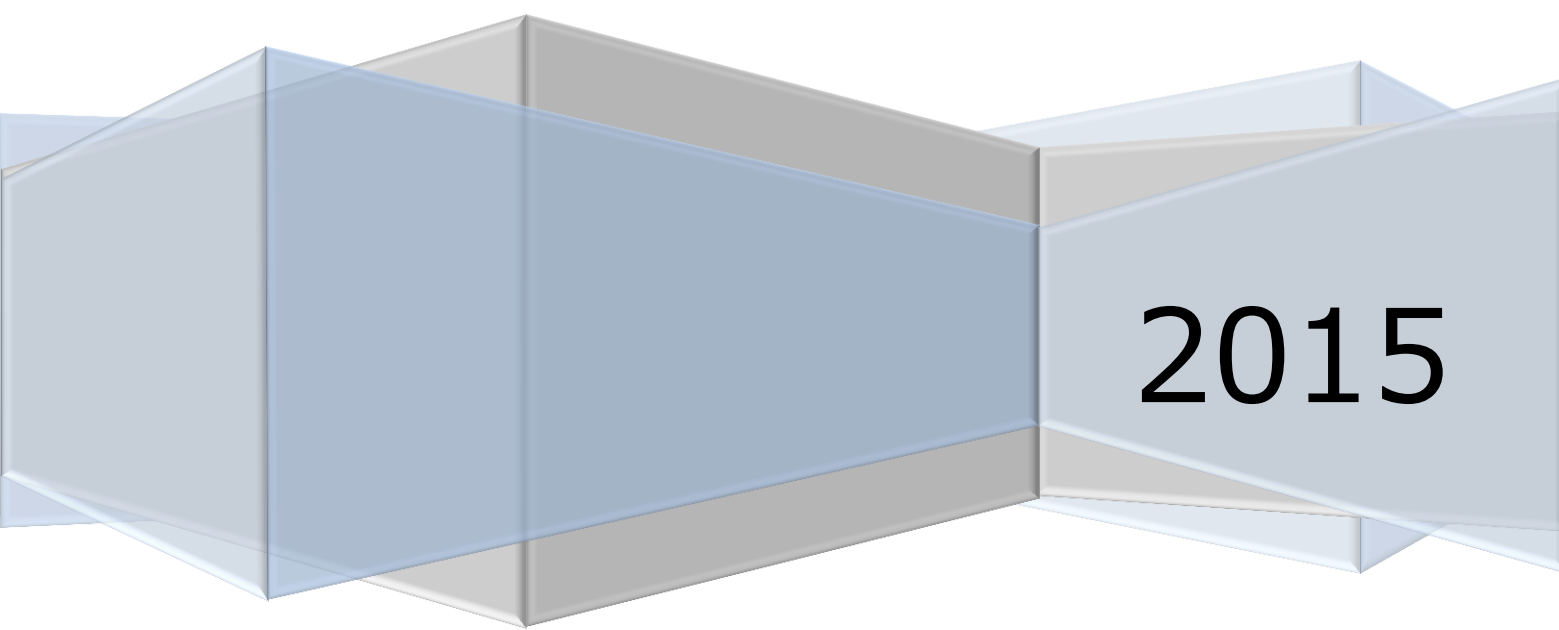
東京医科歯科大学教養部

教 育 要 項

－ 教養教育 －

医学部医学科 2・3 年

歯学部歯学科 2・3 年



2015

平成27年度医歯学融合教育(教養教育)

● 医学科・歯学科(2年生)

月日	曜日	回数	1時限(9:00～9:50)	2時限(10:05～10:55)	3時限(11:10～12:00)	
4月16日	木	1	生命科学基礎(生物学) (医学科・歯学科2年生対象) (服部・伊藤) (医学科講義室1 および大学院講義室4)	主題別選択Ⅰ(前半) (医学科・歯学科2年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)		
4月23日	木	2				
4月30日	木	3				
5月7日	木	4				
5月14日	木	5				
5月21日	木	6				
5月28日	木	7				
6月4日	木	8				
6月11日	木	9				
6月18日	木	10				
6月25日	木	1	生命科学基礎(化学) (医学科・歯学科2年生対象) (奈良・大塚) (医学科講義室1 および大学院講義室4)	主題別選択Ⅰ(後半) (医学科・歯学科2年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)		
7月2日	木	2				
7月9日	木	3				
7月16日	木	4				
7月23日	木	5				
9月17日	木		試験	試験		
10月1日	木	6	生命科学基礎(化学) (医学科・歯学科2年生対象) (奈良・大塚) (医学科講義室1および大学院講義室4)			
10月8日	木	7				
10月15日	木	8				
10月22日	木					
10月29日	木	9	生命科学基礎(化学) (医学科・歯学科2年生対象) (奈良・大塚) (医学科講義室1 および大学院講義室4)			
11月5日	木	10				
11月12日	木	1	生命科学基礎(物理学) (医学科・歯学科2年生対象) (檜枝・越野) (医学科講義室1 および大学院講義室4)			
11月19日	木	2				
11月26日	木	3				
12月3日	木	4				
12月10日	木	5				
12月17日	木	6				
1月7日	木					
1月14日	木	7	生命科学基礎(物理学) (檜枝・越野) (医学科講義室1 および大学院講義室4)			
1月21日	木	8				
1月28日	木	9				
2月4日	木	10				
2月18日	木		試験	試験		
3月3日	木		試験	試験	試験	

● 医学科・歯学科(3年生)

月日	曜日	回数	1時限(9:00～9:50)	2時限(10:05～10:55)	3時限(11:10～12:00)
4月16日	木	1		主題別選択Ⅱ(前半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)	主題別人文社会科学セミナー (前期:前半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)
4月23日	木	2			
4月30日	木	3			
5月7日	木	4			
5月14日	木	5			
5月21日	木	6			
5月28日	木	7			
6月4日	木	8			
6月11日	木	9			
6月18日	木	10			
6月25日	木	11		主題別選択Ⅱ(後半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)	主題別人文社会科学セミナー (前期:後半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)
7月2日	木	12			
7月9日	木	13			
7月16日	木	14			
7月23日	木	15			
10月1日	木	1			主題別人文社会科学セミナー (後期:前半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員)(講義室:次ページ参照)
10月8日	木	2			
10月15日	木				
10月22日	木	3			主題別人文社会科学セミナー (後期:前半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)
10月29日	木	4			
11月5日	木	5			
11月12日	木	6			
11月19日	木	7			主題別人文社会科学セミナー (後期:後半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)
11月26日	木	1			
12月3日	木	2			
12月10日	木	3			
12月17日	木	4			主題別人文社会科学セミナー (後期:後半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)
1月7日	木				
1月14日	木	5			
1月21日	木	6			
1月28日	木	7			
2月4日	木	8			

講義室一覧

(生命科学基礎)

	講義室	場所
1	医学科講義室1	3号館2階
2	大学院講義室4	M&Dタワー9階

(主題別選択Ⅰ・Ⅱ)

	講義室	場所
1	医学科講義室1	3号館2階
2	医学科講義室2	3号館3階
3	共用セミナー1	M&Dタワー24階
4	共用セミナー2	M&Dタワー23階
5	共用セミナー4	M&Dタワー22階
6	共用セミナー5	M&Dタワー15階
7	共用セミナー6	M&Dタワー15階
8	共用セミナー7	M&Dタワー14階
9	共用セミナー9	M&Dタワー8階
10	共用セミナー10	M&Dタワー8階
11	共用セミナー11	M&Dタワー6階
12	共用セミナー12	M&Dタワー6階
13	大学院講義室3	M&Dタワー11階
14	大学院講義室4	M&Dタワー9階
15	演習室4-11.12	3号館4階
16	演習室5-1.2	3号館5階
17	演習室5-3,4	3号館5階

(主題別人文社会科学セミナー・講義)

	講義室	場所
1	医学科講義室2	3号館3階
2	大学院講義室3	M&Dタワー11階
3	大学院講義室4	M&Dタワー9階
4	症例検討室	医学部附属病院5F
5	第4ゼミナール室	7号館6階
6	共用セミナー7	M&Dタワー14階
7	共用セミナー9	M&Dタワー8階
8	共用セミナー10	M&Dタワー8階
9	共用セミナー11	M&Dタワー6階
10	共用セミナー12	M&Dタワー6階

生命科学基礎

時間割番号	000505					
科目名	生命科学基礎(生物 A)					
担当教員	伊藤 正則					
開講時期	通年	対象年次	2			
・曜日・時間:木曜1限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 4ー2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける						
授業の目的、概要等 1年次の学習だけでは不十分な生物学の分野を補うとともに、生命科学のトピックスを取り上げることにより、専門教育の基礎となる部分を学習する。また、医歯学の専門と関わる教育の基礎部分を総合的に理解することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的とする。						
授業の到達目標(SBOs) 1)医歯学専門教育の基礎生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。 2)生命科学の基礎的な分野について必要に応じて自学自習を行い、理解を深めることができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	09:00-09:50	医学科講義室 1	生命科学基礎「生物学 A」	概論	伊藤 正則
2	4/23	09:00-09:50	医学科講義室 1	生命科学基礎「生物学 A」	生体内における概日時計の存在と機能	伊藤 正則
3	4/30	09:00-09:50	医学科講義室 1	生命科学基礎「生物学 A」	概日時計の存在部位	伊藤 正則
4	5/7	09:00-09:50	医学科講義室 1	生命科学基礎「生物学 A」	分子機構の解析方法	伊藤 正則
5	5/14	09:00-09:50	医学科講義室 1	生命科学基礎「生物学 A」	概日時計機能発現の分子機構①	伊藤 正則
6	5/21	09:00-09:50	医学科講義室 1	生命科学基礎「生物学 A」	概日時計機能発現の分子機構②	伊藤 正則
7	5/28	09:00-09:50	医学科講義室 1	生命科学基礎「生物学 A」	メラトニンの構造・生合成経路・機能・作用機序	伊藤 正則
8	6/4	09:00-09:50	医学科講義室 1	生命科学基礎「生物学 A」	周期性の適応的意義	伊藤 正則
9	6/11	09:00-09:50	医学科講義室 1	生命科学基礎「生物学 A」	ヒトでのリズム異常と病気	伊藤 正則
10	6/18	09:00-09:50	医学科講義室 1	生命科学基礎「生物学 A」	まとめ	伊藤 正則
授業方法 講義形式による。						
授業内容 生命科学のトピックスを取り上げ、基本的な知識とその知識の発展性・応用性を説明する。						
成績評価の方法 評価:試験による。生物学、化学、物理学の総合的評価による。前期では生物学と化学の前半部分の試験、後期では化学の後半部分と物理学の試験を行う。試験のいずれか1つでも受験しなかった場合は履修放棄とみなす。 再評価:有						
成績評価の基準						

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 知識が体系的になるようにノートを整理する等の複習を行うこと。
試験の受験資格 2/3以上出席したものに試験の受験資格を与える。
教科書 必要に応じて参考資料を配布する。
参考書 時間生物学の基礎　／富岡 憲治:裳華房, 2008
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。
連絡先 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp 服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室 服部 淳彦:毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000506				
科目名	生命科学基礎(生物B)				
担当教員	服部 淳彦, 伊藤 正則				
開講時期	通年	対象年次	2		
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける					
授業の目的、概要等					
1年次の学習だけでは不十分な生物学の分野を補うとともに、生命科学のトピックスである『時間生物学・時間医療科学』を取り上げることにより、専門教育の基盤を学習する。また、医歯学の専門と関わる教育の基礎部分を総合的に理解することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的とする。					
授業の到達目標(SBOs)					
1) 医歯学専門教育の基礎生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。 2) 生命科学の基礎的な分野について必要に応じて自学自習を行い、理解を深めることができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	09:00-09:50	大学院講義室 4	時間治療学: 入門編	服部 淳彦
2	4/23	09:00-09:50	大学院講義室 4	生命現象にみられるリズム性	服部 淳彦
3	4/30	09:00-09:50	大学院講義室 4	概日時計の性質	服部 淳彦
4	5/7	09:00-09:50	大学院講義室 4	概日時計の存在部位	服部 淳彦
5	5/14	09:00-09:50	大学院講義室 4	時計遺伝子とその制御	服部 淳彦
6	5/21	09:00-09:50	大学院講義室 4	概日時計からの出力系	服部 淳彦
7	5/28	09:00-09:50	大学院講義室 4	病気の中にみられるリズム性	服部 淳彦
8	6/4	09:00-09:50	大学院講義室 4	生物の進化とフリーラジカル	服部 淳彦
9	6/11	09:00-09:50	大学院講義室 4	フリーラジカルと疾病	服部 淳彦
10	6/18	09:00-09:50	大学院講義室 4	時間治療学: 応用編	服部 淳彦
授業方法					
講義形式による。					
授業内容					
生命科学の中でも『時間生物学・時間医療科学』のトピックスを中心に、生命現象の背後にある『時間』という概念の基本的な知識とその発展・応用例を取り上げる。					
成績評価の方法					
評価: 試験 100%					
生物学、化学、物理学の総合的評価による。前期では生物学と化学の前半部分の試験、後期では化学の後半部分と物理学の試験を行う。試験のいずれか1つでも受験しなかった場合は履修放棄とみなす。					

再評価:有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 講義の内容と関連のある書物を読むこと。
参考書 時間生物学の基礎／富岡憲治, 沼田英治, 井上慎一 共著, 裳華房, 2003
連絡先 服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 服部 淳彦:毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2) 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000501					
科目名	生命科学基礎(化学 A)					
担当教員	奈良 雅之, 大塚 淳					
開講時期	通年	対象年次	2			
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4ー2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける						
授業の目的、概要等 1年次の学習だけでは不十分な化学の分野を補うとともに、生命科学に関係するトピックを取り上げることにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養います。医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的としています。						
授業の到達目標(SBOs) 生命科学の土台となる化学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/25	09:00-09:50	医学科講義室 1	化学反応速度論(1)	反応速度、速度式、速度定数、反応次数	奈良 雅之
2	7/2	09:00-09:50	医学科講義室 1	化学反応速度論(2)	素反応と複合反応、反応の分子数	奈良 雅之
3	7/9	09:00-09:50	医学科講義室 1	化学反応速度論(3)	反応速度論の理論	奈良 雅之
4	7/16	09:00-09:50	医学科講義室 1	化学反応速度論(4)	触媒反応、酵素反応	奈良 雅之
5	7/23	09:00-09:50	医学科講義室 1	化学反応速度論(5)	酵素反応における阻害剤の影響	奈良 雅之
6	10/1	09:00-09:50	医学科講義室 1	生体高分子論(1)	糖鎖の化学(1)	大塚 淳
7	10/8	09:00-09:50	医学科講義室 1	生体高分子論(2)	糖鎖の化学(2)	大塚 淳
8	10/15	09:00-09:50	医学科講義室 1	生体高分子論(3)	アミノ酸の化学	大塚 淳
9	10/29	09:00-09:50	医学科講義室 1	生体高分子論(4)	タンパク質の化学	大塚 淳
10	11/5	09:00-09:50	医学科講義室 1	生体高分子論(5)	脂質の化学	大塚 淳
授業方法 講義形式による						
授業内容 生命科学に関係する生体高分子、反応速度論を学習します。						
成績評価の方法 評価: 試験 100% ・レポート0% その他(授業中の回答状況等も考慮される。) 再評価: 有 再試験						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						

予習:授業で行う項目について教科書・参考書などをあらかじめ読んでおく。 復習:授業で扱った項目について、教科書・参考書で確認し、演習問題などを通じて理解を深める。
試験の受験資格 定期試験(考査)・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席
教科書 生体分子化学／秋久俊博, 長田洋子 編秋久俊博, 長田洋子, 浅田泰男, 石塚盛雄, 小池一男, 神野英毅, 西尾俊幸, 宮澤三雄 著, 共立出版, 2008 数学いらずの化学反応論: 反応速度の基本概念を理解するために／齋藤勝裕 著, 化学同人, 2009
参考書 マクマリー有機化学(下)／JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明 訳者代表, 東京化学同人, 2013 アトキンス生命科学のための物理化学／Peter Atkins, Julio de Paula 著,稲葉章, 中川敦史 訳, 東京化学同人, 2008
履修上の注意事項 生命科学基礎の評価は、生物学、化学、物理学の総合評価で行う。前期の定期試験では、生物学と化学(の前半)、後期の定期試験では化学(の後半)と物理学について行う。試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。
連絡先 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000502					
科目名	生命科学基礎(化学B)					
担当教員	奈良 雅之, 大塚 淳					
開講時期	通年	対象年次	2			
・曜日・時間: 木曜1時限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4ー2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける						
授業の目的、概要等						
1年次の学習だけでは不十分な化学の分野を補うとともに、生命科学に関係するトピックを取り上げることにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養います。医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的としています。						
授業の到達目標(SB0s)						
生命科学の土台となる化学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/25	09:00-09:50	大学院講義室 4	生体高分子論(1)	糖鎖の化学(1)	大塚 淳
2	7/2	09:00-09:50	大学院講義室 4	生体高分子論(2)	糖鎖の化学(2)	大塚 淳
3	7/9	09:00-09:50	大学院講義室 4	生体高分子論(3)	アミノ酸の化学	大塚 淳
4	7/16	09:00-09:50	大学院講義室 4	生体高分子論(4)	タンパク質の化学	大塚 淳
5	7/23	09:00-09:50	大学院講義室 4	生体高分子論(5)	脂質の化学	大塚 淳
6	10/1	09:00-09:50	大学院講義室 4	化学反応速度論(1)	反応速度、速度式、速度定数、反応次数	奈良 雅之
7	10/8	09:00-09:50	大学院講義室 4	化学反応速度論(2)	素反応と複合反応、反応の分子数	奈良 雅之
8	10/15	09:00-09:50	大学院講義室 4	化学反応速度論(3)	反応速度論の理論	奈良 雅之
9	10/29	09:00-09:50	大学院講義室 4	化学反応速度論(4)	触媒反応、酵素反応	奈良 雅之
10	11/5	09:00-09:50	大学院講義室 4	化学反応速度論(5)	酵素反応における阻害剤の影響	奈良 雅之
授業方法						
講義形式による						
授業内容						
生命科学に関係する生体高分子、反応速度論を学習します。						
成績評価の方法						
評価: 試験 100%・レポート0% その他(授業中の回答状況等も考慮される。)						
再評価: 有 再試験						
成績評価の基準						
評価: 試験 100%・レポート0% その他(授業中の回答状況等も考慮される。)						

再評価:有 再試験
準備学習などについての具体的な指示 予習:授業で行う項目について教科書・参考書などをあらかじめ読んでおく。 復習:授業で扱った項目について、教科書・参考書で確認し、演習問題などを通じて理解を深める。
試験の受験資格 定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席
教科書 数学いらずの化学反応論:反応速度の基本概念を理解するために/齋藤勝裕 著.:化学同人, 2009 生体分子化学/秋久俊博, 長田洋子 編秋久俊博, 長田洋子, 浅田泰男, 石塚盛雄, 小池一男, 神野英毅, 西尾俊幸, 宮澤三雄 著.:共立出版, 2008
参考書 アトキンス生命科学のための物理化学/Peter Atkins, Julio de Paula 著,稲葉章, 中川敦史 訳.:東京化学同人, 2008 マクマリー有機化学(下)/JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明 訳者代表.:東京化学同人, 2013
履修上の注意事項 生命科学基礎の評価は、生物学、化学、物理学の総合評価で行う。前期の定期試験では、生物学と化学(の前半)、後期の定期試験では化学(の後半)と物理学について行う。試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。
連絡先 奈良 雅之nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒボクラテス 4 階

時間割番号	000503					
科目名	生命科学基礎(物理 A)					
担当教員	越野 和樹					
開講時期	通年	対象年次	2			
・曜日・時間:木曜1限 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2－1) 別表4－2)						
授業の目的、概要等 1年次の学習だけでは不十分な物理学の分野を補うとともに、振動・波動に関係するトピックを取り上げることにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養います。						
授業の到達目標(SB0s) 医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的としています。生命科学の土台となる物理学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができることを到達目標とします。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	11/12	09:00-09:50	医学科講義室 1	単振動	力学・電磁気学の単振動現象を復習する	越野 和樹
2	11/19	09:00-09:50	医学科講義室 1	連成振動(1)	質点が二つある場合の連成振動を議論する	越野 和樹
3	11/26	09:00-09:50	医学科講義室 1	連成振動(2)	質点が多数ある場合の連成振動を議論する	越野 和樹
4	12/3	09:00-09:50	医学科講義室 1	減衰振動	摩擦のある場合の振動を議論する	越野 和樹
5	12/10	09:00-09:50	医学科講義室 1	強制振動	外力のある場合の振動を議論する	越野 和樹
6	12/17	09:00-09:50	医学科講義室 1	波動方程式	連続体の運動方程式から波動方程式を導出する	越野 和樹
7	1/14	09:00-09:50	医学科講義室 1	波の反射と透過	波が異なる媒質を伝播する際の反射係数・透過係数を導出する	越野 和樹
8	1/21	09:00-09:50	医学科講義室 1	定在波	定在波について議論する	越野 和樹
9	1/28	09:00-09:50	医学科講義室 1	電磁波(1)	マクスウェル方程式の積分形・微分形に関する復習	越野 和樹
10	2/4	09:00-09:50	医学科講義室 1	電磁波(2)	微分形マクスウェル方程式から電磁波の方程式を導出する	越野 和樹
授業方法 講義による						
授業内容 単振動／連成振動／減衰振動／強制振動／波動方程式／波の反射と透過／定在波／電磁波						
成績評価の方法 試験による。 生命科学基礎の評価は、生物学、化学、物理学の総合評価で行う。前期の定期試験では、生物学と化学(の前半)、後期の定期試験では化学(の後半)と物理学について行う。試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示 講義資料をあらかじめダウンロードし(URLは別途指示)印刷しておくことを前提とする。						
参考書						

時間割番号	000504					
科目名	生命科学基礎(物理B)					
担当教員	檜枝 光憲					
開講時期	通年	対象年次	2			
木曜日・1 時限(9:00-9:50)						
主な講義場所 大学院講義室 4						
授業の目的、概要等 目的 : 1 年次の学習だけでは不十分な物理学の分野を補うとともに、振動・波動に関係するトピックを取り上げることにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養う。 医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくこと。						
授業の到達目標(SB0s) 生命科学の土台となる物理学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができるようになること。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	11/12	09:00-09:50	大学院講義室 4	波動	波とは	檜枝 光憲
2	11/19	09:00-09:50	大学院講義室 4	波動	調和振動子	檜枝 光憲
3	11/26	09:00-09:50	大学院講義室 4	波動	連成振動	檜枝 光憲
4	12/3	09:00-09:50	大学院講義室 4	波動	1次元弾性波	檜枝 光憲
5	12/10	09:00-09:50	大学院講義室 4	波動	定在波	檜枝 光憲
6	12/17	09:00-09:50	大学院講義室 4	波動	反射と屈折	檜枝 光憲
7	1/14	09:00-09:50	大学院講義室 4	波動	電磁波(1)	檜枝 光憲
8	1/21	09:00-09:50	大学院講義室 4	波動	電磁波(2)	檜枝 光憲
9	1/28	09:00-09:50	大学院講義室 4	波動	回折と干渉	檜枝 光憲
10	2/4	09:00-09:50	大学院講義室 4	波動	鏡とレンズ	檜枝 光憲
授業方法 講義						
授業内容 波とは 調和振動子 連成振動とモード 1 次元弾性波 定在波 反射と屈折 電磁波の性質(1) 電磁波の性質(2) 回折と干渉 鏡とレンズ						

成績評価の方法 試験による。 生命科学基礎の評価は、生物学、化学、物理学の総合評価で行う。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業前にテキストに目を通し、大雑把な講義の内容を把握すること。
教科書 波動/川村清 著:東京数学社, 1998
連絡先 hieda.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜 17:00～19:00 ヒボクラテス 4 階

主題別教育(医学科・歯学科)について

【目的】

人間とは何か。これまで、偉大な先人達が、「人間」の解明にあらゆる観点からいどみ、説明を試みてきました。それらは、「知」として蓄積され、私たちをさらなる思索へと導いてくれます。

あらゆる学問は、この人間について思索をめぐらせ、理論化しようとするところから始まったといってもよいでしょう。人間とは甚だ不可思議な、得体の知れない存在です。私たちは、このよく分からない人間として、よく分からない人間が構築する世界で、よく分からない人間と一緒に生きていかねばなりません。人間をめぐる思索は、自分自身の姿、あるいは自分たちが生きる世界の構造を明らかにしようとする営みにほかならず、人間として生きていく上での必然的行為であり、人間の宿命であるともいえます。

主題別教育は、この「人間」という存在について、人間を生物的社会的存在たらしめている要素である「文化」「生命」「言語」「制度」「時間」という5つの視点から考えてみようという取り組みです。

ゴールは、3年次に行う「主題別人文社会科学セミナー」です。このセミナーでは、各主題に分かれて、担当者の指導のもと、自ら問題を設定し、調査・考察・討論を経て、一定の結論を導出します。1年次および2年次には、その準備として、視野を広げ、基礎的な知識や考え方を身につけます。

セミナー修了時には、みなさんは、自分が選択した主題の観点を中心に、「人間」という存在について、自分なりの考えを持つことになるでしょう。もちろん、それは「絶対的な正解」ではありません。しかし、各自が、3年間かけてたどりついた一つの「結論」です。

そして、この「結論」は、さらなる「新たな問い」を生みだし、「思索」を促し、「新たな結論」へとみなさんを導くでしょう。この、「問い」から「結論」へ、そして「新たな問い」へという、とどまることを知らない学問のダイナミズムを体験すること、そして、自ら思索する力強さを身につけること、これが主題別教育の目的です。

ここでの取り組みは、将来、「人間」そのものを対象とすることになる医学・歯学系の皆さんを支える、大きな力となるはずです。

【5つの主題】

文化と人間 生命と人間 言語と人間 制度と人間 時間と人間

各主題の目的は次の通りです。

文化と人間	文化とは、人間が創造し習得する精神的な価値の総体である。また、文化とは象徴的記号の体系である。そのような文化を理解することによって、人間の本質を捉えようとするのが目的である。
生命と人間	人間を含むあらゆる生物には生命が宿っている。医療はその生命と常に向き合わなければならない。その生命の多様な現象と、それに対する人間の様々な認識のありようを理解することが目的である。
言語と人間	人間と動物とを区別する最大の要素は言語の使用にある。人間は言語によって、自らの世界を構築してきた。その言語に関する様々な事象を理解することによって、人間の本質を捉えようとするのが目的である。
制度と人間	社会的生物である人間は、様々な制度に取り巻かれて生きている。その制度を相対的に理解することと、制度の構造を分析することによって、人間のありようを理解することが目的である。
時間と人間	人間は時間的存在であり、時間的拘束のもとに生きている。時間を相対的に理解し、その構造を明らかにすることによって、人間存在の本質を理解することが目的である。

上の5つの主題の中から、1つ選択します。各主題とも、定員は約30名です。

3年次の「主題別人文社会科学セミナー」は、この主題に分かれて開講されます。各セミナーは、1年次の人文社会科学科目の「主題に関連の深い科目」の担当者が担当する予定です（この1年次人文社会科学の「主題に関連の深い科目」については、次の【各学年の履修について】で説明します）。

どの主題に進むかを決定する時期は、2年進級時です。1年生の2月に「希望調査」を取り、希望を考慮しながら、各主題とも約30名になるように振り分けます。

1年生の間に、色々な科目を履修しながら、自分がどの主題を選択するかを考えておいて下さい。

【各学年の履修について】

1 年生：基盤の形成

必修科目・必修選択科目・自由選択科目などで、さまざまな分野の科目が開講されています。それらに取り組むことにより、それぞれの学問分野における基礎的な知識や、科学的な思考方法を身につけます。

同時に、人間に関する根源的な問いに対して、これまで人間自身がどのようにアプローチし、どのように理論化してきたのかということ学びます。そして、「問いの継続と発展」という学問のありようを理解します。

1 年生は、このように 3 年生のセミナーに向けて基礎体力を養いながら、自分がどの主題に進むかを考える期間です。

特に、人文社会科学科目には、「主題に関連の深い科目」は設けられています（下表）。自分が進むかもしれないと思う主題については、その「主題に関連の深い科目」の中にある科目を、積極的に履修しておくことをお勧めします。

主題に関連の深い科目は次の通りです。各授業の内容については、それぞれのシラバスを参照して下さい。

主題	関連の深い科目
文化と人間	文化人類学、歴史学、社会学
生命と人間	哲学、倫理学、宗教学
言語と人間	文学、哲学、文化人類学
時間と人間	歴史学、社会思想史、社会学
制度と人間	政治学、法学、社会科学特論

2・3 年生前期：主題別選択科目一視点の拡充

2・3 年生では、前期の木曜日午前中に、「主題別選択科目」が開講されます。

「主題別選択科目」とは、主題について考察できる、様々な学問分野にまたがった複合的な内容の選択科目です。各科目とも、50 分間の授業が 7 回行われます。2 年生と 3 年生が合同で受講します。具体的には、各主題において、下表のような科目が開講されます。開講科目は、若干の変更の可能性があります。2 年前期の前半 8 回、前期の後半 7 回、3 年前期の前半 8 回、前期の後半 7 回にそれぞれ 1 科目ずつ履修します。自分が選択した主題の「主題別選択科目」の中から 2 科目以上を履修することが必要です。ただし、2 年前期の前半・後半はいずれも、自分が選択した主題の「主題別選択科目」の中から履修しなければなりません。また、同一教員の科目を 2 回以上選択することはできません。前半 7 回と後半 7 回、合計 2 科目を履修して、1 単位取得となります。

(例)「言語と人間」を選択した学生

→ 2 年前期の前半 7 回「バルト『エッフェル塔』を読む」履修

〃 後半 7 回「数理理論と形式言語」履修

(この 2 科目で 1 単位取得)

主題	主題別選択科目 (27 年度開講)	
	2 年の前期前半 8 回 (50 分×8 回)	2 年の前期後半 7 回 (50 分×7 回)
文化と人間	いのちと医療の歴史学 (田中) スポーツと健康 (水野) バルト『エッフェル塔』を読む (中島) ドイツとヨーロッパの社会 (シンチ) 現代の日中関係 (家永) 社会の中の数学 (清田) 物理数学演習 (越野) 医療と物理の関係性 (檜枝) 社会の中の科学 (奈良) 食品の科学 (大塚) 生物学のコミュニケーション (伊藤)	いのちと医療の倫理学 (田中) スポーツと心 (水野) フランス詩を読む (中島) ドイツとヨーロッパの現在 (シンチ) 中国政治テキスト分析 (家永) タンパク質科学の光と影 (奈良) 民主主義を再考する (藤井) 微分方程式演習 (越野) 生物と環境 (伊藤)
生命と人間	スポーツと健康 (水野) 医療と物理の関係性 (檜枝) 物理数学演習 (越野) 食品の科学 (大塚) 生物の中の糖 (勝又) 宇宙と生命 (服部) 生物学のコミュニケーション (伊藤) 医療の社会学 (藤井) ヒトの脳と言語 (戸張)	スポーツと心 (水野) タンパク質科学の光と影 (奈良) 植物の科学 (大塚) 老化と寿命 (服部) 英語で学ぶヒトの脳と言語 (戸張) 微分方程式演習 (越野) 生物と環境 (伊藤)
言語と人間	ディアスポラ (離散社会) の言語と文学 (高尾) バルト『エッフェル塔』を読む (中島) ドイツとヨーロッパの社会 (シンチ) ヒトの脳と言語 (戸張) 生物学のコミュニケーション (伊藤)	ディアスポラの文化 (高尾) フランス詩を読む (中島) ドイツとヨーロッパの現在 (シンチ) 中国政治テキスト分析 (家永) 数理理論と形式言語 (清田) 医療技術と物理 (檜枝) 民主主義を再考する (藤井) 英語で学ぶヒトの脳と言語 (戸張) 微分方程式演習 (越野)
制度と人間	いのちと医療の歴史学 (田中) バルト『エッフェル塔』を読む (中島) ドイツとヨーロッパの社会 (シンチ) 現代の日中関係 (家永) 社会の中の数学 (清田) 社会の中の科学 (奈良) 医療の社会学 (藤井) 物理数学演習 (越野)	ドイツとヨーロッパの現在 (シンチ) 中国政治テキスト分析 (家永) 数理理論と形式言語 (清田) 医療技術と物理 (檜枝) 危険物の科学 (勝又) 民主主義を再考する (藤井) 微分方程式演習 (越野) 生物と環境 (伊藤)

時間と人間	語り（ナラティヴ）の構造（土佐） ドイツとヨーロッパの社会（シンチ） 現代の日中関係（家永） 食品の科学（大塚） 宇宙と生命（服部） 医療の社会学（藤井） 生物学のコミュニケーション（伊藤）	語り（ナラティヴ）と時間（土佐） いのちと医療の倫理学（田中） フランス詩を読む（中島） ドイツとヨーロッパの現在（シンチ） 中国政治テキスト分析（家永） 数理論と形式言語（清田） 医療技術と物理（檜枝） タンパク質科学の光と影（奈良） 植物の科学（大塚） 老化と寿命（服部） 民主主義を再考する（藤井） 微分方程式演習（越野） 生物と環境（伊藤）
-------	---	--

また、3年次に行われる主題別人文社会科学セミナーの担当者から、2年生の間にやっておくべき課題が提示される場合があります。2年生は、「主題別選択科目」を受講し、同時にその課題に取り組みながら、主題に関する視点の拡充をめざします。

3年生：主題別人文社会科学セミナー—思考の深化—

3年生では、主題ごとに、セミナーを受講します。

各主題の学生30人を、10人ずつのグループA・B・Cに分けます。セミナーは、このグループごとに、7回ずつ行われます。セミナーを担当する教員は、1年次人文社会科学の「主題に関連の深い科目」担当教員の予定です。

セミナーと平行して、「医療と法」および「医療と社会」という二つの講義科目が7回ずつ開講されます。グループごとに「セミナー」「医療と法」「医療と社会」を7回ずつ受講します。そして、学年の最後に関講される「総括セミナー」において、主題に関する自らの取り組みをレポートにまとめます。「総括セミナー」は、主題ごとに30人全員が参加し、討論を経てレポート執筆に取り組めます。

グループ (各10人)	前 期		後 期	
	前半7回	後半7回	前半7回	後半7回
グループA	セミナー	医療と社会	医療と法	総括セミナー (セミナー論文執筆)
グループB	医療と法	セミナー	医療と社会	
グループC	医療と社会	医療と法	セミナー	

1年生において基礎力を身に付け、自ら問いを見出す意識を養い、2年生「主題別選択科目」において視野を広げてきました。3年生「主題別人文社会科学セミナー」では、それらを前提にして、問題を設定し結論の導出を目指します。

問題設定は、自らの興味や関心にもとづいて、担当教員のアドバイスを受けながら、学生それぞれが設定します。その問題について、調査や考察を行い、またその結果を他の受

講生と共有して、問題点を指摘しあいながら結論を導き出すのが「セミナー」です。そして、これらを集大成するのが、「総括セミナー（セミナー論文執筆）」です。

「総括セミナー（セミナー論文執筆）」、ここがこの主題別教育のゴール地点となります。

「総括セミナー（セミナー論文執筆）」までの予定

4月16（木）：各主題でオリエンテーション。

担当者より、セミナー計画・日程・セミナー論文の問題設定の仕方などについて説明。

4月23（木）～11月19日（木）：セミナーと講義

11月26日（木）～平成28年2月4日（木）：総括セミナー

2月12日（金）：提出締切（予定）

【今後の予定】

2年生 4月～9月 「主題別選択Ⅰ」受講

3月 「主題別人文社会科学セミナー」履修の説明

3年生 4月～9月 「主題別選択Ⅱ」受講

4月～3月 「主題別人文社会科学セミナー」受講

【成績・評価について】

主題別選択Ⅰ・Ⅱ 前半と後半をあわせてそれぞれ1単位。

原則としてレポート（80点）、出席（20点）で評価。

ただし、レポートの代替として、授業の最終日に試験を実施することがある。

主題別人文社会科学セミナーと講義 あわせて2単位

原則として講義における試験と総括セミナーにおけるレポート（80点）、出席（20点）で評価。

主題別選択 I ・ II

時間割番号	000601																																																																	
科目名	主題別選択Ⅰ（語り(ナラティブ)の構造)																																																																	
担当教員	土佐 朋子																																																																	
開講時期	前期	対象年次	2																																																															
・曜日・時間:木曜 2 限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・受講資格:「言語と人間」「時間と人間」の主題であること ・科目を履修して得られる能力(コンピテシー) 別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る																																																																		
授業の目的、概要等 人間は、自らを存在させるために「語り」を必要とする生き物である。 本授業の目的は、人間の「語り」の構造について、基本的な考え方を学び、理解を深めることである。到達目標は、3年次のセミナーにおいて、自らの主題にもとづいて問題設定をし解決していくために必要な思考力が、「語り」という観点から養われることである。 古典から近現代までの複数の文学作品を用いながら、それぞれの語りの特徴を指摘し、そのことがどのような効果を発揮し得るかを考察する。																																																																		
授業の到達目標(SBOs) ①人間が語る生き物であることの意味を考える土台を築く。 ②3年次のセミナー論文における問題設定の糸口をつかむ。																																																																		
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>授業題目</td><td>授業内容</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/16</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 6</td><td>ガイダンス</td><td>「語り」とは何か。本授業の問題意識を説明する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>2</td><td>4/23</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 6</td><td>「語り」に必要な要素「X」</td><td>夏目漱石は「猫」か。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>3</td><td>4/30</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 6</td><td>「語り手」と「作者」の不思議な関係</td><td>「わたし」は誰のミステリー。江戸川乱歩『人間椅子』の不気味な世界を語り手の問題から考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>4</td><td>5/7</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 6</td><td>「わたし」の語り</td><td>「わたし」を創り上げるのは「わたし」。夏目漱石『こころ』の二人の「わたし」の語りを語り手の問題から考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>5</td><td>5/14</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 6</td><td>「わたし」の「嘘」―『舞姫』の語り①―</td><td>「わたし」を語るのは「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りの危うさを考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>6</td><td>5/21</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 6</td><td>「わたし」の「嘘」―『舞姫』の語り②―</td><td>フィクションとしての「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りのフィクション性を考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>7</td><td>5/28</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 6</td><td>「語り」を創り上げるもの</td><td>「語り」の中の「真実」。芥川龍之介『藪の中』の語り「真実」はあるのかを考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>8</td><td>6/4</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 6</td><td>総括</td><td></td><td>土佐 朋子</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/16	10:05-10:55	共用セミナー室 6	ガイダンス	「語り」とは何か。本授業の問題意識を説明する。	土佐 朋子	2	4/23	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「語り」に必要な要素「X」	夏目漱石は「猫」か。	土佐 朋子	3	4/30	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「語り手」と「作者」の不思議な関係	「わたし」は誰のミステリー。江戸川乱歩『人間椅子』の不気味な世界を語り手の問題から考察する。	土佐 朋子	4	5/7	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「わたし」の語り	「わたし」を創り上げるのは「わたし」。夏目漱石『こころ』の二人の「わたし」の語りを語り手の問題から考察する。	土佐 朋子	5	5/14	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「わたし」の「嘘」―『舞姫』の語り①―	「わたし」を語るのは「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りの危うさを考察する。	土佐 朋子	6	5/21	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「わたし」の「嘘」―『舞姫』の語り②―	フィクションとしての「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りのフィクション性を考察する。	土佐 朋子	7	5/28	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「語り」を創り上げるもの	「語り」の中の「真実」。芥川龍之介『藪の中』の語り「真実」はあるのかを考察する。	土佐 朋子	8	6/4	10:05-10:55	共用セミナー室 6	総括		土佐 朋子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																												
1	4/16	10:05-10:55	共用セミナー室 6	ガイダンス	「語り」とは何か。本授業の問題意識を説明する。	土佐 朋子																																																												
2	4/23	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「語り」に必要な要素「X」	夏目漱石は「猫」か。	土佐 朋子																																																												
3	4/30	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「語り手」と「作者」の不思議な関係	「わたし」は誰のミステリー。江戸川乱歩『人間椅子』の不気味な世界を語り手の問題から考察する。	土佐 朋子																																																												
4	5/7	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「わたし」の語り	「わたし」を創り上げるのは「わたし」。夏目漱石『こころ』の二人の「わたし」の語りを語り手の問題から考察する。	土佐 朋子																																																												
5	5/14	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「わたし」の「嘘」―『舞姫』の語り①―	「わたし」を語るのは「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りの危うさを考察する。	土佐 朋子																																																												
6	5/21	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「わたし」の「嘘」―『舞姫』の語り②―	フィクションとしての「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りのフィクション性を考察する。	土佐 朋子																																																												
7	5/28	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「語り」を創り上げるもの	「語り」の中の「真実」。芥川龍之介『藪の中』の語り「真実」はあるのかを考察する。	土佐 朋子																																																												
8	6/4	10:05-10:55	共用セミナー室 6	総括		土佐 朋子																																																												
授業方法 講義を中心とする。																																																																		
授業内容 語りが成立するために必要な要素の確認から始め、それらがどのように機能して、どのような構造を作っているかを、作品を通して具体的に考察する。とりあげる作品は、『古事記』『万葉集』などの古典、江戸川乱歩『人間椅子』、夏目漱石『こころ』、森鷗外『舞姫』、芥川龍之介『藪の中』などを予定している。																																																																		

成績評価の方法 評価:試験 0%・レポート 80% その他 20% (授業への参加度・授業中の小レポート等) 再評価:有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 作品を自分でよく読むこと。授業で扱う作品に限らず、幅広く作品を読むこと。
試験の受験資格 レポート提出には、原則として3分の2以上の出席が必要。
教科書 プリントを使用する。
参考書 『対象喪失：悲しむということ』／小此木 啓吾／著、中央公論新社、1979 『時間と自我』／大森荘蔵、青土社、1992 『ナラティブ・メディスン：物語能力が医療を変える』／Rita Charon [著]、斎藤清二、岸本寛史、宮田靖志、山本和利 訳、医学書院、2011 『ナラティブ・ベイスト・メディスン：臨床における物語りと対話』／トリシャ・グリーンハル 編集、ブライアン・ハーウィッツ 編集、斎藤 清二 監訳、山本 和利 監訳、岸本 寛史 監訳、金剛出版 『臨床とことば』／河合隼雄、鷺田清一 著、朝日新聞出版、2010 『ナラティブと医療』／江口重幸、斎藤清二、野村直樹 編、金剛出版、2006 『ほんとうの構造主義：言語・権力・主体』／出口顯 著、NHK 出版、2013
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
連絡先 tosa.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜 PM.12:30-PM.14:50 管理研究棟 2 階文学研究室

時間割番号	000602					
科目名	主題別選択Ⅰ（いのちと医療の歴史学）					
担当教員	田中 智彦					
開講時期	前期	対象年次	2			
◇ 曜日・時間: 木曜 2 限						
◇ 対象学科: 医学科・歯学科						
◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)						
別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する						
別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る						
別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる						
授業の目的、概要等						
私たちの「ものの見方」は、私たちが思っている以上に、私たちの言語・文化・歴史に影響され、制約されています。「いのち」や「医学・医療」についても例外ではありません。それどころか、この二つのうちにこそ私たち現代人の「ものの見方」が典型的に映し出されている、と言っても過言ではないほどです。しかし他方で、そうした「ものの見方」はふだん「当たり前」のこととして通用しているので、そこからは何がどのように見えているのか、そしてまた見えていないのかは、なかなか問われることがありません。						
あらためてそのような問いを立て、それを歴史の観点から考察してゆくのがこの授業です。他の人びとは別にしても、「医学・医療」を志し、「いのち」に関わることを一生の仕事にしようとするのなら、せめて一度なりともそのような問いに取り組んでみる必要があるでしょう。この授業ではそうした機会を提供するべく、「授業詳細日程」に記すような論点について検討してゆきます。						
授業の到達目標(SB0s)						
(1) 上記の試みをつづじて、近代以降の「いのち」へのまなざしの変遷とその問題点とについて理解を深めること。						
(2) それとともに、近代以降の医学・医療の展開における問題点をも省みることのできる視点を得ること。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	「医師」の誕生	近代に医学はいかに変貌したか ①	田中 智彦
2	4/23	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	医学と近代国家	近代に医学はいかに変貌したか ②	田中 智彦
3	4/30	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	「いのち」の選別①	「優れた生」をめぐる思想と政治	田中 智彦
4	5/7	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	「いのち」の選別②	「生きるに値しない生命」という言説	田中 智彦
5	5/14	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	その時、日本は…	日本の近代化と医学・医療を省みる	田中 智彦
6	5/21	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	医学・医療と現代社会	見えていることと見えていないこと	田中 智彦

			習室 5-3, 医学科演習室 5-4		と		
7	5/28	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	まとめ	過去からの問いに学ぶ	田中 智彦	
8	6/4	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	総括		田中 智彦	
授業方法 授業は講義形式で行う予定です。 教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。							
授業内容 「授業詳細日程」にある通り							
成績評価の方法 ◇評価: レポート 80% その他 20% (出席状況、コメントシートへの回答など) ◇再評価: 有 (レポート)							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による							
準備学習などについての具体的な指示 授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。							
試験の受験資格 ◇ レポートの提出資格: 原則 7 回中 5 回以上の出席							
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。							
連絡先 tanaka.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 毎週月曜日 11:00～13:00 管理研究棟 2 階 哲学研究室							

時間割番号	000603					
科目名	主題別選択Ⅰ（スポーツと健康）					
担当教員	水野 哲也					
開講時期	前期	対象年次	2			
曜日・時間: 木曜 2 限 対象学科: 医学科・歯学科 2 年 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－4)異なる空間の文化を理解する 別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する						
授業の目的、概要等 本授業では、生活の身近にある「スポーツ」また「健康」とは何か？、を原点に立ち返って、今一度考えてみたい。授業では、私(水野)の考える「スポーツとは？」、「健康とは？」を述べるが、これは私論である。よって、授業の後半では受講者各自が考える「スポーツ」また「健康」とは？ を発表し、その本質について共に考えたい。						
授業の到達目標(SBOs) 本授業の最終到達目標は、主題別選択授業のテーマでもある偏らない思考や物の見方をどのようにして身に付けてゆくか？を実践的に学ぶことである。よって、学生各自が本授業の題目である「スポーツと健康」に関する独自のテーマを設定し、それぞれの私論を述べるとともに意見交換し、授業終了後にそれらを基に 1600～2000 字のレポートをまとめることを具体的な到達目標とする。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	共用セミナー室1	スポーツとは？、健康とは？	スポーツの語源、健康の定義等からその本質について考えます	水野 哲也
2	4/23	10:05-10:55	共用セミナー室1	文化とは？	文化の定義等から文化としてのスポーツ、また健康文化について考えます	水野 哲也
3	4/30	10:05-10:55	共用セミナー室1	健康を作り出す文化とは？	健康文化としての養生、衛生、セルフケアなど取り上げ、その原理的特徴を考えます。そして、より良い医療文化とはどのようなものか？ 皆さんと一緒に考えます	水野 哲也
4	5/7	10:05-10:55	共用セミナー室1	健康のためのスポーツとは？	「スポーツは健康にいい」とか、「スポーツをすると健康になる」とか言いますが、どのようなスポーツが本当に健康づくりに役立つのでしょうか？	水野 哲也
5	5/14	10:05-10:55	共用セミナー室1	スポーツマンの健康とは？	『お相撲さんは短命だ』と言われる。では、スポーツマンにとっての健康とはどのようなことをいうのでしょうか？	水野 哲也
6	5/21	10:05-10:55	共用セミナー室1	発表「私の考えるスポーツと健康」その1	授業前半での講義等を聴いて、あなたが考える「スポーツと健康」に関してのテーマについて発表して頂きます。発表時間、方法については受講者数等を考慮した上で決定し、授業前半に指定します。	水野 哲也
7	5/28	10:05-10:55	共用セミナー室1	発表「私の考えるスポーツと健康」その2	授業前半での講義等を聴いて、あなたが考える「スポーツと健康」に関してのテーマについて発表して頂きます。発表時間、方法については受講者数等を考慮した上で決	水野 哲也

					定し、授業前半に指定します。		
8	6/4	10:05-10:55	共用セミナー室1	総括		水野 哲也	
授業方法 授業は講義形式で実施するが、後半はその学習効果を上げるために発表、討議型の授業を行う。							
授業内容 「スポーツとは?」、「健康とは?」、そして「文化とは?」について考え、その後「スポーツは文化か?」、「健康づくりは文化か?」などについて事例やデータを基に水野の私論を述べる。その後、受講者の発表を行い、意見交換する。							
成績評価の方法 評価:出席 30%、各授業時の参加度 20%、レポート 50% 再評価: 有							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 本授業では単に授業に出席して講義を聴くだけでなく、主体性をもって主題(自ら選択したテーマ)について考える積極的な態度や姿勢が求められる。発表の内容をしっかりと準備してください。							
試験の受験資格 本授業は、原則全授業の 2/3(全 7 回のうち 5 回)以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。							
参考書 痛快!みんなのスポーツ学／辻秀一 著:集英社インターナショナル, 2001							
他科目との関連 1年次のスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。							
連絡先 mizuno.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2 階							

時間割番号	000604					
科目名	主題別選択Ⅰ（バルト『エッフェル塔』を読む）					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	前期	対象年次	2			
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 別表1－1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－3) 人間の歴史的営みを理解する 別表1－4) 異なる空間の文化を理解する						
主な講義場所 湯島						
授業の目的、概要等 フランスの批評家、ロラン・バルトの『エッフェル塔』を講読します。日本でも、2012年にスカイツリーが完成し、これを機に、東京タワーも含めて、人々がこうした建築物に抱く思いが様々なメディアで特集されました。こうした建築物は時代を象徴し、人々の思いが集約される場となっています。エッフェル塔は今では代表的なパリの観光名所ですが、19世紀に建築された当時は醜い鉄の塔としてさんざんな悪評を蒙りました。バルトはこのエッフェル塔という「記号」が持つ意味を、パリの都市構造とも関連づけながら重層的に分析していきます。授業では、バルト独自の表現やものの見方を味わい、具体例を通して、バルトの分析手法や考え方の特徴を理解することを目的とします。						
授業の到達目標(SB0s) 1) バルト独特の分析方法やレトリックを味わう。 2) エッフェル塔を通じてフランス文化の一端を知る。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	共用セミナー室12	バルト『エッフェル塔』を読む	序論(概要の説明)	中島 ひかる
2	4/23	10:05-10:55	共用セミナー室12	バルト『エッフェル塔』を読む	テキスト輪読(視線)	中島 ひかる
3	4/30	10:05-10:55	共用セミナー室12	バルト『エッフェル塔』を読む	テキスト輪読(小世界)	中島 ひかる
4	5/7	10:05-10:55	共用セミナー室12	バルト『エッフェル塔』を読む	テキスト輪読(鉄の意味)	中島 ひかる
5	5/14	10:05-10:55	共用セミナー室12	バルト『エッフェル塔』を読む	テキスト輪読(社会的表徴)	中島 ひかる
6	5/21	10:05-10:55	共用セミナー室12	バルト『エッフェル塔』を読む	テキスト輪読(象徴性)	中島 ひかる
7	5/28	10:05-10:55	共用セミナー室12	バルト『エッフェル塔』を読む	意見交換	中島 ひかる
8	6/4	10:05-10:55	共用セミナー室12	バルト『エッフェル塔』を読む	まとめ	中島 ひかる
授業方法 講義形式による。						

最初に概要を説明した後、1回に文庫本にして約20ページを講読・解説します。 私の講義内容に対して自分なりのコメントを求めることがあります。
授業内容 バルトの分析に沿って、エッフェル塔を通じて、人間の視線の作用、塔という小空間の意味、鉄という素材の意味、塔の社会的・歴史的象徴性等を見ていきます。構造主義、複製技術、技術と芸術、パリの都市構造、19世紀等、関連したトピックスを扱います。
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)0%・レポート 90%・ その他 10%(出席・授業への参加度) 再評価:有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 初回の導入以外は、毎回、授業で扱う範囲については内容に目を通し、授業中の議論に参加できるよう準備して下さい。講義形式で内容を解説しますが、それについて自分なりの見解をもてるようにして下さい。
試験の受験資格 2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。
教科書 エッフェル塔／ロラン・バルト 著,宗左近, 諸田和治 訳:筑摩書房, 1997
参考書 ロラン・バルト『ロラン・バルト著作集』全10巻 みすず書房
履修上の注意事項 教室に出欠管理システムの端末がないと思われるので、教員が毎回出欠を取ります。教科書は必ず購入して下さい。購入せず出席した場合は欠席と見なします。
連絡先 nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟3階フランス語研究室

時間割番号	000605					
科目名	主題別選択Ⅰ（ドイツとヨーロッパの社会）					
担当教員	シンチンガー エミ					
開講時期	前期	対象年次	2			
・前期前半 ・曜日・時間:木曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・受講資格:ドイツ語 a,b,c,d,4 単位を持っていること ・募集人数:3 年生とあわせて 20 人 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表1－3)人間の歴史的営みを理解する 別表1－4)異なる空間の文化を理解する 別表3－4)外国文化を理解する 別表3－5)国際情勢を理解する						
主な講義場所						
湯島キャンパス						
授業の目的、概要等						
ドイツ語で書かれた教科書を読みながら、ドイツとヨーロッパの社会について学んでいきます。原文を読む授業ですので、ドイツ語の 4 単位を持っていない方は受講できません！ ドイツ政府やEUのホームページも見えていきます。時間があれば、DVDも見ます。毎回予習してきてもらって、ドイツ語を訳していきますので、予習をすることが受講の条件です。						
授業の到達目標(SB0s)						
ドイツの地理と社会について教科書で読んでから、ドイツ政府とEUについても学び、 「ドイツ再統一」に至った経緯について学ぶことが目標です。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの社会1	オリエンテーション、教科書第1課	シンチンガー エミ
2	4/23	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの社会2	教科書第2課	シンチンガー エミ
3	4/30	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの社会3	教科書第3課	シンチンガー エミ
4	5/7	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの社会4	教科書第4課、ドイツ政府のホームページ	シンチンガー エミ
5	5/14	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの社会5	教科書第4課、EUのホームページ	シンチンガー エミ

			習室 4-11, 医学 科演習室 4-12	会5	ジ	エミ	
6	5/21	10:05-10:55	医学科演 習室 4-11, 医学 科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの社 会6	教科書第 4 課、ニュース映像	シンチンガー エミ	
7	5/28	10:05-10:55	医学科演 習室 4-11, 医学 科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの社 会7	理解度確認試験	シンチンガー エミ	
8	6/4	10:05-10:55	医学科演 習室 4-11, 医学 科演習室 4-12	総括	授業なし	シンチンガー エミ	
授業方法 セミナー形式; 毎回教科書を読んで訳してから、ドイツ政府や EU のホームページの内容を読みます。時間があればドキュメンタリー映像も見ます。							
授業内容 初回:オリエンテーション、第 1 課 (1 ページ) 第 2 回～第 3 回:第 2 課と第 3 課 (3 ページと 6 ページ) 第 4 回～第 6 回:第 4 課(9～13 ページ)を読みながら、ドイツ再統一に至った経緯を考えます。インターネット、DVD も使用する予定。 第 7 回:理解の度合いを調べるため、試験を行います。							
成績評価の方法 毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。 試験が 50 パーセント。 再評価: 無							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による							
準備学習などについての具体的な指示 ・授業中に沢山原文、ドイツ語を読みますので、1 年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。1 年生の時に使った文法と会話の両方の教科書をしっかり復習しておいてください。他の参考書や、ラジオやテレビのドイツ語講座など活用してみてください。 ・授業時間が短いので、必ず毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。							
試験の受験資格 原則 3 分の 2 以上出席							
教科書 ドイツとドイツ語を話す国ぐに／Heinz Griesbach [著], 松本嘉久 編: 朝日出版社, 1994 教科書以外にも様々なプリントなどの教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので注意してください。							
参考書 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編: 三修社, 2008 アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いので、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれ							

ば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-U7100 がおすすめです。
履修上の注意事項 毎回出席を取ります。 毎回教科書と電子辞書か独和辞典を持ってくるください。
連絡先 schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000607					
科目名	主題別選択Ⅰ（社会の中の数学）					
担当教員	清田 正夫					
開講時期	前期	対象年次	2			
曜日・時限: 木曜日 2 時限 対象学科: 医学科、歯学科 受講資格: 募集人数: 30人以下 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 2-4)						
授業の目的、概要等 数学と日々の生活は無縁のものとする人は多いが、身の回りにある道具や装置に数学の理論が応用されている例は無数にある。ここでは、CD の信頼性を保証する誤り訂正符号、機密事項の伝達に用いられる鍵公開暗号、CT スキャンの基本原理であるラドン変換を取り上げ、それらの数学的基礎を解説する。主として講義形式で行なうが、項目によっては学生に発表させることもある。						
授業の到達目標(SB0s) 数学理論が社会のなかでどのように応用されているかを、実例を通して理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	医学科講義室 1	誤り訂正符号	誤り訂正符号の原理を解説する。	清田 正夫
2	4/23	10:05-10:55	医学科講義室 1	ハミング符号	ハミング符号の構成を与える。	清田 正夫
3	4/30	10:05-10:55	医学科講義室 1	鍵公開暗号	鍵公開暗号の仕組みを解説する。	清田 正夫
4	5/7	10:05-10:55	共用講義室 1	RSA 暗号	鍵公開暗号の実例を紹介する。	清田 正夫
5	5/14	10:05-10:55	医学科講義室 1	フーリエ級数	フーリエ級数の性質と応用を論じる。	清田 正夫
6	5/21	10:05-10:55	医学科講義室 1	フーリエ変換	フーリエ変換の性質と応用を論じる。	清田 正夫
7	5/28	10:05-10:55	医学科講義室 1	ラドン変換	CT スキャンの基本原理を解説する。	清田 正夫
8	6/4	10:05-10:55	医学科講義室 1	総括		清田 正夫
授業方法 主として講義を行なう。						
授業内容 第1回－第2回 誤り訂正符号とハミング符号 第3回－第4回 鍵公開暗号と RSA 暗号 第5回－第7回 フーリエ変換とラドン変換						
成績評価の方法 評価: 試験0%・レポート80%・その他20% (授業への参加度・授業中の回答状況) 再評価: 有						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による						
準備学習などについての具体的な指示 講義内容の詳細を WebClass に載せているので、復習すること。						
教科書 プリントを配付する。 授業資料は WebClass に掲載してある。						

履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。
連絡先 kiyota.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日、木曜日 12:00～13:00 ヒポクラテス4階数学研究室(清田)

時間割番号	000609					
科目名	主題別選択Ⅰ（物理数学演習）					
担当教員	越野 和樹					
開講時期	前期	対象年次	2			
・曜日・時間：木曜2限 ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー） 別表2－1） 別表4－2）						
授業の目的、概要等						
私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学（特に微分方程式）を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。						
授業の到達目標(SB0s)						
問題演習をととして、数理科学的能力を高めること						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	共用セミ ナール室5	物理数学演習(1)	物理学を題材とし1階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
2	4/23	10:05-10:55	共用セミ ナール室5	物理数学演習(2)	物理学を題材とし1階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
3	4/30	10:05-10:55	共用セミ ナール室5	物理数学演習(3)	物理学を題材とし高階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
4	5/7	10:05-10:55	共用セミ ナール室5	物理数学演習(4)	物理学を題材とし高階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
5	5/14	10:05-10:55	共用セミ ナール室5	物理数学演習(5)	物理学を題材とし高階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
6	5/21	10:05-10:55	共用セミ ナール室5	物理数学演習(6)	物理学を題材とし連立微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
7	5/28	10:05-10:55	共用セミ ナール室5	物理数学演習(7)	物理学を題材とし連立微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
8	6/4	10:05-10:55	共用セミ ナール室5	物理数学演習(8)	物理学を題材とし連立微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
授業方法						
各講義の前半に基礎知識の確認を行い、後半を試験とする。						
授業内容						
・物理数学演習 ・電磁気学演習 ・力学演習						
成績評価の方法						
評価：試験（期末考査）0%・レポート0%・その他（各講義での小テスト）100%						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						
特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。						
参考書						
「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか 共立出版						
履修上の注意事項						
解析学・線形代数の双方に十分な技術を有することを前提としている。						

時間割番号	000610					
科目名	主題別選択Ⅰ（社会の中の科学）					
担当教員	奈良 雅之					
開講時期	前期	対象年次	2			
・曜日・時間:木曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)社会制度や仕組みについて基本を理解する 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける						
授業の目的、概要等						
社会の中で話題になっている科学物質、科学現象、科学に関する制度を取り上げます。科学的な側面から基礎事項を確認するとともに、文化、制度の面からも考えていきます。まず「水と酸素と二酸化炭素」という誰でもよく知っている物質に焦点を当てます。二酸化炭素がどうして温室効果ガスと言われるか、真面目に考えたことはありますか。燃焼の熱化学方程式などの一般化学の知識はもちろんのこと、分子構造論や量子化学が理解できていないとその訳を説明することができません。しかも、そこに社会問題が加わってきますので、話はかなり複雑です。医歯学の専門の授業では教えてくれないが、教養教育の一環として身につけておきたい自然界の仕組み、社会の仕組みについて理解を深めます。						
授業の到達目標(SB0s)						
授業の関係したテーマを見つけて、そのテーマの基づいて理解を深める						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	医学科演習室5ー1, 医学科演習室5ー2	疑似科学(1)	ガイダンスを行った後、疑似科学に関する授業を行う。	奈良 雅之
2	4/23	10:05-10:55	医学科演習室5ー1, 医学科演習室5ー2	疑似科学(2)	疑似科学に関する理解を深める。	奈良 雅之
3	4/30	10:05-10:55	医学科演習室5ー1, 医学科演習室5ー2	二酸化炭素:温室効果ガス	地球温暖化に関係する二酸化炭素について理解を深める	奈良 雅之
4	5/7	10:05-10:55	医学科演習室5ー1, 医学科演習室5ー2	科学教育	教育制度について取り上げる。大学院進学、博士号取得について考える。	奈良 雅之
5	5/14	10:05-10:55	医学科演習室5ー1, 医学科演習室5ー2	医療の中の化学物質(1)	活性酸素について理解を深める。	奈良 雅之
6	5/21	10:05-10:55	医学科演習室5ー1, 医学科	医療の中の化学物質(2)	代替医療としての水について理解を深める。	奈良 雅之

			科演習室 5-2				
7	5/28	10:05-10:55	医学科演 習室5- 1, 医学 科演習室 5-2	医療の中の化学物質 (3)	機能水について取り上げる	奈良 雅之	
8	6/4	10:05-10:55	医学科演 習室5- 1, 医学 科演習室 5-2	総括	文化あるいは制度の面から科学 を考える	奈良 雅之	

授業方法

講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。

授業内容

社会の中で話題になっている科学物質、科学現象、科学に関する制度を取り扱います。科学的な側面から基礎事項を確認するとともに、文化、制度の面からも考えていきます。

成績評価の方法

評価:試験0%・レポート80%

その他20%(授業への参加度・授業中の回答状況)

再評価:有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習:配付資料、関連資料に目を通してください。

復習:興味のある項目について、文献を調べてください。

試験の受験資格

・定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席
(レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)

参考書

疑似科学入門／池内了 著, 岩波書店, 2008

メディア・バイアス あやしい健康情報とニセ科学／松永和紀 著, 名古屋市鶴舞中央図書館点字文庫, 2010

科学と人間の不協和音／池内了 [著], 角川書店, 2012

活性酸素／高柳 輝夫 編, 大坂 武男 編, 大坂 武男 [ほか] 共著, 日本化学会 監修, 丸善

博士漂流時代:「余った博士」はどうなるか?／榎木英介 [著], ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2010

水素水とサビない身体／太田成男 著, 小学館, 2013

連絡先

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000611					
科目名	主題別選択Ⅰ（食品の科学）					
担当教員	大塚 淳					
開講時期	前期	対象年次	2			
曜日・時間: 木曜日（前半 7 回）・2 時限 対象学科: 医学科・歯学科 募集人数: 30 名（主題別選択Ⅱ（食品の科学）と合わせて） 科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）： 別表1－3）人間の歴史的営みを理解する 別表2－1）自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。						
授業の目的、概要等						
食品は私たちの健康や生命を維持するために欠かすことのできない大切なものである。人間にとって食品とは、身体の形成やエネルギー供給源として働く「栄養素」を与えるだけのものではない。「おいしさ」や「安全性」を兼ね備え、健康の維持や疾病の予防に有効な「機能性（生体調節機能）」をもたらすものでもある。そして、「食生活」、「食文化」という言葉が表すように、食は人類の進化の歴史の中で、生活環境や文化と密接に関連し、変遷を遂げてきた。本授業では、食の歴史的背景、食品成分の化学的性質を学び、食品の様々な側面についての理解を深めることを目的とする。						
授業の到達目標(SBOs)						
食品を文化的、歴史的、および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	大学院講義室 3	食の歴史的背景(1)	序論、人類の食生活と進化	大塚 淳
2	4/23	10:05-10:55	大学院講義室 3	食の歴史的背景(2)	日本人の食生活史	大塚 淳
3	4/30	10:05-10:55	大学院講義室 3	食品成分の化学的性質(1)	食品の分類、構成成分	大塚 淳
4	5/7	10:05-10:55	大学院講義室 3	食品成分の化学的性質(2)	食品中の水	大塚 淳
5	5/14	10:05-10:55	大学院講義室 3	食品成分の化学的性質(3)	嗜好成分(1)	大塚 淳
6	5/21	10:05-10:55	大学院講義室 3	食品成分の化学的性質(4)	嗜好成分(2)	大塚 淳
7	5/28	10:05-10:55	大学院講義室 3	食品成分の化学的性質(5)	食品の褐変	大塚 淳
8	6/4	10:05-10:55	大学院講義室 3	総括		大塚 淳
授業方法						
講義による						
授業内容						
食の歴史的背景および食品成分の化学的性質について学ぶ。						
成績評価の方法						
評価：試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20%						
再評価：有						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						
授業で扱った事項について参考書やインターネット等により知識の拡充・整理を行い、自分なりの考えをまとめる。						
試験の受験資格						

2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。

参考書

食品の科学／上野川修一，田之倉優 編：東京化学同人，2005

食品学：食品成分と機能性／久保田紀久枝，森光康次郎 編：東京化学同人，2011

時間割番号	000612					
科目名	主題別選択Ⅰ（生物の中の糖）					
担当教員	勝又 敏行					
開講時期	前期	対象年次	2			
曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる 別表2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る						
授業の目的、概要等 糖は生物の中で構造体、エネルギー源をはじめとして、タンパク質、核酸、脂質などと結合して重要な機能を担っている物質である。糖の化学的性質および生体内での機能を、疾病との関連等最新の知見を交えながら講義形式で紹介していく。						
授業の到達目標(SB0s) 糖の性質と機能について基礎的な知識を身につける。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	糖とは何か	糖とはどんなものかを紹介する。	勝又 敏行
2	4/23	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	糖の種類、および構造、 性質	糖の構造や基本的性質について説明する。	勝又 敏行
3	4/30	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	糖の分析法	糖の分析法について紹介する。	勝又 敏行
4	5/7	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	植物における糖	植物における糖の働きについて紹介する。	勝又 敏行
5	5/14	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	人の中の糖1	人の体の中で糖がどのような働きをしているかを紹介する。	勝又 敏行
6	5/21	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	人の中の糖2	人の体の中で糖がどのような働きをしているかを紹介する。	勝又 敏行
7	5/28	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	糖と疾病 1	糖の異常と疾病との関連について紹介する。	勝又 敏行
8	6/4	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	糖と疾病 2	糖の異常と疾病との関連について紹介する。	勝又 敏行
授業方法 講義形式による						
授業内容 1. 糖とは何か 2. 糖の種類、および構造、性質 3. 糖の分析法 4. 植物における糖 5. 人の中の糖1 6. 人の中の糖2 7. 糖と疾病						
成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、その他(授業中小テスト等)50%						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示 講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。						
参考書						

コールドスプリングハーバー糖鎖生物学／Ajit Varki [[ほか編]鈴木康夫, 木全弘治 監訳: 丸善, 2010
連絡先 katsumata.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水、木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000613																																																								
科目名	主題別選択Ⅰ（宇宙と生命）																																																								
担当教員	服部 淳彦																																																								
開講時期	前期	対象年次	2																																																						
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー） 1－5）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。 1－10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる。																																																									
授業の目的、概要等 古川さんや野口さんをはじめとする日本人が次々と宇宙に飛び立つ光景を見て、宇宙がますます身近な存在として感じられた学生さんも多いのではないだろうか。この授業では、宇宙環境、例えば「無（微小）重量状態」や「宇宙放射線」などが、さまざまな生物（ヒトも含めて）に与える影響について簡単に解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスを行う。																																																									
授業の到達目標(SB0s) 生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。																																																									
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>授業題目</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/16</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室9</td><td>宇宙環境と生物(概論)</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>2</td><td>4/23</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室9</td><td>無(微小)重力と生物(1)</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>3</td><td>4/30</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室9</td><td>無(微小)重力と生物(2)</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>4</td><td>5/7</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室9</td><td>宇宙放射線と生物(1)</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>5</td><td>5/14</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室9</td><td>宇宙放射線と生物(2)</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>6</td><td>5/21</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室9</td><td>宇宙医学(1)</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>7</td><td>5/28</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室9</td><td>宇宙医学(2)</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>8</td><td>6/4</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室9</td><td>総括</td><td>服部 淳彦</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	4/16	10:05-10:55	共用セミナー室9	宇宙環境と生物(概論)	服部 淳彦	2	4/23	10:05-10:55	共用セミナー室9	無(微小)重力と生物(1)	服部 淳彦	3	4/30	10:05-10:55	共用セミナー室9	無(微小)重力と生物(2)	服部 淳彦	4	5/7	10:05-10:55	共用セミナー室9	宇宙放射線と生物(1)	服部 淳彦	5	5/14	10:05-10:55	共用セミナー室9	宇宙放射線と生物(2)	服部 淳彦	6	5/21	10:05-10:55	共用セミナー室9	宇宙医学(1)	服部 淳彦	7	5/28	10:05-10:55	共用セミナー室9	宇宙医学(2)	服部 淳彦	8	6/4	10:05-10:55	共用セミナー室9	総括	服部 淳彦
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																				
1	4/16	10:05-10:55	共用セミナー室9	宇宙環境と生物(概論)	服部 淳彦																																																				
2	4/23	10:05-10:55	共用セミナー室9	無(微小)重力と生物(1)	服部 淳彦																																																				
3	4/30	10:05-10:55	共用セミナー室9	無(微小)重力と生物(2)	服部 淳彦																																																				
4	5/7	10:05-10:55	共用セミナー室9	宇宙放射線と生物(1)	服部 淳彦																																																				
5	5/14	10:05-10:55	共用セミナー室9	宇宙放射線と生物(2)	服部 淳彦																																																				
6	5/21	10:05-10:55	共用セミナー室9	宇宙医学(1)	服部 淳彦																																																				
7	5/28	10:05-10:55	共用セミナー室9	宇宙医学(2)	服部 淳彦																																																				
8	6/4	10:05-10:55	共用セミナー室9	総括	服部 淳彦																																																				
授業方法 セミナー形式による(各自に発表してもらう)。したがって、募集人数は15名をMAXとする。																																																									
授業内容 宇宙環境と生物(概論) 無(微小)重力と生物(1) 無(微小)重力と生物(2) 宇宙放射線と生物(1) 宇宙放射線と生物(2) 宇宙医学(1) 宇宙医学(2)																																																									
成績評価の方法 評価:その他 100% 平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。 再評価: 有																																																									
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。																																																									

準備学習などについての具体的な指示 主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。
連絡先 ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000614																																																																	
科目名	主題別選択Ⅰ（生物間のコミュニケーション）																																																																	
担当教員	伊藤 正則																																																																	
開講時期	前期	対象年次	2																																																															
・曜日・時間:木曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する。 別表2－4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。																																																																		
授業の目的、概要等 この授業の目的は次の1)～4)である。 1)生物間におけるコミュニケーションの方法(ヒトによる言語を含む)とその制御メカニズムを理解する。 2)この分野における研究の現状を理解する。 3)基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させる。 4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得する。																																																																		
授業の到達目標(SBOs) 1)生物間におけるコミュニケーションの方法、その制御メカニズム、この分野における研究の現状を説明することができる。 2)基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。 3)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案することができる。																																																																		
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>4/16</td><td>10:05-10:55</td><td>医学科講義室2</td><td>生物間のコミュニケーション</td><td>概論-言語とそれ以外のコミュニケーションの方法</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>2</td><td>4/23</td><td>10:05-10:55</td><td>医学科講義室2</td><td>生物間のコミュニケーション</td><td>言語の発達、関与する脳構造と遺伝子発現</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>3</td><td>4/30</td><td>10:05-10:55</td><td>医学科講義室2</td><td>生物間のコミュニケーション</td><td>pheromone、song</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>4</td><td>5/7</td><td>10:05-10:55</td><td>医学科講義室2</td><td>生物間のコミュニケーション</td><td>母と胎児あるいは新生児間のコミュニケーション</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>5</td><td>5/14</td><td>10:05-10:55</td><td>医学科講義室2</td><td>生物間のコミュニケーション</td><td>動物(特に昆虫)の社会とコミュニケーション</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>6</td><td>5/21</td><td>10:05-10:55</td><td>医学科講義室2</td><td>生物間のコミュニケーション</td><td>植物における個体間のコミュニケーション</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>7</td><td>5/28</td><td>10:05-10:55</td><td>医学科講義室2</td><td>生物間のコミュニケーション</td><td>コミュニケーションの方法と進化</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>8</td><td>6/4</td><td>10:05-10:55</td><td>医学科講義室2</td><td>生物間のコミュニケーション</td><td>予備日</td><td>伊藤 正則</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/16	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	概論-言語とそれ以外のコミュニケーションの方法	伊藤 正則	2	4/23	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	言語の発達、関与する脳構造と遺伝子発現	伊藤 正則	3	4/30	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	pheromone、song	伊藤 正則	4	5/7	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	母と胎児あるいは新生児間のコミュニケーション	伊藤 正則	5	5/14	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	動物(特に昆虫)の社会とコミュニケーション	伊藤 正則	6	5/21	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	植物における個体間のコミュニケーション	伊藤 正則	7	5/28	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	コミュニケーションの方法と進化	伊藤 正則	8	6/4	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	予備日	伊藤 正則
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																												
1	4/16	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	概論-言語とそれ以外のコミュニケーションの方法	伊藤 正則																																																												
2	4/23	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	言語の発達、関与する脳構造と遺伝子発現	伊藤 正則																																																												
3	4/30	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	pheromone、song	伊藤 正則																																																												
4	5/7	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	母と胎児あるいは新生児間のコミュニケーション	伊藤 正則																																																												
5	5/14	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	動物(特に昆虫)の社会とコミュニケーション	伊藤 正則																																																												
6	5/21	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	植物における個体間のコミュニケーション	伊藤 正則																																																												
7	5/28	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	コミュニケーションの方法と進化	伊藤 正則																																																												
8	6/4	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	予備日	伊藤 正則																																																												
授業方法 講義形式で行う。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。																																																																		
授業内容 ヒトによる言語等の生物間におけるコミュニケーションの方法とその制御メカニズムを説明する。主に、最近の研究論文を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。																																																																		
成績評価の方法																																																																		

評価:試験 0%・レポート 80% その他 20%(授業への参加度・授業中の回答状況) 再評価:有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 予習では予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案すること。
試験の受験資格 2/3以上出席したものにレポートの提出の資格を与える。
教科書 必要に応じて参考資料を配布する。
参考書 脳とホルモンの行動学／近藤 保彦:西村書店, 2012 脳・神経科学入門講座 改訂版 前・後編／渡辺 雅彦:羊土社, 2008 行動の神経生物学／GKH Zupanc:シュプリンガー・ジャパン, 2007 化学受容の科学:匂い・味・フェロモン 分子から行動まで／東原 和成:化学同人, 2012
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。
連絡先 itohmtlas@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000615					
科目名	主題別選択Ⅰ（医療の社会学）					
担当教員	藤井 達夫					
開講時期	前期	対象年次	2			
曜日・時間： 木曜 2 限 対象学科： 医学科歯学科 募集人数： 25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-8)、1-9)、1-10)、2-4)						
授業の目的、概要等						
この授業では、医療テクノロジーの発展の中で、医療が理想とした社会像や医療が実際に可能にした社会の仕組みを取り上げ、批判的に検討します。その上で、医療との関係において、現在の社会がどこに向かおうとしているのかを考えます。具体的には、18 世紀から 19 世紀にかけての近代社会の形成と医療の発展との深い関係や、医療の理想が20 世紀の福祉国家とそれを支える社会保障制度の成立に与えた影響、そして、現代の医療が目指す社会像などを論じます。						
授業の到達目標(SBOs)						
(1)社会学的な考察から得られる医療に対する基礎的な知見について理解を深めることができる。 (2)社会のあり方やその仕組みに位置付けて医療の抱える問題を発見し、解決を模索するための視座を得ることができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	共用セミナー室 10	医療が描く理想社会	19 世紀から 20 世紀のヨーロッパで描かれたユートピアとしての医療社会を取り上げ、そこから現在の医療および医療化された社会が孕む問題点に迫ります。	藤井 達夫
2	4/23	10:05-10:55	共用セミナー室 10	医療と優生学	19 世紀以降、急速に発達する医療と、同時代に誕生する優生思想や社会進化論との根深い関係について論じます。	藤井 達夫
3	4/30	10:05-10:55	共用セミナー室 10	健康優良者からなる社会——ナチス・ドイツの例	優生学と結びついた 20 世紀の医療の負の側面をナチス・ドイツにおける医療政策をとおして検討します。	藤井 達夫
4	5/7	10:05-10:55	共用セミナー室 10	健康優良者からなる社会——日本の例	優生学と結びついた 20 世紀の医療の罪を、日本のハンセン病政策をとおして検討します。	藤井 達夫
5	5/14	10:05-10:55	共用セミナー室 10	福祉国家における医療	社会権を保障した福祉国家が優生政策を推し進めた事実とその理由について、福祉国家における医療政策をとおして考えます。	藤井 達夫
6	5/21	10:05-10:55	共用セミナー室 10	病院化社会	医療だけでなく、人びとの生や死のあり方にも多大な影響を及ぼした病院という制度について考えます。	藤井 達夫
7	5/28	10:05-10:55	共用セミナー室 10	新しい優生学と現代社会	20 世紀後半以降の医療テクノロジーの発展に伴い誕生した、新しいタイプの優生学と医療との関係に焦点を当て、現代医療が孕む問題を批判的に検討します。	藤井 達夫
8	6/4	10:05-10:55	共用セミナー室	総括		藤井 達夫

			10				
授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。							
授業内容 第一回 医療が描く理想社会 第二回 医療と優生学 第三回 健康優良者からなる社会——ナチス・ドイツの例 第四回 健康優良者からなる社会——日本の例 第五回 福祉国家における医療 第六回 新しい優生学と現代社会 第七回 まとめ ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。							
成績評価の方法 評価： レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価： 有(再評価方法)レポート							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 必要があれば、授業内で適宜、指示します。							
教科書 教科書は使用しません。							
参考書 ハクスレー『素晴らしい新世界』(講談社文庫、1974 年) カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』(ハヤカワ epi 文庫、2008 年)							
履修上の注意事項 出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。							
連絡先 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。							
オフィスアワー 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。							

時間割番号	000616					
科目名	主題別選択Ⅰ（ヒトの脳と言語）					
担当教員	戸張 靖子					
開講時期	前期	対象年次	2			
曜日・時間： 木曜日・2 時限（10:05-10:55）						
対象学科: 医・歯学科						
募集人数: 25 人						
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。						
別表1－7) 人間の心への理解を深める。						
別表2－3) 言語活動や社会現象を科学的に分析ための方法を知る。						
別表2－4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。						
授業の目的、概要等						
なぜヒトだけが言語機能をもつのでしょうか。授業の前半では、言語を可能にするヒトの脳構造を概観し、幼児の言語獲得と発達から臨界期仮説を説明します。後半部分では、さまざま動物の音声コミュニケーションとヒトの言語との比較研究から得られた、言語の生物学的起源についてのこれまでの知見を紹介します。						
授業の到達目標(SBOs)						
(1)言語機能を担うヒトの脳構造について理解する。						
(2)言語の生物学的起源に関する知見に触れる。						
(3) 言語脳科学研究における研究手法を学ぶ。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	共用セミ ナール室2	ヒトの脳の構造(1)	ヒトの脳の構造を概観する。	戸張 靖子
2	4/23	10:05-10:55	共用セミ ナール室2	ヒトの脳の構造(2)	ヒトの脳の中で言語機能を司る領域はどこか。	戸張 靖子
3	4/30	10:05-10:55	共用セミ ナール室2	言語獲得の臨界期	ヒトが言語を獲得するのに臨界期はあるか。	戸張 靖子
4	5/7	10:05-10:55	共用セミ ナール室2	様々な形態の言語	母語の獲得と外国語や手話の獲得に違いはあるか。	戸張 靖子
5	5/14	10:05-10:55	共用セミ ナール室2	言語の起源	動物の言語に類する行動。	戸張 靖子
6	5/21	10:05-10:55	共用セミ ナール室2	鳥の歌	鳥の歌とヒトの言語との比較。	戸張 靖子
7	5/28	10:05-10:55	共用セミ ナール室2	サルの行動	サルの行動とヒトの言語との比較。	戸張 靖子
8	6/4	10:05-10:55	共用セミ ナール室2	総括		戸張 靖子
授業方法						
講義形式と授業内での質疑応答						
授業内容						
第1回 ヒトの脳構造(1)						
第2回 ヒトの脳構造(2)						
第3回 言語獲得の臨界期						
第4回 母語、外国語、手話						
第5回 動物の音声コミュニケーション(1)						
第6回 動物の音声コミュニケーション(2)						
第7回 言語の生物学的起源						
成績評価の方法						
評価： 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20%						

再評価: 有(レポート提出)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習:配付資料がある場合には、目を通しておいってください。復習:興味のあるテーマを見つけたら、それに関する文献や本を探して読んでください。
教科書 指定なし
参考書 (1) 言語と思考を生む脳/入来 篤史 編 東京大学出版会 2008 (2)ヒトはいかにして人となったか—言語と脳の共進化/ テレンス・W. ディーコン著 新曜社 1999
履修上の注意事項 レポート提出の資格:原則3分の2以上の出席

時間割番号	000808		
科目名	主題別選択Ⅰ（現代の日中関係）		
担当教員	家永 真幸		
開講時期	前期	対象年次	2

授業の目的、概要等

最近の雰囲気からは想像し難いかもしれませんが、今から約 40 ほど前には「蜜月」とも呼ばれる日中友好の時代がありました。この授業では、1972 年の「日中国交正常化」から今日に至るまでの日中関係が、どのような歩みをたどってきたのかを学んでもらいます。今後の日中関係について考えるきっかけとすると同時に、世の中はどのように変化していくのかという「時間感覚」も体感してもらえれば幸いです。

授業の到達目標(SB0s)

『日中関係史 1972-2012』全 3 巻(2012 年、東京大学出版会)を参考に、日中間の社会・文化・政治・経済にまつわる諸問題について理解を深めることを目指します。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	大学院講義室 4	「語り」とは何か。本授業の問題意識を説明する。	家永 真幸
2	4/23	10:05-10:55	大学院講義室 4	夏目漱石は「猫」か。	家永 真幸
3	4/30	10:05-10:55	大学院講義室 4	「わたし」は誰のミステリー。江戸川乱歩『人間椅子』の不気味な世界を語り手の問題から考察する。	家永 真幸
4	5/7	10:05-10:55	大学院講義室 4	「わたし」を創り上げるのは「わたし」。夏目漱石『こころ』の二人の「わたし」の語りを語り手の問題から考察する。	家永 真幸
5	5/14	10:05-10:55	大学院講義室 4	「わたし」を語るのは「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りの危うさを考察する。	家永 真幸
6	5/21	10:05-10:55	大学院講義室 4	フィクションとしての「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りのフィクション性を考察する。	家永 真幸
7	5/28	10:05-10:55	大学院講義室 4	「語り」の中の「真実」。芥川龍之介『藪の中』の語りに「真実」はあるのかを考察する。	家永 真幸
8	6/4	10:05-10:55	大学院講義室 4	総括	家永 真幸

授業方法

講義形式で行いますが、毎回コメントシートを書いていただき、質問への回答や興味深い意見の紹介に翌週の冒頭 10-15 分程度を割きます。積極的な参加を期待します。最終回は総合討論の日とし、みなさんのコメントの中からこちらでテーマを選定し、参加者に自由に発言してもらいます。

授業内容

初回時に受講者の希望を聞いた上で調整しますが、今のところ下記ピックを扱うことを考えています。

第 1 回 ガイダンス、日中国交正常化(1972 年)

第 2 回 尖閣問題概論

第 3 回 対中 ODA の開始(1979 年)

第 4 回 六・四天安門事件(1989 年)

第 5 回 アジアカップ騒動(2004 年)

第 6 回 池袋チャイナタウン構想(2008 年)

第 7 回 総合討論

第8回 総括
成績評価の方法 評価:試験0%・レポート80% その他20%(授業への参加度・授業中の回答状況) 再評価:有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 毎回プリントを配布します。予習は特に必要ありませんが、授業で得た知識を自分なりに整理し、レポートに活かすことが望まれます。
参考書 日中関係史 1972-2012: Ⅲ 社会・文化／園田茂人編: 東京大学出版会, 2012 日中関係史 1972-2012: Ⅰ 政治／高原明生編: 東京大学出版会, 2012 日中関係史 1972-2012: Ⅱ 経済／服部健治・丸川知雄編: 東京大学出版会, 2012
連絡先 ienaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜日 PM.12:20-PM13:10 管理研究棟 3 階 309 室

時間割番号	000633					
科目名	主題別選択Ⅰ（ディアスポラ（離散社会）の言語と文学）					
担当教員	高尾 千津子					
開講時期	前期	対象年次	2			
曜日・時間: 木曜 2 限 対象学科: 医・歯学科 受講資格: 「文化と人間」「言語と人間」選択者 募集人数: 20 人						
授業の目的、概要等 ディアスポラとは本国を持たない、あるいは本国から遠く離れた離散社会を意味する。ユーラシアの西の「半島」であるヨーロッパには、様々な独自の言語を持つ民族的、宗教的マイノリティが存在した。しばしば変わる国境線、人口の移動は、さらに新たなディアスポラを生み、それは社会の緊張要因ともなったが、同時に多様な社会と文化、文学を生み出した。授業では、ヨーロッパを中心に少数派言語、多言語社会、言語接触の歴史を扱う。						
授業の到達目標(SB0s) 人類の言語の多様性が持つ意味を知る。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	共用セミナー室 11	ガイダンス	マイノリティと言語について、ヨーロッパの言語状況	高尾 千津子
2	4/23	10:05-10:55	共用セミナー室 11	多言語の共存	複数の言語が共存する社会とは	高尾 千津子
3	4/30	10:05-10:55	共用セミナー室 11	多言語の分離と衝突	言語をめぐる戦争はなぜ起きたのか	高尾 千津子
4	5/7	10:05-10:55	共用セミナー室 11	共通言語の試み	共通言語エスペラントはどのように生まれたのか、その背景を探る	高尾 千津子
5	5/14	10:05-10:55	共用セミナー室 11	「死語」はいかに復活したか	現代ヘブライ語が生まれた背景と歴史を知る。	高尾 千津子
6	5/21	10:05-10:55	共用セミナー室 11	イディッシュ語という言葉	言語接触の代表例 アシュケナズ系ユダヤ人の言語イディッシュ語とは。	高尾 千津子
7	5/28	10:05-10:55	共用セミナー室 11	イディッシュ語の文学	アシュケナズ系ユダヤ人の文学を紹介する。	高尾 千津子
8	6/4	10:05-10:55	共用セミナー室 11	総括		高尾 千津子
授業方法 講義形式						
成績評価の方法 評価：試験 0% ・ レポート 80 % ・ その他(授業への参加度) 20% 再評価： 有(再評価方法)						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						

授業ごとに参考文献を提示するので読んでおくこと。
教科書 授業でプリントを配布する。
参考書 田中克彦『エスペラント―異端の言語』岩波新書、2007 年。 ショーレム・アレイヘム、西成彦訳『牛乳屋テヴィエ』岩波文庫。 ロバート・セントジョン、島野信宏訳『ヘブライ語の父ベン・イエフダー』ミルトス、2000 年。
履修上の注意事項 3 分の2以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。
連絡先 takao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 12:30～13:30

時間割番号	000635				
科目名	主題別選択Ⅰ（医療と物理の関係性）				
担当教員	檜枝 光憲				
開講時期	前期	対象年次	2		
曜日・時間: 木曜2限 募集人数: 20人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2－1) 別表2－2) 別表2－4) 別表4－2)					
授業の目的、概要等 生命も含め物質現象は物理学の原理と大いに関係しています。例えば人体の動きは力学、血流の流れは流体力学、また体内に取り込み消費するエネルギーは熱力学の原理に従っています。本授業は参加者のゼミ形式で進め、自らの発表を通して医療と物理の密接な関係性について理解を深めていきます。					
授業の到達目標(SBOs) 医療と物理の関係性について具体例がイメージできるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	共用セミ ナール室7	第1回	檜枝 光憲
2	4/23	10:05-10:55	共用セミ ナール室7	第2回	檜枝 光憲
3	4/30	10:05-10:55	共用セミ ナール室7	第3回	檜枝 光憲
4	5/7	10:05-10:55	共用セミ ナール室7	第4回	檜枝 光憲
5	5/14	10:05-10:55	共用セミ ナール室7	第5回	檜枝 光憲
6	5/21	10:05-10:55	共用セミ ナール室7	第6回	檜枝 光憲
7	5/28	10:05-10:55	共用セミ ナール室7	第7回	檜枝 光憲
8	6/4	10:05-10:55	共用セミ ナール室7	総括	檜枝 光憲
授業方法 ゼミ形式で行います。 初回に分担を決め、順番に発表を行ってもらいます。					
授業内容 第1回 イン트로ダクション 第2回 力学と人体 第3回 流体と人体 第4回 熱と体温 第5回 音と光と人体 第6回 電気と磁気の世界 第7回 原子と放射線 第8回 総括					
成績評価の方法 評価：その他 100 % 発表点(発表とレジュメ)と平常点(出席、議論等への参加度)による。					

再評価: 有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 発表準備のために教科書以外の関連図書を探して読むこと。
教科書 医療系のための物理/佐藤幸一・藤城敏幸:東京教学社, 2007
履修上の注意事項 原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取れる出欠を優先させる。
連絡先 hieda.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜 17:00～19:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000617																																																										
科目名	主題別選択Ⅰ（語り(ナラティブ)と時間)																																																										
担当教員	土佐 朋子																																																										
開講時期	前期	対象年次	2																																																								
・曜日・時間:木曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・受講資格:「言語と人間」「時間と人間」の主題であること ・科目を履修して得られる能力(コンピテシー) 別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る																																																											
授業の目的、概要等 文学は時間芸術であるといわれる。 本授業の目的は、作品に展開される「語り」が「時間」をどのように編集しているのかを考察し、「時間」が人間の表現意図にもとづいて創造されるものであることを理解することである。到達目標は、3年次セミナーにおいて、自らの主題にもとづいて問題設定をし解決していくために必要な思考力が、「語り」と「時間」という観点から養われることである。																																																											
授業の到達目標(SBOs) ①人間が語る生き物であることの意味を考える土台を築く。 ②人間の時間認識にとって、言語が重要な役割を果たすことに気づく。 ③ 年次のセミナー論文における問題設定の糸口をつかむ。																																																											
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>授業題目</td><td>授業内容</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>6/11</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室4</td><td>ガイダンス</td><td>言葉は時間を編集して一つの世界を創り上げることを確認する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>2</td><td>6/18</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室4</td><td>「現在」から「過去」へ</td><td>日本文学史上ほぼ初めて「時間」編集を積極的に活用した作家、柿本人麻呂を読む。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>3</td><td>6/25</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室4</td><td>「現在」から「過去」、そして「現在」へ</td><td>なぜ現在軸から語り出すのか。そのもたらす効果を考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>4</td><td>7/2</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室4</td><td>「過去」と「語り」</td><td>遠藤周作『海と毒薬』、勝呂と出会う「私」の現在が語られるのはなぜかを考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>5</td><td>7/9</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室4</td><td>告白という制度</td><td>「私」はよく過去を語る。物語る「私」の新しさについて考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>6</td><td>7/16</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室4</td><td>「現在」に復讐する「過去」</td><td>夏目漱石『こころ』、「先生」の語りを時間の観点から考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>7</td><td>7/23</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室4</td><td>「時間」が創る「物語」</td><td>夢野久作『瓶詰地獄』、逆に並べられた手紙が語るもの考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	6/11	10:05-10:55	大学院講義室4	ガイダンス	言葉は時間を編集して一つの世界を創り上げることを確認する。	土佐 朋子	2	6/18	10:05-10:55	大学院講義室4	「現在」から「過去」へ	日本文学史上ほぼ初めて「時間」編集を積極的に活用した作家、柿本人麻呂を読む。	土佐 朋子	3	6/25	10:05-10:55	大学院講義室4	「現在」から「過去」、そして「現在」へ	なぜ現在軸から語り出すのか。そのもたらす効果を考察する。	土佐 朋子	4	7/2	10:05-10:55	大学院講義室4	「過去」と「語り」	遠藤周作『海と毒薬』、勝呂と出会う「私」の現在が語られるのはなぜかを考察する。	土佐 朋子	5	7/9	10:05-10:55	大学院講義室4	告白という制度	「私」はよく過去を語る。物語る「私」の新しさについて考察する。	土佐 朋子	6	7/16	10:05-10:55	大学院講義室4	「現在」に復讐する「過去」	夏目漱石『こころ』、「先生」の語りを時間の観点から考察する。	土佐 朋子	7	7/23	10:05-10:55	大学院講義室4	「時間」が創る「物語」	夢野久作『瓶詰地獄』、逆に並べられた手紙が語るもの考察する。	土佐 朋子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																					
1	6/11	10:05-10:55	大学院講義室4	ガイダンス	言葉は時間を編集して一つの世界を創り上げることを確認する。	土佐 朋子																																																					
2	6/18	10:05-10:55	大学院講義室4	「現在」から「過去」へ	日本文学史上ほぼ初めて「時間」編集を積極的に活用した作家、柿本人麻呂を読む。	土佐 朋子																																																					
3	6/25	10:05-10:55	大学院講義室4	「現在」から「過去」、そして「現在」へ	なぜ現在軸から語り出すのか。そのもたらす効果を考察する。	土佐 朋子																																																					
4	7/2	10:05-10:55	大学院講義室4	「過去」と「語り」	遠藤周作『海と毒薬』、勝呂と出会う「私」の現在が語られるのはなぜかを考察する。	土佐 朋子																																																					
5	7/9	10:05-10:55	大学院講義室4	告白という制度	「私」はよく過去を語る。物語る「私」の新しさについて考察する。	土佐 朋子																																																					
6	7/16	10:05-10:55	大学院講義室4	「現在」に復讐する「過去」	夏目漱石『こころ』、「先生」の語りを時間の観点から考察する。	土佐 朋子																																																					
7	7/23	10:05-10:55	大学院講義室4	「時間」が創る「物語」	夢野久作『瓶詰地獄』、逆に並べられた手紙が語るもの考察する。	土佐 朋子																																																					
授業方法 講義を中心とする。																																																											
授業内容 複数の文学作品にもとづいて、人間の語りにおける時間編集の諸相を確認する。また、「過去」という時間が、人間の言語活動によって創り上げられることを考察する。扱う作品は、『古事記』『万葉集』などの古典、夏目漱石『こころ』、遠藤周作『海と毒薬』、夢野久作『瓶詰地獄』などを予定している。																																																											
成績評価の方法 評価:試験 0%・レポート 80% その他 20%(授業への参加度・授業中の小レポート等) 再評価:有																																																											
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。																																																											

準備学習などについての具体的な指示 作品を自分でよく読むこと。授業で扱う作品に限らず、幅広く作品を読むこと。
試験の受験資格 レポート提出には、原則として3分の2以上の出席が必要。
教科書 プリントを使用する。
参考書 『対象喪失：悲しむということ』／小此木 啓吾／著、中央公論新社、1979 『時間と自我』／大森荘蔵、青土社、1992
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
連絡先 tosa.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜 PM.12:30-PM.14:50 管理研究棟2階文学研究室

時間割番号	000618					
科目名	主題別選択Ⅰ（いのちと医療の倫理学）					
担当教員	田中 智彦					
開講時期	前期	対象年次	2			
◇ 曜日・時間: 木曜 2 限						
◇ 対象学科: 医学科・歯学科						
◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)						
別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る						
別表 1-9)市民としての倫理観を養う						
別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる						
授業の目的、概要等						
倫理と法は別のものです。しかしながら今日、「生命倫理」として語られることがらの多くにあっては、この二つがしばしば混同されがちです。日本のある著名な哲学者をして、一般に「生命倫理」と呼ばれているものは「本来なら生命倫理ではなく、生命法とでも呼ぶべきもの」である、と言わしめるゆえんです。						
では、そうした倫理と法の混同はなぜ生じるのでしょうか。どのような帰結をもたらすのでしょうか。また、名ばかりではない「生命倫理」、つまり「生命法」ではない「生命倫理」があるとしたら、そこでは「いのち」や「医学・医療」をめぐる何が語られ、そして私たちには何が求められることになるのでしょうか。						
この授業では「授業詳細日程」に記すような論点を通して、それら一連の問いを考察してゆきます。それはまた、「生命倫理」の現在を批判的に読み解き、未来を模索する試みともなるでしょう。						
授業の到達目標(SBOs)						
(1)上記の試みをつうじて、「医学・医療において倫理的であるとはどういうことか」について理解を深めること。						
(2)「人間の尊厳」「いのちの尊厳」およびそれらに関連する論点について基本的な理解を得ること。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	倫理・法・科学技術	この三つはいかに区別されるのか	田中 智彦
2	6/18	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	「治療」と「実験」	この二つはいかに区別されるのか	田中 智彦
3	6/25	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	「医学」と「進歩」	「犠牲」はいかに正当化されるのか	田中 智彦
4	7/2	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	「死者」と「他者」	「倫理」の基底にあるものを考える	田中 智彦
5	7/9	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室	「人格」概念の再考	その「光」と「影」をめぐる省察	田中 智彦

			5-4				
6	7/16	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「尊厳」概念の再考	それが「ある」とはどういうことか	田中 智彦	
7	7/23	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	まとめ	生命倫理はどこに向かうのか	田中 智彦	
授業方法 授業は講義形式で行う予定です。 教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。							
授業内容 「授業詳細日程」にある通り							
成績評価の方法 ◇評価: レポート 80% その他 20% (出席状況、コメントシートへの回答など) ◇再評価: 有 (レポート)							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による							
準備学習などについての具体的な指示 授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。							
試験の受験資格 ◇ レポートの提出資格: 原則 7 回中 5 回以上の出席							
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。							
連絡先 tanaka.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 毎週月曜日 11:00～13:00 管理研究棟 2 階 哲学研究室							

時間割番号	000619					
科目名	主題別選択Ⅰ（スポーツと心）					
担当教員	水野 哲也					
開講時期	前期	対象年次	2			
曜日・時間:木曜2限 対象学科:医学科・歯学科 2年 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－7)人間の心への理解を深める 別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する						
授業の目的、概要等 本授業では、競技スポーツにおける心をテーマにいくつかの視点からこれまでに提示された理論を紹介し、スポーツにおける心の問題を考える。また、授業の後半では受講者各自が考える「スポーツと心」について発表し、その中身について共に考えたい。						
授業の到達目標(SB0s) 本授業の最終到達目標は、主題別選択授業のテーマでもある偏らない思考や物の見方をどのようにして身に付けてゆくか？を実践的に学ぶことである。よって、学生各自が本授業の題目である「スポーツと心」に関する独自のテーマを設定し、それぞれの私論を述べるとともに意見交換し、授業終了後にそれらを基に2000字程度のレポートをまとめることを具体的な到達目標とする。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	共用セミナー室7	スポーツと心の関連性	競技スポーツでは、よく「心技体の充実が勝敗のカギを握る」と言われます。では、スポーツにおける心とはどのようなものなのでしょうか？、皆さんと一緒に考えます。	水野 哲也
2	6/18	10:05-10:55	共用セミナー室7	リラクゼーションと集中	競技スポーツでは、よく「リラックスと集中が大切だ」と言われます。では、スポーツにおけるリラックスまた集中とはどのようなものなのでしょうか？、皆さんと一緒に考えます。	水野 哲也
3	6/25	10:05-10:55	共用セミナー室7	メンタルタフネス	競技スポーツでは、よく「メンタルが強い」とか「弱い」とか言われます。本授業ではスポーツにおける精神力について、ジム・レアーの提唱した「メンタルタフネス理論」を紹介し、概説します。	水野 哲也
4	7/2	10:05-10:55	共用セミナー室7	スポーツと動機づけ	プロスポーツ選手が、よく「モチベーションが上がる」とか「モチベーションが重要だ」という言葉を口にします。本授業では、いくつかのモチベーション理論を紹介し、概説します。	水野 哲也
5	7/9	10:05-10:55	共用セミナー室7	ピークパフォーマンス	選手が高い成果を上げている時、その精神状態はどうなっているのでしょうか？本授業では、チャールズ・ガーフィールドの提示したピークパフォーマンス理論を紹介し、概説します。	水野 哲也
6	7/16	10:05-10:55	共用セミナー室7	発表「私の考えるスポーツと心」その1	授業前半での講義等を聴いて、あなたが考える「スポーツと心」に関	水野 哲也

					してのテーマについて発表して頂きます。発表時間、方法については受講者数等を考慮した上で決定し、授業前半に指定します。		
7	7/23	10:05-10:55	共用セミナー室7	発表「私の考えるスポーツと心」その2	授業前半での講義等を聴いて、あなたが考える「スポーツと心」に関してのテーマについて発表して頂きます。発表時間、方法については受講者数等を考慮した上で決定し、授業前半に指定します。	水野 哲也	
授業方法 授業は講義形式で実施するが、その中で実習形式の内容がいくつかある。また後半は、その学習効果を上げるために発表、討議型の授業を行う。							
授業内容 「スポーツと心の関係性」、「リラックスと集中」、「メンタルタフネス」、「動機づけ」、「ピークパフォーマンス」について概説する。その後、受講者の発表を行い、意見交換する。							
成績評価の方法 評価: 出席 30%、各授業時の参加度 20%、レポート 50% 再評価: 有							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 本授業では単に授業に出席して講義を聴くだけでなく、主体性をもって主題(自ら選択したテーマ)について考える積極的な態度や姿勢が求められる。発表の内容をしっかりと準備してください。							
試験の受験資格 本授業は、原則全授業の 2/3(全 7 回のうち 5 回)以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。							
参考書 最新スポーツ心理学：その軌跡と展望／日本スポーツ心理学会 編：大修館書店、2004 実践メンタルタフネス／ジム・レーヤー 著、ジェフリー・ミグドゥ 著、小林 信也 訳：TBSブクタニカ							
他科目との関連 1年次のスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野のS科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。							
連絡先 mizuno.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2階							

時間割番号	000620					
科目名	主題別選択Ⅰ（フランス詩を読む）					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	前期	対象年次	2			
・曜日・時間:木曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1ー1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1ー6)優れた芸術作品に触れて感性を高める 別表1ー7)人間の心への理解を深める						
主な講義場所 湯島						
授業の目的、概要等 ルネサンス期から現代にいたるまでのフランスの代表的な詩を講読します。授業では、フランス語の原文と共に、できる限り日本語訳を配付して、言葉のニュアンスや詩の構造を解説していきますので、フランス語履修者でなくても、詩や文学に興味があれば受講できます。フランス語を学習した人は、原語で、使われている単語・表現のニュアンスをできるだけ味わって下さい。 詩(文学)には、普遍的な人間の感性が表現されていますが、また一方で、その感性の表現は、時代・文化の刻印を受けて変化もします。現代の若い皆さんの感性で、共感できる部分、理解しがたい部分を正直に受け止めることが、詩を味わう出発点となると考えます。その共感や違和感をもとに文化・時代の差を考えていただくこともこの授業の目的です。						
授業の到達目標(SB0s) 1)フランス詩のニュアンス・表現を味わう。 2)文化・時代による感性の表現を自らの感性や表現と比較し、自らを相対化する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	医学科演習室 5ー1, 医学科演習室 5ー2	フランス詩を読む	序論(概要の説明) ジャック・プレヴェール	中島 ひかる
2	6/18	10:05-10:55	医学科演習室 5ー1, 医学科演習室 5ー2	フランス詩を読む	ヴェルレーヌ等	中島 ひかる
3	6/25	10:05-10:55	医学科演習室 5ー1, 医学科演習室 5ー2	フランス詩を読む	ロマン派	中島 ひかる
4	7/2	10:05-10:55	医学科演習室 5ー1, 医学科演習室 5ー2	フランス詩を読む	ボードレール・ランボー等	中島 ひかる
5	7/9	10:05-10:55	医学科演習室 5ー1, 医学科演習室	フランス詩を読む	アポリネール等	中島 ひかる

			5-2				
6	7/16	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	フランス詩を読む	ロンサール・ラシーヌ等	中島 ひかる	
7	7/23	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	フランス詩を読む	現代詩	中島 ひかる	

授業方法

講義形式によって、毎回、2、3篇の詩を講読します。

最初に各自に簡単な解釈や感想を述べていただいた後、教員が詩の内容や言葉のニュアンス、時代背景等を解説し、それを聞いた後、どのように感じ方が変わったかを再び話していただきます(受講者が多い場合は、毎回数行づつの感想を提出していただくことを予定しています)。

授業内容

ロンサール、ラシーヌ、ボードレー、ヴェルレーヌ、ランボー、マラルメ、アポリネール等、できるだけ日本語訳のあるフランス詩を、各時代から幅広く選んで読んでいきます。

成績評価の方法

評価:試験(期末考査)0%・レポート80%・

その他 20 % (授業中への参加度)

再評価:有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

初回の導入以外は、毎回、次回に扱う詩をあらかじめ配付するので、事前に目を通して、自分なりの解釈や感想をまとめておくこと。

試験の受験資格

2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。

教科書

プリントを配付する

参考書

珊瑚集：仏蘭西近代抒情詩選／永井 荷風 訳：岩波書店

上田敏全訳詩集／山内 義雄・矢野峰人 編：岩波書店

悪の華／ボードレー 著、鈴木信太郎 著：集英社

フランス名詩選／安藤元雄、入沢康夫、渋谷孝輔 編：岩波書店、2001

月下の一群：訳詩集／堀口大祐 訳：岩波書店、2013

ロンサール詩集／ピエール・ド・ロンサール／〔著〕井上究一郎／訳：岩波書店、1989

ランボオ詩集／ランボオ 〔著〕中原中也 訳：岩波書店、2013

地獄の季節／ランボー 作、小林秀雄／訳：岩波書店、2008

ヴェルレーヌ詩集／ヴェルレーヌ 〔著〕堀口 大学 訳：新潮社

アポリネール詩集／アポリネール／〔著〕堀口大学／訳：新潮社、1985

履修上の注意事項

出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000621					
科目名	主題別選択Ⅰ（ドイツとヨーロッパの現在）					
担当教員	シンチンガー エミ					
開講時期	前期	対象年次	2			
・前期後半 ・曜日・時間: 木曜 2 限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・受講資格: ドイツ語 a,b,c,d 4 単位を持っていること ・募集人数: 3 年生とあわせて 20 人 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－3)人間の歴史的営みを理解する 別表1－4)異なる空間の文化を理解する 別表1－6)優れた芸術作品に触れて感性を高める 別表1－7)人間の心への理解を深める 別表3－4)外国文化を理解する						
主な講義場所 湯島キャンパス						
授業の目的、概要等 ベルリンという特別な町について学ぶことによって、ドイツとヨーロッパの現在について考えていきます。具体的には、1986 年に初演されてから現在までベルリンで再演され続けている「Linie 1」という、ベルリンの地下鉄を題材にした音楽劇の中から、抜粋した箇所を読んでいます。原文を読む授業ですので、ドイツ語の 4 単位を持っていない方は受講できません！ 毎回予習してきてもらって、ドイツ語を訳していきますので、予習をすることが受講の条件です。						
授業の到達目標(SB0s) ベルリンについて学んでから、現代の演劇作品から多くの抜粋箇所を読むことが目標です。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの現在1	オリエンテーション、ベルリンについて様々な資料を読む、プリント配布、原文を読み始める	シンチンガー エミ
2	6/18	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの現在2	「Linie 1」から抜粋を読み始める	シンチンガー エミ
3	6/25	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの現在3	「Linie 1」から抜粋を読む	シンチンガー エミ
4	7/2	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの現在4	「Linie 1」から抜粋を読む	シンチンガー エミ
5	7/9	10:05-10:55	医学科演習室 4－	ドイツとヨーロッパの現在5	「Linie 1」から抜粋を読む	シンチンガー エミ

			11, 医学科演習室 4-12				
6	7/16	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの現在6	「Linie 1」から抜粋を読む	シンチンガー エミ	
7	7/23	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの現在7	理解度確認試験	シンチンガー エミ	

授業方法

セミナー形式; 初回はベルリンについてのオリエンテーションで、インターネットのページなど読みます。その次からは作品の一部を原文で読んで訳していきます。

授業内容

初回: ベルリンについてのオリエンテーション、プリント配布

第2回～第6回: 「Linie 1」より抜粋を読んでいきます。毎回予習が必要です。1年生で習ったドイツ語より格段に難しいので覚悟が必要です。

第7回: 到達したところまでの内容について、試験を行います。

成績評価の方法

毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が50パーセント。

試験が50パーセント。

再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

・授業中に沢山原文、ドイツ語を読みますので、1年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。1年生の時の文法と会話の両方の教科書を復習しておくといいです。他の参考書、ラジオやテレビのドイツ語講座も活用するといいです。

・授業時間が短いため、必ず毎回自宅で作辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。

試験の受験資格

原則3分の2以上出席

教科書

1回目にプリントを配布します。

参考書

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編: 三修社, 2008

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いので、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-U7100 がおすすめです。

履修上の注意事項

毎回出席を取ります。毎回プリントと電子辞書か独和辞典を持ってきてください。

連絡先

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟3階研究室

時間割番号	000623					
科目名	主題別選択Ⅰ（数理論理と形式言語）					
担当教員	清田 正夫					
開講時期	前期	対象年次	2			
曜日・時限: 木曜日 2 時限 対象学科: 医学科、歯学科 受講資格: 募集人数: 30人以下 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1), 2-1)						
授業の目的、概要等 数理論理学とは記号を用いて論理を数学的に考察する学問分野である。命題論理、述語論理、直観主義論理、様相論理などの多様な論理が存在する。ここでは、主として第1階述語論理をタブロー法により解説する。さらに、自然言語の形式的取り扱いとしてチョムスキーの生成文法を学ぶ。授業は講義形式で行なうが、テーマによってはセミナー形式をとることもある。						
授業の到達目標(SB0s) 第1階述語論理における恒真式をタブロー法により証明することが出来る。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	医学科講義室 1	命題論理1	命題論理の意味論を解説する。	清田 正夫
2	6/18	10:05-10:55	医学科講義室 1	命題論理2	命題論理の構文論を解説する。	清田 正夫
3	6/25	10:05-10:55	医学科講義室 1	第1階述語論理1	第1階述語論理の意味論を講義する。	清田 正夫
4	7/2	10:05-10:55	医学科講義室 1	第1階述語論理2	第1階述語論理の構文論を講義する。	清田 正夫
5	7/9	10:05-10:55	医学科講義室 1	第1階述語論理3	タブロー法による証明を解説する。	清田 正夫
6	7/16	10:05-10:55	医学科講義室 1	チョムスキーの生成文法1	自然言語の形式的取扱いを論じる。	清田 正夫
7	7/23	10:05-10:55	医学科講義室 1	チョムスキーの生成文法2	生成文法の考え方を紹介する。	清田 正夫
授業方法 主として講義を行なう。						
授業内容 第1回－第2回 命題論理の意味論と構文論 第3回－第5回 タブロー法による第1階述語論理 第6回－第7回 チョムスキーの生成文法						
成績評価の方法 評価: 試験0%・レポート80%・その他20% (授業への参加度・授業中の回答状況) 再評価: 有						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による						
準備学習などについての具体的な指示 講義内容の詳細を WebClass に載せているので、復習すること。						
教科書 プリントを配付する。 授業資料は WebClass に掲載してある。						
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。						

連絡先

kiyota.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日、木曜日 12:00～13:00 ヒポクラテス4階数学研究室(清田)

時間割番号	000625					
科目名	主題別選択Ⅰ（微分方程式演習）					
担当教員	越野 和樹					
開講時期	前期	対象年次	2			
・曜日・時間：木曜2限 ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー） 別表2－1） 別表4－2）						
授業の目的、概要等						
私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学(特に微分方程式)を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。						
授業の到達目標(SB0s)						
問題演習をとおして、数理科学的能力を高めること						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	共用セミナー室5	微分方程式演習(1)	物理学を題材とし1階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
2	6/18	10:05-10:55	共用セミナー室5	微分方程式演習(2)	物理学を題材とし1階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
3	6/25	10:05-10:55	共用セミナー室5	微分方程式演習(3)	物理学を題材とし高階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
4	7/2	10:05-10:55	共用セミナー室5	微分方程式演習(4)	物理学を題材とし高階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
5	7/9	10:05-10:55	共用セミナー室5	微分方程式演習(5)	物理学を題材とし高階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
6	7/16	10:05-10:55	共用セミナー室5	微分方程式演習(6)	物理学を題材とし連立微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
7	7/23	10:05-10:55	共用セミナー室5	微分方程式演習(7)	物理学を題材とし連立微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
授業方法						
各講義の前半に基礎知識の確認を行い、後半を試験とする。						
授業内容						
・物理数学演習 ・電磁気学演習 ・力学演習						
成績評価の方法						
評価：試験(期末考査)0%・レポート0%・その他(各講義での小テスト)100%						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						
特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。						
参考書						
「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか 共立出版						
履修上の注意事項						
解析学・線形代数の双方に十分な技術を有することを前提としている。						

時間割番号	000626																																																										
科目名	主題別選択Ⅰ（タンパク質科学の光と影）																																																										
担当教員	奈良 雅之																																																										
開講時期	前期	対象年次	2																																																								
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）： 1-3)人間の歴史的営みを理解する。 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる 2-1)自然現象を科学的に理解するための方法論を知る 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける																																																											
授業の目的、概要等 我々の生存を支えている生命現象はきわめて複雑で、それにはタンパク質、糖質、脂質、核酸などの多種類の物質が関わっています。それらの物質の中で生命現象の直接的な担い手であるタンパク質に注目が集まっています。21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されました。この授業ではタンパク質研究におけるX線、核磁気共鳴(NMR)、赤外線という電磁波の活用に焦点を当てます。これらの光を活用するために、フーリエ変換という数学的な手法について知り、タンパク質科学の「光と影」について理解を深めます。																																																											
授業の到達目標(SBOs) 授業に関するテーマを見つけて、そのテーマについて理解を深める																																																											
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>6/11</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室12</td><td>序論</td><td>タンパク質の構造と機能について</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>2</td><td>6/18</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室12</td><td>X線結晶構造解析</td><td>X線によるタンパク質の構造解析について理解を深める。</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>3</td><td>6/25</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室12</td><td>核磁気共鳴分光法</td><td>NMRによるタンパク質の構造解析について理解を深める</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>4</td><td>7/2</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室12</td><td>タンパク質プロジェクト（1）</td><td>タンパク質構造解析プロジェクトを通じて理解を深める</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>5</td><td>7/9</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室12</td><td>タンパク質プロジェクト（2）</td><td>タンパク質構造解析プロジェクトについて概説する</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>6</td><td>7/16</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室12</td><td>分光学の役割（1）</td><td>フーリエ変換に関する理解を深める</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>7</td><td>7/23</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室12</td><td>分光学の役割（2）</td><td>タンパク質の構造機能について見方を変える</td><td>奈良 雅之</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	6/11	10:05-10:55	共用セミナー室12	序論	タンパク質の構造と機能について	奈良 雅之	2	6/18	10:05-10:55	共用セミナー室12	X線結晶構造解析	X線によるタンパク質の構造解析について理解を深める。	奈良 雅之	3	6/25	10:05-10:55	共用セミナー室12	核磁気共鳴分光法	NMRによるタンパク質の構造解析について理解を深める	奈良 雅之	4	7/2	10:05-10:55	共用セミナー室12	タンパク質プロジェクト（1）	タンパク質構造解析プロジェクトを通じて理解を深める	奈良 雅之	5	7/9	10:05-10:55	共用セミナー室12	タンパク質プロジェクト（2）	タンパク質構造解析プロジェクトについて概説する	奈良 雅之	6	7/16	10:05-10:55	共用セミナー室12	分光学の役割（1）	フーリエ変換に関する理解を深める	奈良 雅之	7	7/23	10:05-10:55	共用セミナー室12	分光学の役割（2）	タンパク質の構造機能について見方を変える	奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																					
1	6/11	10:05-10:55	共用セミナー室12	序論	タンパク質の構造と機能について	奈良 雅之																																																					
2	6/18	10:05-10:55	共用セミナー室12	X線結晶構造解析	X線によるタンパク質の構造解析について理解を深める。	奈良 雅之																																																					
3	6/25	10:05-10:55	共用セミナー室12	核磁気共鳴分光法	NMRによるタンパク質の構造解析について理解を深める	奈良 雅之																																																					
4	7/2	10:05-10:55	共用セミナー室12	タンパク質プロジェクト（1）	タンパク質構造解析プロジェクトを通じて理解を深める	奈良 雅之																																																					
5	7/9	10:05-10:55	共用セミナー室12	タンパク質プロジェクト（2）	タンパク質構造解析プロジェクトについて概説する	奈良 雅之																																																					
6	7/16	10:05-10:55	共用セミナー室12	分光学の役割（1）	フーリエ変換に関する理解を深める	奈良 雅之																																																					
7	7/23	10:05-10:55	共用セミナー室12	分光学の役割（2）	タンパク質の構造機能について見方を変える	奈良 雅之																																																					
授業方法 講義形式による。 （履修者が10名以下の場合は、履修者の希望に応じてセミナー形式で行うこともできます。）																																																											
授業内容 21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されましたが、その光と影に迫ってみたいと考えます。科学的な知識として、タンパク質構造解析の概略を勉強しますが、実際にこの研究に携わったポスドクの問題など、社会的な視点からも理解を深めます。																																																											

成績評価の方法 評価:試験0%・レポート 80% その他(授業への参加度 20%) 再評価:有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習:配付資料に目を通してください。 復習:興味のあるテーマを見つけたら、それに関する文献や本を調べてください。
試験の受験資格 ・定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)
参考書 タンパク質の生命科学: ポスト・ゲノム時代の主役/池内俊彦 著,: 中央公論新社, 2001 ポストゲノム時代のタンパク質科学: 構造・機能・ゲノミクス/Arthur M.Lesk 著,高木淳一 訳,: 化学同人, 2007 入門構造生物学: 放射光 X 線と中性子で最新の生命現象を読み解く/高エネルギー加速器研究機構構造生物学研究センター, 加藤龍一 編,: 共立出版, 2010 タンパク質の構造と機能: カラー図説/グレゴリー A. ペソコ/著,ダグマール リンゲ/著,横山 茂之/監訳,宮島 郁子/訳,: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005
連絡先 nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000627					
科目名	主題別選択Ⅰ（植物の科学）					
担当教員	大塚 淳					
開講時期	前期	対象年次	2			
曜日・時間: 木曜日（後半 7 回）・2 時限 対象学科: 医学科・歯学科 募集人数: 30 名（主題別選択Ⅱ（植物の科学）と合わせて） 科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）： 別表1－3）人間の歴史的営みを理解する 別表1－10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる						
授業の目的、概要等 植物は地球上のあらゆる生物の生存を支えている。動物の食物として役立つだけでなく、光合成によって大気圏の二酸化炭素を吸収して酸素を供給し、大気環境を保持する役割をもつ。また、人間は、太古に繁殖していた植物の遺体を化石燃料として、医療現場では植物中の有効成分から誘導された医薬品を利用している。本授業では、植物の構造・成長・代謝などに関する基礎的な知識を講義を通して学び、人類と植物との関わりについて考える。						
授業の到達目標(SB0s) 植物を歴史的および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	共用セミ ナール室6	植物の歴史的背景	序論、植物の進化、植物と人間	大塚 淳
2	6/18	10:05-10:55	共用セミ ナール室6	植物の構造	植物の細胞・組織・器官	大塚 淳
3	6/25	10:05-10:55	共用セミ ナール室6	植物の機能(1)	植物の成長	大塚 淳
4	7/2	10:05-10:55	共用セミ ナール室6	植物の機能(2)	光合成(1)	大塚 淳
5	7/9	10:05-10:55	共用セミ ナール室6	植物の機能(3)	光合成(2)	大塚 淳
6	7/16	10:05-10:55	共用セミ ナール室6	植物の機能(4)	植物の物質代謝	大塚 淳
7	7/23	10:05-10:55	共用セミ ナール室6	植物の機能(5)	植物ホルモンの働き	大塚 淳
授業方法 講義による						
授業内容 植物の構造・成長・代謝や人類との関わりについて学ぶ。						
成績評価の方法 評価：試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20% 再評価: 有						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示 授業で扱った事項について参考書やインターネット等で知識を整理し、自分なりの考えをまとめる。						
試験の受験資格 2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。						
参考書 植物生理学／三村徹郎、鶴見誠二 編著、:化学同人, 2009 ベーシックマスター 植物生理学／塩井祐三、井上弘、近藤矩朗 共編、:オーム社, 2009						

時間割番号	000628					
科目名	主題別選択Ⅰ（危険物の科学）					
担当教員	勝又 敏行					
開講時期	前期	対象年次	2			
曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1ー2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表1ー10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる						
授業の目的、概要等 化学物質を扱うために、安全や環境保護など様々な理由から法による規制が行われている。その中で火災予防を目的として危険物が消防法により規定され、その取り扱いの監督者には資格が必要となる。危険物の化学的性質やその火災事例、消火法などを講義形式で紹介していく。						
授業の到達目標(SB0s) 危険物の安全な取扱方法を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	大学院講義室3	関係法令	化学物質の取扱いに関連する法令を紹介する。	勝又 敏行
2	6/18	10:05-10:55	大学院講義室3	危険物とは何か	危険物とは何かについて説明する。	勝又 敏行
3	6/25	10:05-10:55	大学院講義室3	第1類?第3類の性質	第1類から第3類危険物の性質や取扱方法について説明する	勝又 敏行
4	7/2	10:05-10:55	大学院講義室3	第4類の性質	第4類危険物の性質や取扱方法について説明する	勝又 敏行
5	7/9	10:05-10:55	大学院講義室3	第5類、第6類の性質	第5類、第6類危険物の性質や取扱方法について説明する	勝又 敏行
6	7/16	10:05-10:55	大学院講義室3	消火法について	危険物火災の消火方法を紹介する。	勝又 敏行
7	7/23	10:05-10:55	大学院講義室3	火事の事例	危険物火災の事故事例を紹介する。	勝又 敏行
授業方法 講義形式による						
授業内容 1. 関係法令 2. 危険物とは何か 3. 第1類～第3類の性質 4. 第4類の性質 5. 第5類、第6類の性質 6. 消火法について 7. 火事の事例						
成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、その他(授業中小テスト等)50%						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示 講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。						

参考書

基礎火災現象原論／James G.Quintiere 著,大宮喜文, 若月薫 訳:共立出版, 2009

連絡先

katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水、木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000629				
科目名	主題別選択Ⅰ（老化と寿命）				
担当教員	服部 淳彦				
開講時期	前期	対象年次	2		
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 1－5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。 1－10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる。					
授業の目的、概要等 「生あるものは必ず死を迎える」というが、果たして本当であろうか。生物学的に言えば、NOである。細菌などの原核生物は無限に分裂を繰り返し、生き延びることができるのである。一方、我々ヒトを含めた有性生殖を行う動物は、どんなに環境を整えても必ず死が訪れる。この授業では、「老化」に焦点を当て、老化の原因と老化に関連した病気についてはじめに解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスを行う。					
授業の到達目標(SB0s) 生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	共用セミ ナール室9	老化現象と老化の原因 (概要)	服部 淳彦
2	6/18	10:05-10:55	共用セミ ナール室9	骨の老化	服部 淳彦
3	6/25	10:05-10:55	共用セミ ナール室9	皮膚の老化	服部 淳彦
4	7/2	10:05-10:55	共用セミ ナール室9	脳の老化	服部 淳彦
5	7/9	10:05-10:55	共用セミ ナール室9	血管の老化	服部 淳彦
6	7/16	10:05-10:55	共用セミ ナール室9	老化と遺伝子	服部 淳彦
7	7/23	10:05-10:55	共用セミ ナール室9	抗加齢医学	服部 淳彦
授業方法 セミナー形式による(各自に発表してもらう)。したがって、募集人数は15名をMAXとする。					
授業内容 老化現象と老化の原因(概要) 骨の老化 皮膚の老化 脳の老化 血管の老化 老化と遺伝子 抗加齢医学					
成績評価の方法 評価:その他 100% 平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。 再評価: 有					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					

準備学習などについての具体的な指示 主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。
連絡先 ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000630					
科目名	主題別選択Ⅰ（生物と環境）					
担当教員	伊藤 正則					
開講時期	前期	対象年次	2			
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）： 別表1－8）自己の心と体を管理する能力を獲得する。 別表2－4）自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。						
授業の目的、概要等 外部環境から刺激を受容したとき、同種の生物では特定の刺激に対してほぼ定型的な反応を示す。この授業では、刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させることと、研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得することを目指す。主に、生物の環境適応を対象とする最近の研究論文を教材として用いる。						
授業の到達目標(SB0s) 1) 生体の基本構造を説明することができる。 2) 生体の構造と関連させて、基本的な機能を説明することができる。 3) 知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。 4) 研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を計画することができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	医学科講義室2	生物と環境	概論 環境適応の多様性	伊藤 正則
2	6/18	10:05-10:55	医学科講義室2	生物と環境	恒常性のしくみ	伊藤 正則
3	6/25	10:05-10:55	医学科講義室2	生物と環境	神経系と内分泌系の協調	伊藤 正則
4	7/2	10:05-10:55	医学科講義室2	生物と環境	生体防御	伊藤 正則
5	7/9	10:05-10:55	医学科講義室2	生物と環境	行動による適応と脳制御メカニズム	伊藤 正則
6	7/16	10:05-10:55	医学科講義室2	生物と環境	環境変化による遺伝子発現の変化	伊藤 正則
7	7/23	10:05-10:55	医学科講義室2	生物と環境	生物間の相互作用と生態系	伊藤 正則
授業方法 講義形式による。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。						
授業内容 生物が刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで説明する。主に、最近の研究論文(生物の環境適応に関する論文)を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。						
成績評価の方法 評価：試験 0%・レポート 80% その他 20%(授業への参加度・授業中の回答状況) 再評価：有						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。						

準備学習などについての具体的な指示 予習では予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案すること。
試験の受験資格 2/3以上出席したものにレポートの提出資格を与える。
教科書 必要に応じて関連資料を配布する。
参考書 ヒューマンバイオロジー 人体と生命 第7版／S.S. Mader: 医学書院, 2005 改訂版第2版 イラスト生化学・分子生物学／前野 正夫: 羊土社, 2008 イラスト生理学／照井 直人: 羊土社, 2012
履修上の注意事項 出欠管理システムでの記録より、教員がとる出欠を優先する。
連絡先 itohmtlas@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000631					
科目名	主題別選択Ⅰ（民主主義を再考する）					
担当教員	藤井 達夫					
開講時期	前期	対象年次	2			
曜日・時間： 木曜 2 限 対象学科： 医学科歯学科 募集人数： 25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)1-1)、1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-6)、1-7)、1-8)、1-9)、2-4)						
授業の目的、概要等 この授業では、近代以降の民主主義の歴史をたどりながら、現在の民主主義の閉塞状況を批判的に検討します。この検討を手掛かりにして、これからの社会をどのように作り上げていくのか履修者の皆さんと一緒に考えます。誰もが民主主義は私たちの社会のあり方——医療制度を含め——を決定する重要な政治の原理であり、手続きであると認めます。しかしながら、民主主義の内実をしっかりと理解している人はどれほどいるのでしょうか。民主主義についての議論をとおして、社会の一員としての自覚と知識を培うことがこの授業の目的になります。						
授業の到達目標(SB0s) (1)民主主義理論の基本的な理解を習得し、現代の民主社会が抱える問題について議論することができる。 (2)人権、社会的公正さといった規範的な視点から現代社会のあるべき姿について検討し、議論することができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	共用セミナー室 10	民主主義への不信と不満——民主主義の危機	グローバルな視点から、現代の代表制民主主義への不満とその原因について考えます。	藤井 達夫
2	6/18	10:05-10:55	共用セミナー室 10	戦後日本の民主主義とその歴史	歴史的な視点から、戦後の日本の民主主義の特徴を明らかにし、そこから現在の日本の民主主義の問題点について検討します。	藤井 達夫
3	6/25	10:05-10:55	共用セミナー室 10	間接民主主義と直接民主主義	歴史的な視点から、間接民主主義（＝代表制民主主義）と参加民主主義との関係性について検討します。	藤井 達夫
4	7/2	10:05-10:55	共用セミナー室 10	民主主義とポピュリズム	民主主義に内在する危険としてしばしば指摘されるポピュリズムに焦点を当て、ポピュリズムの歴史や現在のポピュリズムの問題点について考えます。	藤井 達夫
5	7/9	10:05-10:55	共用セミナー室 10	民主主義とエリート主義	エリート主義に基づいた近代の民主主義の構想を批判的に検討することで、その問題点を指摘します。	藤井 達夫
6	7/16	10:05-10:55	共用セミナー室 10	民主主義を深める——市民による参加と熟議	参加と熟議をキーワードにして、民主主義をさらに深めようとする現在の理論的構想や実験的な試みを紹介します。	藤井 達夫
7	7/23	10:05-10:55	共用セミナー室 10	日本国憲法と戦後民主主義	立憲主義や憲法制定権力という言葉を手掛かりに、日本国憲法と民主主義の関係について検討します。	藤井 達夫
授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。						

授業内容 第一回 民主主義への不信と不満—民主主義の危機 第二回 日本国憲法と戦後民主主義 第三回 間接民主主義と直接民主主義 第四回 民主主義とポピュリズム 第五回 民主主義とエリート主義 第六回 民主主義を深める—市民による参加と熟議 第七回 まとめ ※以上の授業計画には、変更の可能性あります。
成績評価の方法 評価：レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価：有(再評価方法)レポート
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 必要があれば、授業内で適宜、指示します。
教科書 教科書は使用しません。
参考書 オーウェル『カタロニア賛歌』(岩波文庫、1992 年) 小熊英二『社会を変えるには』(講談社現代新書、2012 年) 赤坂真理『愛と暴力の戦後とその後』(講談社現代新書、2014 年)
履修上の注意事項 出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。
連絡先 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000632					
科目名	主題別選択Ⅰ（英語で学ぶヒトの脳と言語）					
担当教員	戸張 靖子					
開講時期	前期	対象年次	2			
曜日・時間： 木曜日・2 時限（10:05-10:55）						
対象学科: 医・歯学科						
募集人数: 25 人						
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。						
別表1－7) 人間の心への理解を深める。						
別表2－3) 言語活動や社会現象を科学的に分析ための方法を知る。						
別表2－4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。						
授業の目的、概要等						
言語を持つのは地球上でヒトだけです。この授業では、世界で使用されている代表的な神経科学の教科書を資料として、言語を可能にするヒトの脳構造を概観し、幼児の言語獲得と発達から臨界期仮説を学習します。さらに、さまざまな動物のコミュニケーションとヒトの言語との比較研究から得られた言語の生物学的起源についての知見に触れます。講義は英語で記述された配布資料に基づき日本語と英語で行います。						
授業の到達目標(SB0s)						
(1)言語機能を担うヒトの脳構造について理解する。						
(2)言語の生物学的起源に関する知見に触れる。						
(3) 言語脳科学研究における研究手法を学ぶ。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	共用セミ ナール室2	Structure of the human brain (1)	Overview of the human brain.	戸張 靖子
2	6/18	10:05-10:55	共用セミ ナール室2	Structure of the human brain (2)	Language circuits in the brain.	戸張 靖子
3	6/25	10:05-10:55	共用セミ ナール室2	Critical period for language learning	Is there a critical period for language learning?	戸張 靖子
4	7/2	10:05-10:55	共用セミ ナール室2	Human behavior related to language	Second-language and sign language.	戸張 靖子
5	7/9	10:05-10:55	共用セミ ナール室2	Evolution of language	Animal behavior similar to language.	戸張 靖子
6	7/16	10:05-10:55	共用セミ ナール室2	Bird song	Comparison between bird song and human language.	戸張 靖子
7	7/23	10:05-10:55	共用セミ ナール室2	Behavior of primates	Comparison between behavior of primates and human language.	戸張 靖子
授業方法						
講義形式で行う他、学生が発表する機会もあります。						
授業内容						
第1回 Overview of the human brain						
第2回 Language circuits in the brain						
第3回 Critical period for language learning						
第4回 Second-language and sign language						
第5回 Animal behavior similar to language						
第6回 Comparison between bird song and human language						
第7回 Comparison between behavior of primates and human language						
成績評価の方法						
評価： 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20%						
再評価: 有(レポート提出)						

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示
毎回プリントを配布します。予習は特に必要ありませんが、毎回授業への質問やコメントを書いていただきます。
教科書
指定なし
参考書
Principles of Neural Science, Fifth Edition, Eric R. Kandel et al., 2013 McGraw-Hill
履修上の注意事項
レポート提出の資格:原則3分の2以上の出席

時間割番号	000809			
科目名	主題別選択Ⅰ（中国政治テキスト分析）			
担当教員	家永 真幸			
開講時期	前期	対象年次	2	
授業の目的、概要等				
日本でも中国でも、政治・外交に関して政府が発表する声明の類は、さまざまな思惑が交錯した結果として、非常に微妙な言い回しになることがよくあります。この授業では、中国政治にまつわる短めの政治文書や新聞記事などを、細かな言葉遣いの背景まで留意しながら読み解きます。				
授業の到達目標(SBOs)				
近年の中国政治に関する中国語、日本語、英語で書かれた文書の読解を通じ、それら文書の意義や歴史的背景について理解することを目指します。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	共用セミナー室4	家永 真幸
2	6/18	10:05-10:55	共用セミナー室4	家永 真幸
3	6/25	10:05-10:55	共用セミナー室4	家永 真幸
4	7/2	10:05-10:55	共用セミナー室4	家永 真幸
5	7/9	10:05-10:55	共用セミナー室4	家永 真幸
6	7/16	10:05-10:55	共用セミナー室4	家永 真幸
7	7/23	10:05-10:55	共用セミナー室4	家永 真幸
授業方法				
毎回取り扱うテキストを1つ指定・配布するので、事前に読んでいただき、授業時には必ず何か発言してもらいます。受講人数と顔ぶれを見て初回時に調整しますが、1人1回報告も担当してもらいます。中国語未履修者も受講して構いません。				
授業内容				
初回時に受講者と相談して決めますが、今のところ下記トピックを扱うことを考えています。				
第1回 ガイダンス、担当決め、序盤用テキスト配布				
第2回 「日中共同声明」(1972年9月)				
第3回 中華人民共和国国務院新聞弁公室「釣魚島は中国的固有領土」(2012年9月) 日本外務省「尖閣諸島についての基本見解」(2013年5月)				
第4回 “Joint Communiqué Between the People’s Republic of China and the United States”、《中華人民共和国和美利堅合衆国聯合公報》(1972年2月)				
第5回 在日米国大使館“Statement on Prime Minister Abe’s December 26 Visit to Yasukuni Shrine”(2013年12月) 《外交部發言人秦剛就日本首相安倍晋三参拜靖国神社發表談話》(2013年12月)				
第6回 香港特別行政区《政務司司長談与学聯代表對話》(2014年10月)				
第7回 総合討論				
成績評価の方法				
評価:試験0%・レポート80%				
その他20%(授業への参加度・授業中の回答状況)				
再評価:有				

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 各回の課題テキストは事前に配布するので、授業当日までに読んで来ることが求められます。授業で得た知識は自分なりに整理し、レポートに活かすことが望まれます。
連絡先 ienaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜日 PM.12:20-PM13:10 管理研究棟 3 階 309 室

時間割番号	000634					
科目名	主題別選択Ⅰ（ディアスポラの文化）					
担当教員	高尾 千津子					
開講時期	前期	対象年次	2			
曜日・時間: 木曜 2 限 対象学科: 医・歯学科 受講資格: 「文化と人間」「言語と人間」選択者 募集人数: 20 人						
授業の目的、概要等 現代のグローバルな人間の移動は、世界各地に新しいディアスポラ文化を生み出している。国を追われた亡命者や難民でなく、国際的な労働力の移動という形での移民たちが、この新たな文化の担い手となっている。授業では、ヨーロッパとアメリカを中心に、移民たちの文化を紹介し、多文化社会が投げかける問題点を考える。						
授業の到達目標(SBOs) 人の移動にともなう文化変容と異文化間の相互理解を重要性を考える。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	共用セミナー室 11	ガイダンス	移民のアイデンティティと多文化共生について	高尾 千津子
2	6/18	10:05-10:55	共用セミナー室 11	アメリカの移民文化 1	アメリカの移民政策の歴史と移民文化について	高尾 千津子
3	6/25	10:05-10:55	共用セミナー室 11	アメリカの移民文化 2	アメリカの多文化主義の実際と問題点を紹介する。	高尾 千津子
4	7/2	10:05-10:55	共用セミナー室 11	ヨーロッパの移民文化 1	ヨーロッパの移民政策とEUにおける域内、域外の人の移動の問題を考える。	高尾 千津子
5	7/9	10:05-10:55	共用セミナー室 11	ヨーロッパの移民文化 2	ドイツの移民と多文化社会創造の試みを紹介する。	高尾 千津子
6	7/16	10:05-10:55	共用セミナー室 11	ヨーロッパの移民文化 3	フランスの移民政策とイスラーム文化	高尾 千津子
7	7/23	10:05-10:55	共用セミナー室 11	イスラエルの移民文化	移民国家イスラエルの持つ多様な文化と人々を知る	高尾 千津子
授業方法 講義形式						
成績評価の方法 評価：試験 0 % ・ レポート 80 % ・ その他(授業への参加度) 20% 再評価: 有(再評価方法)						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示 授業ごとに参考文献を提示するので読んでおくこと。						
教科書 授業でプリントを配布する。						
参考書						

駒井洋編『ヨーロッパ・ロシア・アメリカのディアスポラ』明石書店、2009 年。 野村達朗『「民族」で読むアメリカ』講談社現代新書、1992 年。 内藤正典『ヨーロッパとイスラーム——共生は可能か』岩波新書、2004 年。
履修上の注意事項 3 分の2以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。
連絡先 takao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 12:30～13:30

時間割番号	000636				
科目名	主題別選択Ⅰ（医療技術と物理）				
担当教員	檜枝 光憲				
開講時期	前期	対象年次	2		
曜日・時間: 木曜2限 募集人数: 20人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2－1) 別表2－2) 別表2－4) 別表4－2)					
授業の目的、概要等 医療技術は物理学と大いに関係しています。医療でお馴染みの X 線、MRI、レーザーなど本当に多くの医療のための基礎技術が物理学者によって発見されており、物理学と密接に関係しています。本授業はゼミ形式で進め、受講者自らの発表を通して医療技術と物理の密接な関係について理解を深めていきます。					
授業の到達目標(SBOs) 医療技術と物理の関係について具体例がイメージできるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	共用セミ ナール室1	第1回	檜枝 光憲
2	6/18	10:05-10:55	共用セミ ナール室1	第2回	檜枝 光憲
3	6/25	10:05-10:55	共用セミ ナール室1	第3回	檜枝 光憲
4	7/2	10:05-10:55	共用セミ ナール室1	第4回	檜枝 光憲
5	7/9	10:05-10:55	共用セミ ナール室1	第5回	檜枝 光憲
6	7/16	10:05-10:55	共用セミ ナール室1	第6回	檜枝 光憲
7	7/23	10:05-10:55	共用セミ ナール室1	第7回	檜枝 光憲
授業方法 ゼミ形式で行います。 初回に分担を決め、順番に発表を行ってもらいます。					
授業内容 第1回 イン트로ダクション 第2回 医学と波・音(超音波) 第3回 医学と電気・電気技術(心電計、脳波計) 第4回 医学と光学(レンズ、顕微鏡) 第5回 医学と原子物理学(X 線、レーザー) 第6回 医学と原子核物理(磁気共鳴、放射線) 第7回 医学とナノテクノロジー					
成績評価の方法 評価 : その他 100 % 発表点(発表とレジュメ)と平常点(出席、議論等への参加度)による。 再評価: 有					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					

準備学習などについての具体的な指示 発表準備のために教科書以外の参考書や他の関連図書を探して読むこと。
教科書 生物学と医学のための物理学/Paul Davidovits: 共立出版, 2015
参考書 医療系のための物理/佐藤幸一・藤城敏幸: 東京教学社, 2007
履修上の注意事項 原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取れる出欠を優先させる。
連絡先 hieda.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜 17:00～19:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000701																																																																	
科目名	主題別選択Ⅱ（語り(ナラティブ)の構造)																																																																	
担当教員	土佐 朋子																																																																	
開講時期	前期	対象年次	3																																																															
・曜日・時間:木曜 2 限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・受講資格:「言語と人間」「時間と人間」の主題であること ・科目を履修して得られる能力(コンピテシー) 別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る																																																																		
授業の目的、概要等 人間は、自らを存在させるために「語り」を必要とする生き物である。 本授業の目的は、人間の「語り」の構造について、基本的な考え方を学び、理解を深めることである。到達目標は、3年次のセミナーにおいて、自らの主題にもとづいて問題設定をし解決していくために必要な思考力が、「語り」という観点から養われることである。 古典から近現代までの複数の文学作品を用いながら、それぞれの語りの特徴を指摘し、そのことがどのような効果を発揮し得るかを考察する。																																																																		
授業の到達目標(SBOs) ①人間が語る生き物であることの意味を考える土台を築く。 ②3年次のセミナー論文における問題設定の糸口をつかむ。																																																																		
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>授業題目</td><td>授業内容</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/16</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 6</td><td>ガイダンス</td><td>「語り」とは何か。本授業の問題意識を説明する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>2</td><td>4/23</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 6</td><td>「語り」に必要な要素「X」</td><td>夏目漱石は「猫」か。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>3</td><td>4/30</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 6</td><td>「語り手」と「作者」の不思議な関係</td><td>「わたし」は誰のミステリー。江戸川乱歩『人間椅子』の不気味な世界を語り手の問題から考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>4</td><td>5/7</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 6</td><td>「わたし」の語り</td><td>「わたし」を創り上げるのは「わたし」。夏目漱石『こころ』の二人の「わたし」の語りを語り手の問題から考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>5</td><td>5/14</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 6</td><td>「わたし」の「嘘」―『舞姫』の語り①―</td><td>「わたし」を語るのは「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りの危うさを考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>6</td><td>5/21</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 6</td><td>「わたし」の「嘘」―『舞姫』の語り②―</td><td>フィクションとしての「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りのフィクション性を考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>7</td><td>5/28</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 6</td><td>「語り」を創り上げるもの</td><td>「語り」の中の「真実」。芥川龍之介『藪の中』の語り「真実」はあるのかを考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>8</td><td>6/4</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 6</td><td>総括</td><td></td><td>土佐 朋子</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/16	10:05-10:55	共用セミナー室 6	ガイダンス	「語り」とは何か。本授業の問題意識を説明する。	土佐 朋子	2	4/23	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「語り」に必要な要素「X」	夏目漱石は「猫」か。	土佐 朋子	3	4/30	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「語り手」と「作者」の不思議な関係	「わたし」は誰のミステリー。江戸川乱歩『人間椅子』の不気味な世界を語り手の問題から考察する。	土佐 朋子	4	5/7	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「わたし」の語り	「わたし」を創り上げるのは「わたし」。夏目漱石『こころ』の二人の「わたし」の語りを語り手の問題から考察する。	土佐 朋子	5	5/14	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「わたし」の「嘘」―『舞姫』の語り①―	「わたし」を語るのは「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りの危うさを考察する。	土佐 朋子	6	5/21	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「わたし」の「嘘」―『舞姫』の語り②―	フィクションとしての「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りのフィクション性を考察する。	土佐 朋子	7	5/28	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「語り」を創り上げるもの	「語り」の中の「真実」。芥川龍之介『藪の中』の語り「真実」はあるのかを考察する。	土佐 朋子	8	6/4	10:05-10:55	共用セミナー室 6	総括		土佐 朋子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																												
1	4/16	10:05-10:55	共用セミナー室 6	ガイダンス	「語り」とは何か。本授業の問題意識を説明する。	土佐 朋子																																																												
2	4/23	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「語り」に必要な要素「X」	夏目漱石は「猫」か。	土佐 朋子																																																												
3	4/30	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「語り手」と「作者」の不思議な関係	「わたし」は誰のミステリー。江戸川乱歩『人間椅子』の不気味な世界を語り手の問題から考察する。	土佐 朋子																																																												
4	5/7	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「わたし」の語り	「わたし」を創り上げるのは「わたし」。夏目漱石『こころ』の二人の「わたし」の語りを語り手の問題から考察する。	土佐 朋子																																																												
5	5/14	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「わたし」の「嘘」―『舞姫』の語り①―	「わたし」を語るのは「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りの危うさを考察する。	土佐 朋子																																																												
6	5/21	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「わたし」の「嘘」―『舞姫』の語り②―	フィクションとしての「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りのフィクション性を考察する。	土佐 朋子																																																												
7	5/28	10:05-10:55	共用セミナー室 6	「語り」を創り上げるもの	「語り」の中の「真実」。芥川龍之介『藪の中』の語り「真実」はあるのかを考察する。	土佐 朋子																																																												
8	6/4	10:05-10:55	共用セミナー室 6	総括		土佐 朋子																																																												
授業方法 講義を中心とする。																																																																		
授業内容 語りが成立するために必要な要素の確認から始め、それらがどのように機能して、どのような構造を作っているかを、作品を通して具体的に考察する。とりあげる作品は、『古事記』『万葉集』などの古典、江戸川乱歩『人間椅子』、夏目漱石『こころ』、森鷗外『舞姫』、芥川龍之介『藪の中』などを予定している。																																																																		

成績評価の方法 評価:試験 0%・レポート 80% その他 20% (授業への参加度・授業中の小レポート等) 再評価:有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 作品を自分でよく読むこと。授業で扱う作品に限らず、幅広く作品を読むこと。
試験の受験資格 レポート提出には、原則として3分の2以上の出席が必要。
教科書 プリントを使用する。
参考書 『対象喪失：悲しむということ』／小此木 啓吾／著、中央公論新社、1979 『時間と自我』／大森荘蔵、青土社、1992 『ナラティブ・メディスン：物語能力が医療を変える』／Rita Charon [著]、斎藤清二、岸本寛史、宮田靖志、山本和利 訳、医学書院、2011 『ナラティブ・ベイスト・メディスン：臨床における物語りと対話』／トリシャ・グリーンハル 編集、ブライアン・ハーウィッツ 編集、斎藤 清二 監訳、山本 和利 監訳、岸本 寛史 監訳、金剛出版 『臨床とことば』／河合隼雄、鷺田清一 著、朝日新聞出版、2010 『ナラティブと医療』／江口重幸、斎藤清二、野村直樹 編、金剛出版、2006 『ほんとうの構造主義：言語・権力・主体』／出口顯 著、NHK 出版、2013
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
連絡先 tosa.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜 PM.12:30-PM.14:50 管理研究棟2階文学研究室

時間割番号	000702					
科目名	主題別選択Ⅱ（いのちと医療の歴史学）					
担当教員	田中 智彦					
開講時期	前期	対象年次	3			
◇ 曜日・時間: 木曜 2 限						
◇ 対象学科: 医学科・歯学科						
◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)						
別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する						
別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る						
別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる						
授業の目的、概要等						
私たちの「ものの見方」は、私たちが思っている以上に、私たちの言語・文化・歴史に影響され、制約されています。「いのち」や「医学・医療」についても例外ではありません。それどころか、この二つのうちにこそ私たち現代人の「ものの見方」が典型的に映し出されている、と言っても過言ではないほどです。しかし他方で、そうした「ものの見方」はふだん「当たり前」のこととして通用しているので、そこからは何がどのように見えているのか、そしてまた見えていないのかは、なかなか問われることがありません。						
あらためてそのような問いを立て、それを歴史の観点から考察してゆくのがこの授業です。他の人びとは別にしても、「医学・医療」を志し、「いのち」に関わることを一生の仕事にしようとするのなら、せめて一度なりともそのような問いに取り組んでみる必要があるでしょう。この授業ではそうした機会を提供するべく、「授業詳細日程」に記すような論点について検討してゆきます。						
授業の到達目標(SB0s)						
(1) 上記の試みをつづじて、近代以降の「いのち」へのまなざしの変遷とその問題点とについて理解を深めること。						
(2) それとともに、近代以降の医学・医療の展開における問題点をも省みることのできる視点を得ること。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	「医師」の誕生	近代に医学はいかに変貌したか ①	田中 智彦
2	4/23	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	医学と近代国家	近代に医学はいかに変貌したか ②	田中 智彦
3	4/30	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	「いのち」の選別①	「優れた生」をめぐる思想と政治	田中 智彦
4	5/7	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	「いのち」の選別②	「生きるに値しない生命」という言説	田中 智彦
5	5/14	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	その時、日本は…	日本の近代化と医学・医療を省みる	田中 智彦
6	5/21	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	医学・医療と現代社会	見えていることと見えていないこと	田中 智彦

			習室 5-3, 医学科演習室 5-4		と		
7	5/28	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	まとめ	過去からの問いに学ぶ	田中 智彦	
8	6/4	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	総括		田中 智彦	
授業方法 授業は講義形式で行う予定です。 教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。							
授業内容 「授業詳細日程」にある通り							
成績評価の方法 ◇評価: レポート 80% その他 20% (出席状況、コメントシートへの回答など) ◇再評価: 有 (レポート)							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による							
準備学習などについての具体的な指示 授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。							
試験の受験資格 ◇ レポートの提出資格: 原則 7 回中 5 回以上の出席							
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。							
連絡先 tanaka.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 毎週月曜日 11:00～13:00 管理研究棟 2 階 哲学研究室							

時間割番号	000703					
科目名	主題別選択Ⅱ（スポーツと健康）					
担当教員	水野 哲也					
開講時期	前期	対象年次	3			
曜日・時間: 木曜 2 限 対象学科: 医学科・歯学科 2 年 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－4)異なる空間の文化を理解する 別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する						
授業の目的、概要等 本授業では、生活の身近にある「スポーツ」また「健康」とは何か？、を原点に立ち返って、今一度考えてみたい。授業では、私(水野)の考える「スポーツとは？」、「健康とは？」を述べるが、これは私論である。よって、授業の後半では受講者各自が考える「スポーツ」また「健康」とは？ を発表し、その本質について共に考えたい。						
授業の到達目標(SBOs) 本授業の最終到達目標は、主題別選択授業のテーマでもある偏らない思考や物の見方をどのようにして身に付けてゆくか？を実践的に学ぶことである。よって、学生各自が本授業の題目である「スポーツと健康」に関する独自のテーマを設定し、それぞれの私論を述べるとともに意見交換し、授業終了後にそれらを基に 1600～2000 字のレポートをまとめることを具体的な到達目標とする。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	共用セミナー室1	スポーツとは？、健康とは？	スポーツの語源、健康の定義等からその本質について考えます	水野 哲也
2	4/23	10:05-10:55	共用セミナー室1	文化とは？	文化の定義等から文化としてのスポーツ、また健康文化について考えます	水野 哲也
3	4/30	10:05-10:55	共用セミナー室1	健康を作り出す文化とは？	健康文化としての養生、衛生、セルフケアなど取り上げ、その原理的特徴を考えます。そして、より良い医療文化とはどのようなものか？ 皆さんと一緒に考えます	水野 哲也
4	5/7	10:05-10:55	共用セミナー室1	健康のためのスポーツとは？	「スポーツは健康にいい」とか、「スポーツをすると健康になる」とか言いますが、どのようなスポーツが本当に健康づくりに役立つのでしょうか？	水野 哲也
5	5/14	10:05-10:55	共用セミナー室1	スポーツマンの健康とは？	『お相撲さんは短命だ』と言われる。では、スポーツマンにとっての健康とはどのようなことをいうのでしょうか？	水野 哲也
6	5/21	10:05-10:55	共用セミナー室1	発表「私の考えるスポーツと健康」その1	授業前半での講義等を聴いて、あなたが考える「スポーツと健康」に関してのテーマについて発表して頂きます。発表時間、方法については受講者数等を考慮した上で決定し、授業前半に指定します。	水野 哲也
7	5/28	10:05-10:55	共用セミナー室1	発表「私の考えるスポーツと健康」その2	授業前半での講義等を聴いて、あなたが考える「スポーツと健康」に関してのテーマについて発表して頂きます。発表時間、方法については受講者数等を考慮した上で決	水野 哲也

					定し、授業前半に指定します。		
8	6/4	10:05-10:55	共用セミナー室1	総括		水野 哲也	
授業方法 授業は講義形式で実施するが、後半はその学習効果を上げるために発表、討議型の授業を行う。							
授業内容 「スポーツとは?」、「健康とは?」、そして「文化とは?」について考え、その後「スポーツは文化か?」、「健康づくりは文化か?」などについて事例やデータを基に水野の私論を述べる。その後、受講者の発表を行い、意見交換する。							
成績評価の方法 評価:出席 30%、各授業時の参加度 20%、レポート 50% 再評価: 有							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 本授業では単に授業に出席して講義を聴くというだけでなく、主体性をもって主題(自ら選択したテーマ)について考える積極的な態度や姿勢が求められる。発表の内容をしっかりと準備してください。							
試験の受験資格 本授業は、原則全授業の 2/3(全 7 回のうち 5 回)以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。							
参考書 痛快!みんなのスポーツ学/辻秀一 著:集英社インターナショナル, 2001							
他科目との関連 1年次のスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。							
連絡先 mizuno.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 毎週金曜日 AM. 11:00 ~ 12:30 管理研究棟 2 階							

時間割番号	000704					
科目名	主題別選択Ⅱ（バルト『エッフェル塔』を読む）					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	前期	対象年次	3			
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 別表1－1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－3) 人間の歴史的営みを理解する 別表1－4) 異なる空間の文化を理解する						
主な講義場所 湯島						
授業の目的、概要等 フランスの批評家、ロラン・バルトの『エッフェル塔』を講読します。日本でも、2012年にスカイツリーが完成し、これを機に、東京タワーも含めて、人々がこうした建築物に抱く思いが様々なメディアで特集されました。こうした建築物は時代を象徴し、人々の思いが集約される場となっています。エッフェル塔は今では代表的なパリの観光名所ですが、19世紀に建築された当時は醜い鉄の塔としてさんざんな悪評を蒙りました。バルトはこのエッフェル塔という「記号」が持つ意味を、パリの都市構造とも関連づけながら重層的に分析していきます。授業では、バルト独自の表現やものの見方を味わい、具体例を通して、バルトの分析手法や考え方の特徴を理解することを目的とします。						
授業の到達目標(SB0s) 1)バルト独特の分析方法やレトリックを味わう。 2)エッフェル塔を通じてフランス文化の一端を知る。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	共用セミナー室12	バルト『エッフェル塔』を読む	序論(概要の説明)	中島 ひかる
2	4/23	10:05-10:55	共用セミナー室12	バルト『エッフェル塔』を読む	テキスト輪読（視線）	中島 ひかる
3	4/30	10:05-10:55	共用セミナー室12	バルト『エッフェル塔』を読む	テキスト輪読(小世界)	中島 ひかる
4	5/7	10:05-10:55	共用セミナー室12	バルト『エッフェル塔』を読む	テキスト輪読(鉄の意味)	中島 ひかる
5	5/14	10:05-10:55	共用セミナー室12	バルト『エッフェル塔』を読む	テキスト輪読(社会的表徴)	中島 ひかる
6	5/21	10:05-10:55	共用セミナー室12	バルト『エッフェル塔』を読む	テキスト輪読(象徴性)	中島 ひかる
7	5/28	10:05-10:55	共用セミナー室12	バルト『エッフェル塔』を読む	意見交換	中島 ひかる
8	6/4	10:05-10:55	共用セミナー室12	バルト『エッフェル塔』を読む	まとめ	中島 ひかる
授業方法						

講義形式による。 最初に概要を説明した後、1回に文庫本にして約20ページを講読・解説します。 私の講義内容に対して自分なりのコメントを求めることがあります。
授業内容 バルトの分析に沿って、エッフェル塔を通じて、人間の視線の作用、塔という小空間の意味、鉄という素材の意味、塔の社会的・歴史的象徴性等を見ていきます。構造主義、複製技術、技術と芸術、パリの都市構造、19世紀等、関連したトピックスを扱います。
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)0%・レポート 90%・ その他 10%(出席・授業への参加度) 再評価:有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 初回の導入以外は、毎回、授業で扱う範囲については内容に目を通し、授業中の議論に参加できるよう準備して下さい。講義形式で内容を解説しますが、それについて自分なりの見解をもてるようにして下さい。
試験の受験資格 2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。
教科書 エッフェル塔／ロラン・バルト 著,宗左近 諸田和治 訳:筑摩書房, 1997
参考書 ロラン・バルト『ロラン・バルト著作集』全 10 巻 みすず書房
履修上の注意事項 教室に出欠管理システムの端末がないと思われるので、教員が毎回出欠を取ります。教科書は必ず購入して下さい。購入せず出席した場合は欠席と見なします。
連絡先 nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000705					
科目名	主題別選択Ⅱ (ドイツとヨーロッパの社会)					
担当教員	シンチンガー エミ					
開講時期	前期	対象年次	3			
・前期前半 ・曜日・時間: 木曜 2 限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・受講資格: ドイツ語 a,b,c,d,4 単位を持っていること ・募集人数: 2年生とあわせて 20 人 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表1－3) 人間の歴史的営みを理解する 別表1－4) 異なる空間の文化を理解する 別表3－4) 外国文化を理解する 別表3－5) 国際情勢を理解する						
主な講義場所						
湯島キャンパス						
授業の目的、概要等						
ドイツ語で書かれた教科書を読みながら、ドイツとヨーロッパの社会について学んでいきます。原文を読む授業ですので、ドイツ語の 4 単位を持っていない方は受講できません！ ドイツ政府やEUのホームページも見えていきます。時間があれば、DVDも見ます。毎回予習してきてもらって、ドイツ語を訳していきますので、予習をすることが受講の条件です。						
授業の到達目標(SB0s)						
ドイツの地理と社会について教科書で読んでから、ドイツ政府とEUについても学び、 「ドイツ再統一」に至った経緯について学ぶことが目標です。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの社会1	オリエンテーション、教科書第1課	シンチンガー エミ
2	4/23	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの社会2	教科書第2課	シンチンガー エミ
3	4/30	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの社会3	教科書第3課	シンチンガー エミ
4	5/7	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの社会4	教科書第4課、ドイツ政府のホームページ	シンチンガー エミ
5	5/14	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの社会5	教科書第4課、EUのホームページ	シンチンガー エミ

			習室 4-11, 医学 科演習室 4-12	会5	ジ	エミ	
6	5/21	10:05-10:55	医学科演 習室 4-11, 医学 科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの社 会6	教科書第 4 課、ニュース映像	シンチンガー エミ	
7	5/28	10:05-10:55	医学科演 習室 4-11, 医学 科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの社 会7	理解度確認試験	シンチンガー エミ	
8	6/4	10:05-10:55	医学科演 習室 4-11, 医学 科演習室 4-12	(予備日)	授業なし	シンチンガー エミ	
授業方法 セミナー形式: 毎回教科書を読んで訳してから、ドイツ政府や EU のホームページの内容を読みます。時間があればドキュメンタリー映像も見ます。							
授業内容 初回: オリエンテーション、第 1 課 (1 ページ) 第 2 回～第 3 回: 第 2 課と第 3 課 (3 ページと 6 ページ) 第 4 回～第 6 回: 第 4 課(9～13 ページ)を読みながら、ドイツ再統一に至った経緯を考えます。インターネット、DVD も使用する予定。 第 7 回: 理解の度合いを調べるため、試験を行います。							
成績評価の方法 毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。 試験が 50 パーセント。 再評価: 無							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による							
準備学習などについての具体的な指示 ・授業中に沢山原文、ドイツ語を読みますので、1 年で学んだドイツ語の内容を授業が始まる前に復習しておいてください。1 年生の時に使った文法と会話の教科書を復習しておくといいです。他の参考書や、ラジオやテレビのドイツ語講座も活用するとよいです。 ・授業時間が短いため、必ず毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。							
試験の受験資格 原則 3 分の 2 以上出席							
教科書 ドイツとドイツ語を話す国ぐに／Heinz Griesbach [著], 松本嘉久 編: 朝日出版社, 1994 教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので注意してください。							
参考書 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編: 三修社, 2008 アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いので、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-U7100 がおすすめです。							

履修上の注意事項 毎回出席を取ります。 毎回教科書と電子辞書か独和辞典を持ってきました。
連絡先 schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000707					
科目名	主題別選択Ⅱ（社会の中の数学）					
担当教員	清田 正夫					
開講時期	前期	対象年次	3			
曜日・時限: 木曜日 2 時限 対象学科: 医学科、歯学科 受講資格: 募集人数: 30人以下 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 2-4)						
授業の目的、概要等 数学と日々の生活は無縁のものとする人は多いが、身の回りにある道具や装置に数学の理論が応用されている例は無数にある。ここでは、CD の信頼性を保証する誤り訂正符号、機密事項の伝達に用いられる鍵公開暗号、CT スキャンの基本原理であるラドン変換を取り上げ、それらの数学的基礎を解説する。主として講義形式で行なうが、項目によっては学生に発表させることもある。						
授業の到達目標(SB0s) 数学理論が社会のなかでどのように応用されているかを、実例を通して理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	医学科講義室 1	誤り訂正符号	誤り訂正符号の原理を解説する。	清田 正夫
2	4/23	10:05-10:55	医学科講義室 1	ハミング符号	ハミング符号の構成を与える。	清田 正夫
3	4/30	10:05-10:55	医学科講義室 1	鍵公開暗号	鍵公開暗号の仕組みを解説する。	清田 正夫
4	5/7	10:05-10:55	共用講義室 1	RSA 暗号	鍵公開暗号の実例を紹介する。	清田 正夫
5	5/14	10:05-10:55	医学科講義室 1	フーリエ級数	フーリエ級数の性質と応用を論じる。	清田 正夫
6	5/21	10:05-10:55	医学科講義室 1	フーリエ変換	フーリエ変換の性質と応用を論じる。	清田 正夫
7	5/28	10:05-10:55	医学科講義室 1	ラドン変換	CT スキャンの基本原理を解説する。	清田 正夫
8	6/4	10:05-10:55	医学科講義室 1	総括		清田 正夫
授業方法 主として講義を行なう。						
授業内容 第1回－第2回 誤り訂正符号とハミング符号 第3回－第4回 鍵公開暗号と RSA 暗号 第5回－第7回 フーリエ変換とラドン変換						
成績評価の方法 評価: 試験0%・レポート80%・その他20% (授業への参加度・授業中の回答状況) 再評価: 有						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による						
準備学習などについての具体的な指示 講義内容の詳細を WebClass に載せているので、復習すること。						
教科書 プリントを配付する。 授業資料は WebClass に掲載してある。						

履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。
連絡先 kiyota.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日、木曜日 12:00～13:00 ヒポクラテス4階数学研究室(清田)

時間割番号	000709					
科目名	主題別選択Ⅱ（物理数学演習）					
担当教員	越野 和樹					
開講時期	前期	対象年次	3			
・曜日・時間：木曜2限 ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー） 別表2－1） 別表4－2）						
授業の目的、概要等						
私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学（特に微分方程式）を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。						
授業の到達目標(SBOs)						
問題演習をとおして、数理科学的能力を高めること						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	共用セミナー室 5	物理数学演習(1)	物理学を題材とし1階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
2	4/23	10:05-10:55	共用セミナー室 5	物理数学演習(2)	物理学を題材とし1階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
3	4/30	10:05-10:55	共用セミナー室 5	物理数学演習(3)	物理学を題材とし高階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
4	5/7	10:05-10:55	共用セミナー室 5	物理数学演習(4)	物理学を題材とし高階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
5	5/14	10:05-10:55	共用セミナー室 5	物理数学演習(5)	物理学を題材とし高階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
6	5/21	10:05-10:55	共用セミナー室 5	物理数学演習(6)	物理学を題材とし連立微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
7	5/28	10:05-10:55	共用セミナー室 5	物理数学演習(7)	物理学を題材とし連立微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
8	6/4	10:05-10:55	共用セミナー室 5	物理数学演習(8)	物理学を題材とし連立微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
授業方法						
各講義の前半に基礎知識の確認を行い、後半を試験とする。						
授業内容						
・物理数学演習 ・電磁気学演習 ・力学演習						
成績評価の方法						
評価：試験（期末考査）0%・レポート0%・その他（各講義での小テスト）100%						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						
特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。						
参考書						
「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか 共立出版						
履修上の注意事項						
解析学・線形代数の双方に十分な技術を有することを前提としている。						

時間割番号	000710					
科目名	主題別選択Ⅱ（社会の中の科学）					
担当教員	奈良 雅之					
開講時期	前期	対象年次	3			
・曜日・時間:木曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)社会制度や仕組みについて基本を理解する 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける						
授業の目的、概要等						
社会の中で話題になっている科学物質、科学現象、科学に関する制度を取り上げます。科学的な側面から基礎事項を確認するとともに、文化、制度の面からも考えていきます。まず「水と酸素と二酸化炭素」という誰でもよく知っている物質に焦点を当てます。二酸化炭素がどうして温室効果ガスと言われるか、真面目に考えたことはありますか。燃焼の熱化学方程式などの一般化学の知識はもちろんのこと、分子構造論や量子化学が理解できていないとその訳を説明することができません。しかも、そこに社会問題が加わってきますので、話はかなり複雑です。医歯学の専門の授業では教えてくれないが、教養教育の一環として身につけておきたい自然界の仕組み、社会の仕組みについて理解を深めます。						
授業の到達目標(SB0s)						
授業の関係したテーマを見つけて、そのテーマの基づいて理解を深める						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	疑似科学(1)	ガイダンスを行った後、疑似科学に関する授業を行う。	奈良 雅之
2	4/23	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	疑似科学(2)	疑似科学に関する理解を深める。	奈良 雅之
3	4/30	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	二酸化炭素:温室効果ガス	地球温暖化に関係する二酸化炭素について理解を深める	奈良 雅之
4	5/7	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	科学教育	教育制度について取り上げる。大学院進学、博士号取得について考える。	奈良 雅之
5	5/14	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	医療の中の化学物質(1)	活性酸素について理解を深める。	奈良 雅之
6	5/21	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科	医療の中の化学物質(2)	代替医療としての水について理解を深める。	奈良 雅之

			科演習室 5-2				
7	5/28	10:05-10:55	医学科演 習室5- 1, 医学 科演習室 5-2	医療の中の化学物質 (3)	機能水について取り上げる	奈良 雅之	
8	6/4	10:05-10:55	医学科演 習室5- 1, 医学 科演習室 5-2	(予備日)		奈良 雅之	
授業方法 講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。							
授業内容 社会の中で話題になっている科学物質、科学現象、科学に関する制度を取り扱います。科学的な側面から基礎事項を確認するとともに、文化、制度の面からも考えていきます。							
成績評価の方法 評価:試験0%・レポート80% その他20%(授業への参加度・授業中の回答状況) 再評価:有							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 予習:配付資料、関連資料に目を通してください。 復習:興味のある項目について、文献を調べてください。							
試験の受験資格 ・定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)							
参考書 疑似科学入門／池内了 著, 岩波書店, 2008 メディア・バイアス あやしい健康情報とニセ科学／松永和紀 著, 名古屋市鶴舞中央図書館点字文庫, 2010 科学と人間の不協和音／池内了 [著], 角川書店, 2012 活性酸素／高柳 輝夫 編, 大坂 武男 編, 大坂 武男 [ほか] 共著, 日本化学会 監修, 丸善 博士漂流時代:「余った博士」はどうか?／榎木英介 [著], ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2010 水素水とサビない身体／太田成男 著, 小学館, 2013							
連絡先 nara.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階							

時間割番号	000711					
科目名	主題別選択Ⅱ（食品の科学）					
担当教員	大塚 淳					
開講時期	前期	対象年次	3			
曜日・時間: 木曜日（前半 7 回）・2 時限 対象学科: 医学科・歯学科 募集人数: 30 名（主題別選択Ⅱ（食品の科学）と合わせて） 科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）： 別表1－3）人間の歴史的営みを理解する 別表2－1）自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。						
授業の目的、概要等						
食品は私たちの健康や生命を維持するために欠かすことのできない大切なものである。人間にとって食品とは、身体の形成やエネルギー供給源として働く「栄養素」を与えるだけのものではない。「おいしさ」や「安全性」を兼ね備え、健康の維持や疾病の予防に有効な「機能性（生体調節機能）」をもたらすものでもある。そして、「食生活」、「食文化」という言葉が表すように、食は人類の進化の歴史の中で、生活環境や文化と密接に関連し、変遷を遂げてきた。本授業では、食の歴史的背景、食品成分の化学的性質を学び、食品の様々な側面についての理解を深めることを目的とする。						
授業の到達目標(SBOs)						
食品を文化的、歴史的、および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	大学院講義室 3	食の歴史的背景(1)	序論、人類の食生活と進化	大塚 淳
2	4/23	10:05-10:55	大学院講義室 3	食の歴史的背景(2)	日本人の食生活史	大塚 淳
3	4/30	10:05-10:55	大学院講義室 3	食品成分の化学的性質(1)	食品の分類、構成成分	大塚 淳
4	5/7	10:05-10:55	大学院講義室 3	食品成分の化学的性質(2)	食品中の水	大塚 淳
5	5/14	10:05-10:55	大学院講義室 3	食品成分の化学的性質(3)	嗜好成分(1)	大塚 淳
6	5/21	10:05-10:55	大学院講義室 3	食品成分の化学的性質(4)	嗜好成分(2)	大塚 淳
7	5/28	10:05-10:55	大学院講義室 3	食品成分の化学的性質(5)	食品の褐変	大塚 淳
8	6/4	10:05-10:55	大学院講義室 3	総括		大塚 淳
授業方法						
講義による						
授業内容						
食の歴史的背景および食品成分の化学的性質について学ぶ。						
成績評価の方法						
評価：試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20%						
再評価：有						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						
授業で扱った事項について参考書やインターネット等により知識の拡充・整理を行い、自分なりの考えをまとめる。						
試験の受験資格						
2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。						

参考書

食品の科学／上野川修一, 田之倉優 編:東京化学同人, 2005

食品学: 食品成分と機能性／久保田紀久枝, 森光康次郎 編:東京化学同人, 2011

時間割番号	000712					
科目名	主題別選択Ⅱ（生物の中の糖）					
担当教員	勝又 敏行					
開講時期	前期	対象年次	3			
曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる 別表2－1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る						
授業の目的、概要等 糖は生物の中で構造体、エネルギー源をはじめとして、タンパク質、核酸、脂質などと結合して重要な機能を担っている物質である。糖の化学的性質および生体内での機能を、疾病との関連等最新の知見を交えながら講義形式で紹介していく。						
授業の到達目標(SB0s) 糖の性質と機能について基礎的な知識を身につける。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	糖とは何か	糖とはどんなものかを紹介する。	勝又 敏行
2	4/23	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	糖の種類、および構造、 性質	糖の構造や基本的性質について説明する。	勝又 敏行
3	4/30	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	糖の分析法	糖の分析法について紹介する。	勝又 敏行
4	5/7	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	植物における糖	植物における糖の働きについて紹介する。	勝又 敏行
5	5/14	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	人の中の糖1	人の体の中で糖がどのような働きをしているかを紹介する。	勝又 敏行
6	5/21	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	人の中の糖2	人の体の中で糖がどのような働きをしているかを紹介する。	勝又 敏行
7	5/28	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	糖と疾病 1	糖の異常と疾病との関連について紹介する。	勝又 敏行
8	6/4	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	糖と疾病 2	糖の異常と疾病との関連について紹介する。	勝又 敏行
授業方法 講義形式による						
授業内容 1. 糖とは何か 2. 糖の種類、および構造、性質 3. 糖の分析法 4. 植物における糖 5. 人の中の糖1 6. 人の中の糖2 7. 糖と疾病						
成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、その他(授業中小テスト等)50%						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示 講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。						

参考書

コールドスプリングハーバー糖鎖生物学／Ajit Varki [ほか編] 鈴木康夫, 木全弘治 監訳: 丸善, 2010

連絡先

katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水、木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000713				
科目名	主題別選択Ⅱ（宇宙と生命）				
担当教員	服部 淳彦				
開講時期	前期	対象年次	3		
・曜日・時間:木曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 1－5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。 1－10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる。					
授業の目的、概要等 古川さんや野口さんをはじめとする日本人が次々と宇宙に飛び立つ光景を見て、宇宙がますます身近な存在として感じられた学生さんも多いのではないだろうか。この授業では、宇宙環境、例えば「無(微小)重量状態」や「宇宙放射線」などが、さまざまな生物(ヒトも含めて)に与える影響について簡単に解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスをを行う。					
授業の到達目標(SB0s) 生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	共用セミ ナ一室9	宇宙環境と生物(概論)	服部 淳彦
2	4/23	10:05-10:55	共用セミ ナ一室9	無(微小)重力と生物(1)	服部 淳彦
3	4/30	10:05-10:55	共用セミ ナ一室9	無(微小)重力と生物(2)	服部 淳彦
4	5/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室9	宇宙放射線と生物(1)	服部 淳彦
5	5/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室9	宇宙放射線と生物(2)	服部 淳彦
6	5/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室9	宇宙医学(1)	服部 淳彦
7	5/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室9	宇宙医学(2)	服部 淳彦
8	6/4	10:05-10:55	共用セミ ナ一室9	総括	服部 淳彦
授業方法 セミナー形式による(各自に発表してもらう)。したがって、募集人数は15名をMAXとする。					
授業内容 宇宙環境と生物(概論) 無(微小)重力と生物(1) 無(微小)重力と生物(2) 宇宙放射線と生物(1) 宇宙放射線と生物(2) 宇宙医学(1) 宇宙医学(2)					
成績評価の方法 評価:その他 100% 平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。 再評価: 有					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					

準備学習などについての具体的な指示 主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。
連絡先 ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000714					
科目名	主題別選択Ⅱ（生物間のコミュニケーション）					
担当教員	伊藤 正則					
開講時期	前期	対象年次	3			
・曜日・時間:木曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する。 別表2－4)自己問題提起・解決型の学習法を身につける。						
授業の目的、概要等 この授業の目的は1)～4)である。 1)生物間におけるコミュニケーションの方法(ヒトによる言語を含む)とその制御メカニズムを理解する。 2)この分野における研究の現状を理解する。 3)基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させる。 4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得する。						
授業の到達目標(SBOs) 1)生物間におけるコミュニケーションの方法、その制御メカニズム、この分野における研究の現状説明することができる。 2)基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。 3)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案することができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	概論-言語とそれ以外のコミュニケーションの方法	伊藤 正則
2	4/23	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	言語の発達、関与する脳構造と遺伝子発現	伊藤 正則
3	4/30	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	pheromone、song	伊藤 正則
4	5/7	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	母と胎児あるいは新生児間のコミュニケーション	伊藤 正則
5	5/14	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	動物(特に昆虫)の社会とコミュニケーション	伊藤 正則
6	5/21	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	植物における個体間のコミュニケーション	伊藤 正則
7	5/28	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	コミュニケーションの方法と進化	伊藤 正則
8	6/4	10:05-10:55	医学科講義室2	生物間のコミュニケーション	予備日	伊藤 正則
授業方法 講義形式で行う。履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。						
授業内容 ヒトによる言語等の生物間におけるコミュニケーションの方法とその制御メカニズムを説明する。主に、最近の研究論文を教材として用いて。発想と目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察の論理展開を重視して説明する。						
成績評価の方法						

評価:試験 0%・レポート 80% その他(授業への参加度・授業中の回答状況) 再評価:有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 予習では予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案すること。
試験の受験資格 2/3以上出席したものにレポートの提出の資格を与える。
教科書 必要に応じて参考資料を配布する。
参考書 脳とホルモンの行動学／近藤 保彦:西村書店, 2012 脳・神経科学入門講座 改訂版 前・後編／渡辺 雅彦:羊土社, 2008 行動の神経生物学／GKH Zupanc:シュプリンガー・ジャパン, 2007 化学受容の科学:匂い・味・フェロモン 分子から行動まで／東原 和成:化学同人, 2012
履修上の注意事項 出欠管理システムでの記録より、教員がとる出欠を優先する。
連絡先 itohmtlas@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000715					
科目名	主題別選択Ⅱ（医療の社会学）					
担当教員	藤井 達夫					
開講時期	前期	対象年次	3			
曜日・時間： 木曜 2 限 対象学科： 医学科歯学科 募集人数： 25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-8)、1-9)、1-10)、2-4)						
授業の目的、概要等						
この授業では、医療テクノロジーの発展の中で、医療が理想とした社会像や医療が実際に可能にした社会の仕組みを取り上げ、批判的に検討します。その上で、医療との関係において、現在の社会がどこに向かおうとしているのかを考えます。具体的には、18 世紀から 19 世紀にかけての近代社会の形成と医療の発展との深い関係や、医療の理想が20 世紀の福祉国家とそれを支える社会保障制度の成立に与えた影響、そして、現代の医療が目指す社会像などを論じます。						
授業の到達目標(SBOs)						
(1)社会学的な考察から得られる医療に対する基礎的な知見について理解を深めることができる。 (2)社会のあり方やその仕組みに位置付けて医療の抱える問題を発見し、解決を模索するための視座を得ることができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	共用セミナー室 10	医療が描く理想社会	19 世紀から 20 世紀のヨーロッパで描かれたユートピアとしての医療社会を取り上げ、そこから現在の医療および医療化された社会が孕む問題点に迫ります。	藤井 達夫
2	4/23	10:05-10:55	共用セミナー室 10	医療と優生学	19 世紀以降、急速に発達する医療と、同時代に誕生する優生思想や社会進化論との根深い関係について論じます。	藤井 達夫
3	4/30	10:05-10:55	共用セミナー室 10	健康優良者からなる社会——ナチス・ドイツの例	優生学と結びついた 20 世紀の医療の負の側面をナチス・ドイツにおける医療政策をとおして検討します。	藤井 達夫
4	5/7	10:05-10:55	共用セミナー室 10	健康優良者からなる社会——日本の例	優生学と結びついた 20 世紀の医療の罪を、日本のハンセン病政策をとおして検討します。	藤井 達夫
5	5/14	10:05-10:55	共用セミナー室 10	福祉国家における医療	社会権を保障した福祉国家が優生政策を推し進めた事実とその理由について、福祉国家における医療政策をとおして考えます。	藤井 達夫
6	5/21	10:05-10:55	共用セミナー室 10	病院化社会	医療だけでなく、人びとの生や死のあり方にも多大な影響を及ぼした病院という制度について考えます。	藤井 達夫
7	5/28	10:05-10:55	共用セミナー室 10	新しい優生学と現代社会	20 世紀後半以降の医療テクノロジーの発展に伴い誕生した、新しいタイプの優生学と医療との関係に焦点を当て、現代医療が孕む問題を批判的に検討します。	藤井 達夫
8	6/4	10:05-10:55	共用セミナー室	総括		藤井 達夫

			10				
授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。							
授業内容 第一回 医療が描く理想社会 第二回 医療と優生学 第三回 健康優良者からなる社会——ナチス・ドイツの例 第四回 健康優良者からなる社会——日本の例 第五回 福祉国家における医療 第六回 新しい優生学と現代社会 第七回 まとめ ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。							
成績評価の方法 評価： レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価： 有(再評価方法)レポート							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 必要があれば、授業内で適宜、指示します。							
教科書 教科書は使用しません。							
参考書 ハクスレー『素晴らしい新世界』(講談社文庫、1974 年) カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』(ハヤカワ epi 文庫、2008 年)							
履修上の注意事項 出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。							
連絡先 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。							
オフィスアワー 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。							

時間割番号	000716					
科目名	主題別選択Ⅱ（ヒトの脳と言語）					
担当教員	戸張 靖子					
開講時期	前期	対象年次	3			
曜日・時間： 木曜日・2 時限（10:05-10:55） 対象学科：医・歯学科 募集人数：25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：別表1－1)言語を通した人間の創造的営みを理解する。 別表1－7)人間の心への理解を深める。 別表2－3)言語活動や社会現象を科学的に分析ための方法を知る。 別表2－4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。						
授業の目的、概要等 なぜヒトだけが言語機能をもつのでしょうか。授業の前半では、言語を可能にするヒトの脳構造を概観し、幼児の言語獲得と発達から臨界期仮説を説明します。後半部分では、さまざま動物の音声コミュニケーションとヒトの言語との比較研究から得られた、言語の生物学的起源についてのこれまでの知見を紹介します。						
授業の到達目標(SBOs) (1)言語機能を担うヒトの脳構造について理解する。 (2)言語の生物学的起源に関する知見に触れる。 (3) 言語脳科学研究における研究手法を学ぶ。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	共用セミナー室2	ヒトの脳の構造(1)	ヒトの脳の構造を概観する。	戸張 靖子
2	4/23	10:05-10:55	共用セミナー室2	ヒトの脳の構造(2)	ヒトの脳の中で言語機能を司る領域はどこか。	戸張 靖子
3	4/30	10:05-10:55	共用セミナー室2	言語獲得の臨界期	ヒトが言語を獲得するのに臨界期はあるか。	戸張 靖子
4	5/7	10:05-10:55	共用セミナー室2	様々な形態の言語	母語の獲得と外国語や手話の獲得に違いはあるか。	戸張 靖子
5	5/14	10:05-10:55	共用セミナー室2	言語の起源	動物の言語に類する行動。	戸張 靖子
6	5/21	10:05-10:55	共用セミナー室2	鳥の歌	鳥の歌とヒトの言語との比較。	戸張 靖子
7	5/28	10:05-10:55	共用セミナー室2	サルの行動	サルの行動とヒトの言語との比較。	戸張 靖子
8	6/4	10:05-10:55	共用セミナー室2	総括		戸張 靖子
授業方法 講義形式と授業内での質疑応答						
授業内容 第1回 ヒトの脳構造(1) 第2回 ヒトの脳構造(2) 第3回 言語獲得の臨界期 第4回 母語、外国語、手話 第5回 動物の音声コミュニケーション(1) 第6回 動物の音声コミュニケーション(2) 第7回 言語の生物学的起源						
成績評価の方法 評価： 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20%						

再評価: 有(レポート提出)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習:配付資料がある場合には、目を通しておいってください。復習:興味のあるテーマを見つけたら、それに関する文献や本を探して読んでください。
教科書 指定なし
参考書 (1) 言語と思考を生む脳/入来 篤史 編 東京大学出版会 2008 (2)ヒトはいかにして人となったか—言語と脳の共進化/ テレンス・W. ディーコン著 新曜社 1999
履修上の注意事項 レポート提出の資格:原則3分の2以上の出席

時間割番号	000810		
科目名	主題別選択Ⅱ（現代の日中関係）		
担当教員	家永 真幸		
開講時期	前期	対象年次	3

授業の目的、概要等

最近の雰囲気からは想像し難いかもしれませんが、今から約 40 ほど前には「蜜月」とも呼ばれる日中友好の時代がありました。この授業では、1972 年の「日中国交正常化」から今日に至るまでの日中関係が、どのような歩みをたどってきたのかを学んでもらいます。今後の日中関係について考えるきっかけとすると同時に、世の中はどのように変化していくのかという「時間感覚」も体感してもらえれば幸いです。

授業の到達目標(SB0s)

『日中関係史 1972-2012』全 3 巻(2012 年、東京大学出版会)を参考に、日中間の社会・文化・政治・経済にまつわる諸問題について理解を深めることを目指します。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	大学院講義室 4	「語り」とは何か。本授業の問題意識を説明する。	家永 真幸
2	4/23	10:05-10:55	大学院講義室 4	夏目漱石は「猫」か。	家永 真幸
3	4/30	10:05-10:55	大学院講義室 4	「わたし」は誰のミステリー。江戸川乱歩『人間椅子』の不気味な世界を語り手の問題から考察する。	家永 真幸
4	5/7	10:05-10:55	大学院講義室 4	「わたし」を創り上げるのは「わたし」。夏目漱石『こころ』の二人の「わたし」の語りを語り手の問題から考察する。	家永 真幸
5	5/14	10:05-10:55	大学院講義室 4	「わたし」を語るのは「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りの危うさを考察する。	家永 真幸
6	5/21	10:05-10:55	大学院講義室 4	フィクションとしての「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りのフィクション性を考察する。	家永 真幸
7	5/28	10:05-10:55	大学院講義室 4	「語り」の中の「真実」。芥川龍之介『藪の中』の語りに「真実」はあるのかを考察する。	家永 真幸
8	6/4	10:05-10:55	大学院講義室 4	総括	家永 真幸

授業方法

講義形式で行いますが、毎回コメントシートを書いていただき、質問への回答や興味深い意見の紹介に翌週の冒頭 10-15 分程度を割きます。積極的な参加を期待します。最終回は総合討論の日とし、みなさんのコメントの中からこちらでテーマを選定し、参加者に自由に発言してもらいます。

授業内容

初回時に受講者の希望を聞いた上で調整しますが、今のところ下記ピックを扱うことを考えています。

第 1 回 ガイダンス、日中国交正常化(1972 年)

第 2 回 尖閣問題概論

第 3 回 対中 ODA の開始(1979 年)

第 4 回 六・四天安門事件(1989 年)

第 5 回 アジアカップ騒動(2004 年)

第 6 回 池袋チャイナタウン構想(2008 年)

第 7 回 総合討論

第8回 総括
成績評価の方法 評価:試験0%・レポート80% その他20%(授業への参加度・授業中の回答状況) 再評価:有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 毎回プリントを配布します。予習は特に必要ありませんが、授業で得た知識を自分なりに整理し、レポートに活かすことが望まれます。
参考書 日中関係史 1972-2012: III 社会・文化／園田茂人編:東京大学出版会, 2012 日中関係史 1972-2012: I 政治／高原明生編:東京大学出版会, 2012 日中関係史 1972-2012: II 経済／服部健治・丸川知雄編:東京大学出版会, 2012
連絡先 ienaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜日 PM.12:20-PM13:10 管理研究棟3階309室

時間割番号	000734					
科目名	主題別選択Ⅱ（ディアスポラ（離散社会）の言語と文学）					
担当教員	高尾 千津子					
開講時期	前期	対象年次	3			
曜日・時間: 木曜 2 限 対象学科: 医・歯学科 受講資格: 「文化と人間」「言語と人間」選択者 募集人数: 20 人						
授業の目的、概要等						
ディアスポラとは本国を持たない、あるいは本国から遠く離れた離散社会を意味する。ユーラシアの西の「半島」であるヨーロッパには、様々な独自の言語を持つ民族的、宗教的マイノリティが存在した。しばしば変わる国境線、人口の移動は、さらに新たなディアスポラを生み、それは社会の緊張要因ともなったが、同時に多様な社会と文化、文学を生み出した。授業では、ヨーロッパを中心に少数派言語、多言語社会、言語接触の歴史を扱う。						
授業の到達目標(SB0s)						
人類の言語の多様性が持つ意味を知る。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	共用セミナー室 11	ガイダンス	マイノリティと言語について、ヨーロッパの言語状況	高尾 千津子
2	4/23	10:05-10:55	共用セミナー室 11	多言語の共存	複数の言語が共存する社会とは	高尾 千津子
3	4/30	10:05-10:55	共用セミナー室 11	多言語の分離と衝突	言語をめぐる戦争はなぜ起きたのか	高尾 千津子
4	5/7	10:05-10:55	共用セミナー室 11	共通言語の試み	共通言語エスペラントはどのように生まれたのか、その背景を探る	高尾 千津子
5	5/14	10:05-10:55	共用セミナー室 11	「死語」はいかに復活したか	現代ヘブライ語が生まれた背景と歴史を知る。	高尾 千津子
6	5/21	10:05-10:55	共用セミナー室 11	イディッシュ語という言葉	言語接触の代表例 アシュケナズ系ユダヤ人の言語イディッシュ語とは。	高尾 千津子
7	5/28	10:05-10:55	共用セミナー室 11	イディッシュ語の文学	アシュケナズ系ユダヤ人の文学を紹介する。	高尾 千津子
8	6/4	10:05-10:55	共用セミナー室 11	総括		高尾 千津子
授業方法						
講義形式						
成績評価の方法						
評価： 試験 0% ・ レポート 80 % ・ その他(授業への参加度) 20% 再評価: 有(再評価方法)						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						

授業ごとに参考文献を提示するので読んでおくこと。
教科書 授業でプリントを配布する。
参考書 田中克彦『エスペラント―異端の言語』岩波新書、2007 年。 ショーレム・アレイヘム、西成彦訳『牛乳屋テヴィエ』岩波文庫。 ロバート・セントジョン、島野信宏訳『ヘブライ語の父ベン・イエフダー』ミルトス、2000 年。
履修上の注意事項 3 分の2以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。
連絡先 takao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 12:30～13:30

時間割番号	000736				
科目名	主題別選択Ⅱ（医療と物理の関係性）				
担当教員	檜枝 光憲				
開講時期	前期	対象年次	3		
曜日・時間: 木曜2限 募集人数: 20人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2－1) 別表2－2) 別表2－4) 別表4－2)					
授業の目的、概要等 生命も含め物質現象は物理学の原理と大いに関係しています。例えば人体の動きは力学、血流の流れは流体力学、また体内に取り込み消費するエネルギーは熱力学の原理に従っています。本授業は参加者のゼミ形式で進め、自らの発表を通して医療と物理の密接な関係性について理解を深めていきます。					
授業の到達目標(SBOs) 医療と物理の関係性について具体例がイメージできるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	10:05-10:55	共用セミ ナール室7	第1回	檜枝 光憲
2	4/23	10:05-10:55	共用セミ ナール室7	第2回	檜枝 光憲
3	4/30	10:05-10:55	共用セミ ナール室7	第3回	檜枝 光憲
4	5/7	10:05-10:55	共用セミ ナール室7	第4回	檜枝 光憲
5	5/14	10:05-10:55	共用セミ ナール室7	第5回	檜枝 光憲
6	5/21	10:05-10:55	共用セミ ナール室7	第6回	檜枝 光憲
7	5/28	10:05-10:55	共用セミ ナール室7	第7回	檜枝 光憲
8	6/4	10:05-10:55	共用セミ ナール室7	総括	檜枝 光憲
授業方法 ゼミ形式で行います。 初回に分担を決め、順番に発表を行ってもらいます。					
授業内容 第1回 イントロダクション 第2回 力学と人体 第3回 流体と人体 第4回 熱と体温 第5回 音と光と人体 第6回 電気と磁気の世界 第7回 原子と放射線 第8回 総括					
成績評価の方法 評価：その他 100 % 発表点(発表とレジュメ)と平常点(出席、議論等への参加度)による。					

再評価：有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 発表準備のために教科書以外の関連図書を探して読むこと。
教科書 医療系のための物理/佐藤幸一・藤城敏幸:東京教学社, 2007
履修上の注意事項 原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取れる出欠を優先させる。
連絡先 hieda.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜 17:00～19:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000717																																																										
科目名	主題別選択Ⅱ（語り(ナラティブ)と時間)																																																										
担当教員	土佐 朋子																																																										
開講時期	前期	対象年次	3																																																								
・曜日・時間:木曜 2 限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・受講資格:「言語と人間」「時間と人間」の主題であること ・科目を履修して得られる能力(コンピテシー) 別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る																																																											
授業の目的、概要等 人間は、自らを存在させるために「語り」を必要とする生き物である。 本授業の目的は、人間の「語り」の構造について、基本的な考え方を学び、理解を深めることである。到達目標は、3年次のセミナーにおいて、自らの主題にもとづいて問題設定をし解決していくために必要な思考力が、「語り」という観点から養われることである。 古典から近現代までの複数の文学作品を用いながら、それぞれの語りの特徴を指摘し、そのことがどのような効果を発揮し得るかを考察する。																																																											
授業の到達目標(SB0s) ①人間が語る生き物であることの意味を考える土台を築く。 ②3年次のセミナー論文における問題設定の糸口をつかむ。																																																											
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>授業題目</td><td>授業内容</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>6/11</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室 4</td><td>ガイダンス</td><td>言葉は時間を編集して一つの世界を創り上げることを確認する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>2</td><td>6/18</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室 4</td><td>「現在」から「過去」へ</td><td>日本文学史上ほぼ初めて「時間」編集を積極的に活用した作家、柿本人麻呂を読む。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>3</td><td>6/25</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室 4</td><td>「現在」から「過去」、そして「現在」へ</td><td>なぜ現在軸から語り出すのか。そのもたらす効果を考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>4</td><td>7/2</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室 4</td><td>「過去」と「語り」</td><td>遠藤周作『海と毒薬』、勝呂と出会う「私」の現在が語られるのはなぜかを考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>5</td><td>7/9</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室 4</td><td>告白という制度</td><td>「私」はよく過去を語る。物語る「私」の新しさについて考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>6</td><td>7/16</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室 4</td><td>「現在」に復讐する「過去」</td><td>夏目漱石『こころ』、「先生」の語りを時間の観点から考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>7</td><td>7/23</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室 4</td><td>「時間」が創る「物語」</td><td>夢野久作『瓶詰地獄』、逆に並べられた手紙が語るもの考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	6/11	10:05-10:55	大学院講義室 4	ガイダンス	言葉は時間を編集して一つの世界を創り上げることを確認する。	土佐 朋子	2	6/18	10:05-10:55	大学院講義室 4	「現在」から「過去」へ	日本文学史上ほぼ初めて「時間」編集を積極的に活用した作家、柿本人麻呂を読む。	土佐 朋子	3	6/25	10:05-10:55	大学院講義室 4	「現在」から「過去」、そして「現在」へ	なぜ現在軸から語り出すのか。そのもたらす効果を考察する。	土佐 朋子	4	7/2	10:05-10:55	大学院講義室 4	「過去」と「語り」	遠藤周作『海と毒薬』、勝呂と出会う「私」の現在が語られるのはなぜかを考察する。	土佐 朋子	5	7/9	10:05-10:55	大学院講義室 4	告白という制度	「私」はよく過去を語る。物語る「私」の新しさについて考察する。	土佐 朋子	6	7/16	10:05-10:55	大学院講義室 4	「現在」に復讐する「過去」	夏目漱石『こころ』、「先生」の語りを時間の観点から考察する。	土佐 朋子	7	7/23	10:05-10:55	大学院講義室 4	「時間」が創る「物語」	夢野久作『瓶詰地獄』、逆に並べられた手紙が語るもの考察する。	土佐 朋子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																					
1	6/11	10:05-10:55	大学院講義室 4	ガイダンス	言葉は時間を編集して一つの世界を創り上げることを確認する。	土佐 朋子																																																					
2	6/18	10:05-10:55	大学院講義室 4	「現在」から「過去」へ	日本文学史上ほぼ初めて「時間」編集を積極的に活用した作家、柿本人麻呂を読む。	土佐 朋子																																																					
3	6/25	10:05-10:55	大学院講義室 4	「現在」から「過去」、そして「現在」へ	なぜ現在軸から語り出すのか。そのもたらす効果を考察する。	土佐 朋子																																																					
4	7/2	10:05-10:55	大学院講義室 4	「過去」と「語り」	遠藤周作『海と毒薬』、勝呂と出会う「私」の現在が語られるのはなぜかを考察する。	土佐 朋子																																																					
5	7/9	10:05-10:55	大学院講義室 4	告白という制度	「私」はよく過去を語る。物語る「私」の新しさについて考察する。	土佐 朋子																																																					
6	7/16	10:05-10:55	大学院講義室 4	「現在」に復讐する「過去」	夏目漱石『こころ』、「先生」の語りを時間の観点から考察する。	土佐 朋子																																																					
7	7/23	10:05-10:55	大学院講義室 4	「時間」が創る「物語」	夢野久作『瓶詰地獄』、逆に並べられた手紙が語るもの考察する。	土佐 朋子																																																					
授業方法 講義を中心とする。																																																											
授業内容 語りが成立するために必要な要素の確認から始め、それらがどのように機能して、どのような構造を作っているかを、作品を通して具体的に考察する。とりあげる作品は、『古事記』『万葉集』などの古典、江戸川乱歩『人間椅子』、夏目漱石『こころ』、森鷗外『舞姫』、芥川龍之介『藪の中』などを予定している。																																																											
成績評価の方法 評価:試験 0%・レポート 80% その他 20%(授業への参加度・授業中の小レポート等) 再評価:有																																																											
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。																																																											

準備学習などについての具体的な指示 作品を自分でよく読むこと。授業で扱う作品に限らず、幅広く作品を読むこと。
試験の受験資格 レポート提出には、原則として3分の2以上の出席が必要。
教科書 プリントを使用する。
参考書 『対象喪失：悲しむということ』／小此木 啓吾／著、中央公論新社、1979 『時間と自我』／大森荘蔵、青土社、1992 『ナラティブ・メディスン：物語能力が医療を変える』／Rita Charon [著]、斎藤清二、岸本寛史、宮田靖志、山本和利 訳、医学書院、2011 『ナラティブ・ベイスト・メディスン：臨床における物語りと対話』／トリシャ・グリーンハル 編集、ブライアン・ハーウィッツ 編集、斎藤 清二 監訳、山本 和利 監訳、岸本 寛史 監訳、金剛出版 『臨床とことば』／河合隼雄、鷺田清一 著、朝日新聞出版、2010 『ナラティブと医療』／江口重幸、斎藤清二、野村直樹 編、金剛出版、2006 『ほんとうの構造主義：言語・権力・主体』／出口顯 著、NHK 出版、2013
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
連絡先 tosa.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜 PM.12:30-PM.14:50 管理研究棟2階文学研究室

時間割番号	000718					
科目名	主題別選択Ⅱ（いのちと医療の倫理学）					
担当教員	田中 智彦					
開講時期	前期	対象年次	3			
◇ 曜日・時間: 木曜 2 限						
◇ 対象学科: 医学科・歯学科						
◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)						
別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る						
別表 1-9)市民としての倫理観を養う						
別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる						
授業の目的、概要等						
倫理と法は別のもので。しかしながら今日、「生命倫理」として語られることがらの多くにあつては、この二つがしばしば混同されがちです。日本のある著名な哲学者をして、一般に「生命倫理」と呼ばれているものは「本来なら生命倫理ではなく、生命法とでも呼ぶべきもの」である、と言わしめるゆえんです。						
では、そうした倫理と法の混同はなぜ生じるのでしょうか。どのような帰結をもたらすのでしょうか。また、名ばかりではない「生命倫理」、つまり「生命法」ではない「生命倫理」があるとしたら、そこでは「いのち」や「医学・医療」をめぐる何が語られ、そして私たちには何が求められることになるのでしょうか。						
この授業では「授業詳細日程」に記すような論点を通して、それら一連の問いを考察してゆきます。それはまた、「生命倫理」の現在を批判的に読み解き、未来を模索する試みともなるでしょう。						
授業の到達目標(SBOs)						
(1)上記の試みをつうじて、「医学・医療において倫理的であるとはどういうことか」について理解を深めること。						
(2)「人間の尊厳」「いのちの尊厳」およびそれらに関連する論点について基本的な理解を得ること。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	倫理・法・科学技術	この三つはいかに区別されるのか	田中 智彦
2	6/18	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	「治療」と「実験」	この二つはいかに区別されるのか	田中 智彦
3	6/25	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	「医学」と「進歩」	「犠牲」はいかに正当化されるのか	田中 智彦
4	7/2	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	「死者」と「他者」	「倫理」の基底にあるものを考える	田中 智彦
5	7/9	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室	「人格」概念の再考	その「光」と「影」をめぐる省察	田中 智彦

			5-4				
6	7/16	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「尊厳」概念の再考	それが「ある」とはどういうことか	田中 智彦	
7	7/23	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	まとめ	生命倫理はどこに向かうのか	田中 智彦	
授業方法 授業は講義形式で行う予定です。 教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。							
授業内容 「授業詳細日程」にある通り							
成績評価の方法 ◇評価: レポート 80% その他 20% (出席状況、コメントシートへの回答など) ◇再評価: 有 (レポート)							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による							
準備学習などについての具体的な指示 授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。							
試験の受験資格 ◇ レポートの提出資格: 原則 7 回中 5 回以上の出席							
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。							
連絡先 tanaka.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 毎週月曜日 11:00～13:00 管理研究棟 2 階 哲学研究室							

時間割番号	000719					
科目名	主題別選択Ⅱ（スポーツと心）					
担当教員	水野 哲也					
開講時期	前期	対象年次	3			
曜日・時間:木曜						
対象学科:医学科・歯学科 2年						
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)						
別表1－7)人間の心への理解を深める						
別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する						
授業の目的、概要等						
本授業では、競技スポーツにおける心をテーマにいくつかの視点からこれまでに提示された理論を紹介し、スポーツにおける心の問題を考える。また、授業の後半では受講者各自が考える「スポーツと心」について発表し、その中身について共に考えたい。						
授業の到達目標(SB0s)						
本授業の最終到達目標は、主題別選択授業のテーマでもある偏らない思考や物の見方をどのようにして身に付けてゆくか？を実践的に学ぶことである。よって、学生各自が本授業の題目である「スポーツと心」に関する独自のテーマを設定し、それぞれの私論を述べるとともに意見交換し、授業終了後にそれらを基に 2000 字程度のレポートをまとめることを具体的な到達目標とする。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	共用セミナー室7	スポーツと心の関連性	競技スポーツでは、よく「心技体の充実が勝敗のカギを握る」と言われます。では、スポーツにおける心とはどのようなものなのでしょうか？、皆さんと一緒に考えます。	水野 哲也
2	6/18	10:05-10:55	共用セミナー室7	リラクゼーションと集中	競技スポーツでは、よく「リラックスと集中が大切だ」と言われます。では、スポーツにおけるリラックスまた集中とはどのようなものなのでしょうか？、皆さんと一緒に考えます。	水野 哲也
3	6/25	10:05-10:55	共用セミナー室7	メンタルタフネス	競技スポーツでは、よく「メンタルが強い」とか「弱い」とか言われます。本授業ではスポーツにおける精神力について、ジム・レアーの提唱した「メンタルタフネス理論」を紹介し、概説します。	水野 哲也
4	7/2	10:05-10:55	共用セミナー室7	スポーツと動機づけ	プロスポーツ選手が、よく「モチベーションが上がる」とか「モチベーションが重要だ」という言葉を口にします。本授業では、いくつかのモチベーション理論を紹介し、概説します。	水野 哲也
5	7/9	10:05-10:55	共用セミナー室7	ピークパフォーマンス	選手が高い成果を上げている時、その精神状態はどうなっているのでしょうか？本授業では、チャールズ・ガーフィールドの提示したピークパフォーマンス理論を紹介し、概説します。	水野 哲也
6	7/16	10:05-10:55	共用セミナー室7	発表「私の考えるスポーツと心」その1	授業前半での講義等を聴いて、あなたが考える「スポーツと心」に関	水野 哲也

					してのテーマについて発表して頂きます。発表時間、方法については受講者数等を考慮した上で決定し、授業前半に指定します。		
7	7/23	10:05-10:55	共用セミナー室7	発表「私の考えるスポーツと心」その2	授業前半での講義等を聴いて、あなたが考える「スポーツと心」に関してのテーマについて発表して頂きます。発表時間、方法については受講者数等を考慮した上で決定し、授業前半に指定します。	水野 哲也	
授業方法 授業は講義形式で実施するが、その中で実習形式の内容がいくつかある。また後半は、その学習効果を上げるために発表、討議型の授業を行う。							
授業内容 「スポーツと心の関係性」、「リラックスと集中」、「メンタルタフネス」、「動機づけ」、「ピークパフォーマンス」について概説する。その後、受講者の発表を行い、意見交換する。							
成績評価の方法 評価: 出席 30%、各授業時の参加度 20%、レポート 50% 再評価: 有							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 本授業では単に授業に出席して講義を聴くだけでなく、主体性をもって主題(自ら選択したテーマ)について考える積極的な態度や姿勢が求められる。発表の内容をしっかりと準備してください。							
試験の受験資格 本授業は、原則全授業の 2/3(全 7 回のうち 5 回)以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。							
参考書 最新スポーツ心理学：その軌跡と展望／日本スポーツ心理学会 編：大修館書店、2004 実践メンタルタフネス／ジム・レーヤー 著、ジェフリー・ミグドゥ 著、小林 信也 訳：TBSブクタニカ							
他科目との関連 1年次のスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野のS科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。							
連絡先 mizuno.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2階							

時間割番号	000720					
科目名	主題別選択Ⅱ（フランス詩を読む）					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	前期	対象年次	3			
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－6) 優れた芸術作品に触れて感性を高める 別表1－7) 人間の心への理解を深める						
主な講義場所 湯島						
授業の目的、概要等 ルネサンス期から現代にいたるまでのフランスの代表的な詩を講読します。授業では、フランス語の原文と共に、できる限り日本語訳を配付して、言葉のニュアンスや詩の構造を解説していきますので、フランス語履修者でなくても、詩や文学に興味があれば受講できます。フランス語を学習した人は、原語で、使われている単語・表現のニュアンスをできるだけ味わって下さい。 詩(文学)には、普遍的な人間の感性が表現されていますが、また一方で、その感性の表現は、時代・文化の刻印を受けて変化もします。現代の若い皆さんの感性で、共感できる部分、理解しがたい部分を正直に受け止めることが、詩を味わう出発点となると考えます。その共感や違和感をもとに文化・時代の差を考えていただくこともこの授業の目的です。						
授業の到達目標(SB0s) 1) フランス詩のニュアンス・表現を味わう。 2) 文化・時代による感性の表現を自らの感性や表現と比較し、自らを相対化する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	フランス詩を読む	序論(概要の説明) ジャック・ブレヴェール	中島 ひかる
2	6/18	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	フランス詩を読む	ヴェルレーヌ等	中島 ひかる
3	6/25	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	フランス詩を読む	ロマン派	中島 ひかる
4	7/2	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	フランス詩を読む	ボードレール・ランボー等	中島 ひかる
5	7/9	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室	フランス詩を読む	アポリネール等	中島 ひかる

			5-2				
6	7/16	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	フランス詩を読む	ロンサール・ラシーヌ等	中島 ひかる	
7	7/23	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	フランス詩を読む	現代詩	中島 ひかる	
授業方法 講義形式によって、毎回、2、3篇の詩を講読します。 最初に各自に簡単な解釈や感想を述べていただいた後、教員が詩の内容や言葉のニュアンス、時代背景等を解説し、それを聞いた後、どのように感じ方が変わったかを再び話していただきます(受講者が多い場合は、毎回数行づつの感想を提出していただくことを予定しています)。							
授業内容 ロンサール、ラシーヌ、ボードレー、ヴェルレーヌ、ランボー、マラルメ、アポリネール等、できるだけ日本語訳のあるフランス詩を、各時代から幅広く選んで読んでいきます。							
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)0%・レポート80%・ その他 20 % (授業中への参加度) 再評価:有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい)							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 初回の導入以外は、毎回、次回に扱う詩をあらかじめ配付するので、事前に目を通して、自分なりの解釈や感想をまとめておくこと。							
試験の受験資格 2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。							
教科書 プリントを配付する							
参考書 珊瑚集：仏蘭西近代抒情詩選／永井 荷風 訳：岩波書店 上田敏全訳詩集／山内 義雄・矢野峰人 編：岩波書店 悪の華／ボードレー 著、鈴木信太郎 著：集英社 フランス名詩選／安藤元雄、入沢康夫、渋谷孝輔 編：岩波書店、2001 月下の一群：訳詩集／堀口大祐 訳：岩波書店、2013 ロンサール詩集／ピエール・ド・ロンサール／〔著〕井上究一郎／訳：岩波書店、1989 ランボオ詩集／ランボオ 〔著〕中原中也 訳：岩波書店、2013 地獄の季節／ランボー 作、小林秀雄／訳：岩波書店、2008 ヴェルレーヌ詩集／ヴェルレーヌ 〔著〕堀口 大学 訳：新潮社 アポリネール詩集／アポリネール／〔著〕堀口大学／訳：新潮社、1985							
履修上の注意事項 出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。							
備考							
連絡先							

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟3階フランス語研究室

時間割番号	000721					
科目名	主題別選択Ⅱ（ドイツとヨーロッパの現在）					
担当教員	シンチンガー エミ					
開講時期	前期	対象年次	3			
・前期後半 ・曜日・時間: 木曜 2 限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・受講資格: ドイツ語 a,b,c,d 4 単位を持っていること ・募集人数: 2年生とあわせて 20 人 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－3) 人間の歴史的営みを理解する 別表1－4) 異なる空間の文化を理解する 別表1－6) 優れた芸術作品に触れて感性を高める 別表1－7) 人間の心への理解を深める 別表3－4) 外国文化を理解する						
主な講義場所 湯島キャンパス						
授業の目的、概要等 ベルリンという特別な町について学ぶことによって、ドイツとヨーロッパの現在について考えていきます。具体的には、1986 年に初演されてから現在までベルリンで再演され続けている「Linie 1」という、ベルリンの地下鉄を題材にした音楽劇の中から、抜粋した箇所を読んでいきます。原文を読む授業ですので、ドイツ語の 4 単位を持っていない方は受講できません！ 毎回予習してきてもらって、ドイツ語を訳していきますので、予習をすることが受講の条件です。						
授業の到達目標(SB0s) ベルリンについて学んでから、現代の演劇作品から多くの抜粋箇所を読むことが目標です。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの現在 1	オリエンテーション、ベルリンについて様々な資料を読む、プリント配布、原文を読み始める	シンチンガー エミ
2	6/18	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの現在 2	「Linie 1」から抜粋を読み始める	シンチンガー エミ
3	6/25	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの現在 3	「Linie 1」から抜粋を読む	シンチンガー エミ
4	7/2	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの現在 4	「Linie 1」から抜粋を読む	シンチンガー エミ
5	7/9	10:05-10:55	医学科演習室 4－	ドイツとヨーロッパの現在 5	「Linie 1」から抜粋を読む	シンチンガー エミ

			11, 医学科演習室 4-12				
6	7/16	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの現在6	「Linie 1」から抜粋を読む	シンチンガー エミ	
7	7/23	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの現在7	理解度確認試験	シンチンガー エミ	
授業方法 セミナー形式; 初回はベルリンについてのオリエンテーションで、インターネットのページなど読みます。その次からは作品の一部を原文で読んで訳していきます。							
授業内容 初回: ベルリンについてのオリエンテーション、プリント配布 第2回～第6回: 「Linie 1」より抜粋を読んでいきます。毎回予習が必要です。1年生で習ったドイツ語より格段に難しいので覚悟が必要です。 第7回: 到達したところまでの内容について、試験を行います。							
成績評価の方法 毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が50パーセント。 試験が50パーセント。 再評価: 無							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 ・授業中に沢山原文、ドイツ語を読みますので、1年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。1年生の時の文法と会話の両方の教科書を復習するとよいです。他の参考書や、ラジオやテレビのドイツ語講座も活用するとよいです。 ・授業時間が短いため、必ず毎回自宅で作辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。							
試験の受験資格 原則3分の2以上出席							
教科書 第1回目にプリントを配布							
参考書 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル、山本明、南原実 編: 三修社, 2008 アポロン独和辞典／根本道也、恒吉良隆、吉中幸平、成田克史、福元圭太、重竹芳江 責任編集執筆、有村隆広、新保弼彬、本田義昭、鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いため、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-U7100 がおすすめです。							
履修上の注意事項 毎回出席を取ります。 毎回プリントと電子辞書か独和辞典を持ってきてください。							
連絡先 schinzinger.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟3階研究室							

時間割番号	000724					
科目名	主題別選択Ⅱ（数理論理と形式言語）					
担当教員	清田 正夫					
開講時期	前期	対象年次	3			
曜日・時限: 木曜日 2 時限 対象学科: 医学科、歯学科 受講資格: 募集人数: 30人以下 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1), 2-1)						
授業の目的、概要等 数理論理学とは記号を用いて論理を数学的に考察する学問分野である。命題論理、述語論理、直観主義論理、様相論理などの多様な論理が存在する。ここでは、主として第1階述語論理をタブロー法により解説する。さらに、自然言語の形式的取り扱いとしてチョムスキーの生成文法を学ぶ。授業は講義形式で行なうが、テーマによってはセミナー形式をとることもある。						
授業の到達目標(SB0s) 第1階述語論理における恒真式をタブロー法により証明することが出来る。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	医学科講義室 1	命題論理1	命題論理の意味論を解説する。	清田 正夫
2	6/18	10:05-10:55	医学科講義室 1	命題論理2	命題論理の構文論を解説する。	清田 正夫
3	6/25	10:05-10:55	医学科講義室 1	第1階述語論理1	第1階述語論理の意味論を講義する。	清田 正夫
4	7/2	10:05-10:55	医学科講義室 1	第1階述語論理2	第1階述語論理の構文論を講義する。	清田 正夫
5	7/9	10:05-10:55	医学科講義室 1	第1階述語論理3	タブロー法による証明を解説する。	清田 正夫
6	7/16	10:05-10:55	医学科講義室 1	チョムスキーの生成文法1	自然言語の形式的取扱いを論じる。	清田 正夫
7	7/23	10:05-10:55	医学科講義室 1	チョムスキーの生成文法2	生成文法の考え方を紹介する。	清田 正夫
授業方法 主として講義を行なう。						
授業内容 第1回－第2回 命題論理の意味論と構文論 第3回－第5回 タブロー法による第1階述語論理 第6回－第7回 チョムスキーの生成文法						
成績評価の方法 評価: 試験0%・レポート80%・その他20% (授業への参加度・授業中の回答状況) 再評価: 有						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による						
準備学習などについての具体的な指示 講義内容の詳細を WebClass に載せているので、復習すること。						
教科書 プリントを配付する。 授業資料は WebClass に掲載してある。						
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。						

連絡先

kiyota.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日、木曜日 12:00～13:00 ヒポクラテス4階数学研究室(清田)

時間割番号	000726					
科目名	主題別選択Ⅱ（微分方程式演習）					
担当教員	越野 和樹					
開講時期	前期	対象年次	3			
・曜日・時間:木曜2限 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2－1) 別表4－2)						
授業の目的、概要等						
私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学(特に微分方程式)を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。						
授業の到達目標(SB0s)						
問題演習をととして、数理科学的能力を高めること						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	共用セミナー室5	微分方程式演習(1)	物理学を題材とし1階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
2	6/18	10:05-10:55	共用セミナー室5	微分方程式演習(2)	物理学を題材とし1階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
3	6/25	10:05-10:55	共用セミナー室5	微分方程式演習(3)	物理学を題材とし高階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
4	7/2	10:05-10:55	共用セミナー室5	微分方程式演習(4)	物理学を題材とし高階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
5	7/9	10:05-10:55	共用セミナー室5	微分方程式演習(5)	物理学を題材とし高階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
6	7/16	10:05-10:55	共用セミナー室5	微分方程式演習(6)	物理学を題材とし連立微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
7	7/23	10:05-10:55	共用セミナー室5	微分方程式演習(7)	物理学を題材とし連立微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
授業方法						
各講義の前半に基礎知識の確認を行い、後半を試験とする。						
授業内容						
・物理数学演習 ・電磁気学演習 ・力学演習						
成績評価の方法						
評価:試験(期末考査)0%・レポート0%・その他(各講義での小テスト)100%						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						
特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。						
参考書						
「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか 共立出版						
履修上の注意事項						
解析学・線形代数の双方に十分な技術を有することを前提としている。						

時間割番号	000727																																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(タンパク質科学の光と影)																																																										
担当教員	奈良 雅之																																																										
開講時期	前期	対象年次	3																																																								
・曜日・時間:木曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)人間の歴史的営みを理解する。 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる 2-1)自然現象を科学的に理解するための方法論を知る 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける																																																											
授業の目的、概要等 我々の生存を支えている生命現象はきわめて複雑で、それにはタンパク質、糖質、脂質、核酸などの多種類の物質が関わっています。それらの物質の中で生命現象の直接的な担い手であるタンパク質に注目が集まっています。21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されました。この授業ではタンパク質研究におけるX線、核磁気共鳴(NMR)、赤外線という電磁波の活用に焦点を当てます。これらの光を活用するために、フーリエ変換という数学的な手法について知り、タンパク質科学の「光と影」について理解を深めます。																																																											
授業の到達目標(SBOs) 授業に関するテーマを見つけて、そのテーマについて理解を深める																																																											
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>6/11</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室12</td><td>序論</td><td>タンパク質の構造と機能について</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>2</td><td>6/18</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室12</td><td>X線結晶構造解析</td><td>X線によるタンパク質の構造解析について理解を深める。</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>3</td><td>6/25</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室12</td><td>核磁気共鳴分光法</td><td>NMRによるタンパク質の構造解析について理解を深める</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>4</td><td>7/2</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室12</td><td>タンパク質プロジェクト(1)</td><td>タンパク質構造解析プロジェクトを通じて理解を深める</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>5</td><td>7/9</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室12</td><td>タンパク質プロジェクト(2)</td><td>タンパク質構造解析プロジェクトについて概説する</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>6</td><td>7/16</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室12</td><td>分光学の役割(1)</td><td>フーリエ変換に関する理解を深める</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>7</td><td>7/23</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室12</td><td>分光学の役割(2)</td><td>タンパク質の構造機能について見方を変える</td><td>奈良 雅之</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	6/11	10:05-10:55	共用セミナー室12	序論	タンパク質の構造と機能について	奈良 雅之	2	6/18	10:05-10:55	共用セミナー室12	X線結晶構造解析	X線によるタンパク質の構造解析について理解を深める。	奈良 雅之	3	6/25	10:05-10:55	共用セミナー室12	核磁気共鳴分光法	NMRによるタンパク質の構造解析について理解を深める	奈良 雅之	4	7/2	10:05-10:55	共用セミナー室12	タンパク質プロジェクト(1)	タンパク質構造解析プロジェクトを通じて理解を深める	奈良 雅之	5	7/9	10:05-10:55	共用セミナー室12	タンパク質プロジェクト(2)	タンパク質構造解析プロジェクトについて概説する	奈良 雅之	6	7/16	10:05-10:55	共用セミナー室12	分光学の役割(1)	フーリエ変換に関する理解を深める	奈良 雅之	7	7/23	10:05-10:55	共用セミナー室12	分光学の役割(2)	タンパク質の構造機能について見方を変える	奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																					
1	6/11	10:05-10:55	共用セミナー室12	序論	タンパク質の構造と機能について	奈良 雅之																																																					
2	6/18	10:05-10:55	共用セミナー室12	X線結晶構造解析	X線によるタンパク質の構造解析について理解を深める。	奈良 雅之																																																					
3	6/25	10:05-10:55	共用セミナー室12	核磁気共鳴分光法	NMRによるタンパク質の構造解析について理解を深める	奈良 雅之																																																					
4	7/2	10:05-10:55	共用セミナー室12	タンパク質プロジェクト(1)	タンパク質構造解析プロジェクトを通じて理解を深める	奈良 雅之																																																					
5	7/9	10:05-10:55	共用セミナー室12	タンパク質プロジェクト(2)	タンパク質構造解析プロジェクトについて概説する	奈良 雅之																																																					
6	7/16	10:05-10:55	共用セミナー室12	分光学の役割(1)	フーリエ変換に関する理解を深める	奈良 雅之																																																					
7	7/23	10:05-10:55	共用セミナー室12	分光学の役割(2)	タンパク質の構造機能について見方を変える	奈良 雅之																																																					
授業方法 講義形式による。 (履修者が10名以下の場合は、履修者の希望に応じてセミナー形式で行うこともできます。)																																																											
授業内容 21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されましたが、その光と影に迫ってみたいと考えます。科学的な知識として、タンパク質構造解析の概略を勉強しますが、実際にこの研究に携わったポスドクの問題など、社会的な視点からも理解を深めます。																																																											

成績評価の方法 評価:試験0%・レポート 80% その他(授業への参加度 20%) 再評価:有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習:配付資料に目を通してください。 復習:興味のあるテーマを見つけたら、それに関する文献や本を調べてください。
試験の受験資格 ・定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)
参考書 タンパク質の生命科学: ポスト・ゲノム時代の主役/池内俊彦 著,: 中央公論新社, 2001 ポストゲノム時代のタンパク質科学: 構造・機能・ゲノミクス/Arthur M.Lesk 著,高木淳一 訳,: 化学同人, 2007 入門構造生物学: 放射光 X 線と中性子で最新の生命現象を読み解く/高エネルギー加速器研究機構構造生物学研究センター, 加藤龍一 編,: 共立出版, 2010 タンパク質の構造と機能: カラー図説/グレゴリー A. ペソコ/著,ダグマール リンゲ/著,横山 茂之/監訳,宮島 郁子/訳,: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005
連絡先 nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000728					
科目名	主題別選択Ⅱ（植物の科学）					
担当教員	大塚 淳					
開講時期	前期	対象年次	3			
曜日・時間: 木曜日（後半 7 回）・2 時限 対象学科: 医学科・歯学科 募集人数: 30 名（主題別選択Ⅱ（植物の科学）と合わせて） 科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）： 別表1－3）人間の歴史的営みを理解する 別表1－10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる						
授業の目的、概要等						
植物は地球上のあらゆる生物の生存を支えている。動物の食物として役立つだけでなく、光合成によって大気圏の二酸化炭素を吸収して酸素を供給し、大気環境を保持する役割をもつ。また、人間は、太古に繁殖していた植物の遺体を化石燃料として、医療現場では植物中の有効成分から誘導された医薬品を利用している。本授業では、植物の構造・成長・代謝などに関する基礎的な知識を講義を通して学び、人類と植物との関わりについて考える。						
授業の到達目標(SB0s)						
植物を歴史的および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	共用セミ ナー室 6	植物の歴史的背景	序論、植物の進化、植物と人間	大塚 淳
2	6/18	10:05-10:55	共用セミ ナー室 6	植物の構造	植物の細胞・組織・器官	大塚 淳
3	6/25	10:05-10:55	共用セミ ナー室 6	植物の機能(1)	植物の成長	大塚 淳
4	7/2	10:05-10:55	共用セミ ナー室 6	植物の機能(2)	光合成(1)	大塚 淳
5	7/9	10:05-10:55	共用セミ ナー室 6	植物の機能(3)	光合成(2)	大塚 淳
6	7/16	10:05-10:55	共用セミ ナー室 6	植物の機能(4)	植物の物質代謝	大塚 淳
7	7/23	10:05-10:55	共用セミ ナー室 6	植物の機能(5)	植物ホルモンの働き	大塚 淳
授業方法						
講義による						
授業内容						
植物の構造・成長・代謝や人類との関わりについて学ぶ。						
成績評価の方法						
評価：試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20% 再評価：有						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						
授業で扱った事項について参考書やインターネット等で知識を整理し、自分なりの考えをまとめる。						
試験の受験資格						
2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。						
参考書						
植物生理学／三村徹郎、鶴見誠二 編著、:化学同人, 2009 ベーシックマスター 植物生理学／塩井祐三、井上弘、近藤矩朗 共編、:オーム社, 2009						

時間割番号	000729					
科目名	主題別選択Ⅱ（危険物の科学）					
担当教員	勝又 敏行					
開講時期	前期	対象年次	3			
曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1ー2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表1ー10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる						
授業の目的、概要等 化学物質を扱うために、安全や環境保護など様々な理由から法による規制が行われている。その中で火災予防を目的として危険物が消防法により規定され、その取り扱いの監督者には資格が必要となる。危険物の化学的性質やその火災事例、消火法などを講義形式で紹介していく。						
授業の到達目標(SB0s) 危険物の安全な取扱方法を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	大学院講義室3	関係法令	化学物質の取扱に関連する法令を紹介する。	勝又 敏行
2	6/18	10:05-10:55	大学院講義室3	危険物とは何か	危険物とは何かについて説明する。	勝又 敏行
3	6/25	10:05-10:55	大学院講義室3	第1類?第3類の性質	第1類から第3類危険物の性質や取扱方法について説明する	勝又 敏行
4	7/2	10:05-10:55	大学院講義室3	第4類の性質	第4類危険物の性質や取扱方法について説明する	勝又 敏行
5	7/9	10:05-10:55	大学院講義室3	第5類、第6類の性質	第5類、第6類危険物の性質や取扱方法について説明する	勝又 敏行
6	7/16	10:05-10:55	大学院講義室3	消火法について	危険物火災の消火方法を紹介する。	勝又 敏行
7	7/23	10:05-10:55	大学院講義室3	火事の事例	危険物火災の事故事例を紹介する。	勝又 敏行
授業方法 講義形式による						
授業内容 1. 関係法令 2. 危険物とは何か 3. 第1類～第3類の性質 4. 第4類の性質 5. 第5類、第6類の性質 6. 消火法について 7. 火事の事例						
成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、その他(授業中小テスト等)50%						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示 講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。						

参考書

基礎火災現象原論／James G.Quintiere 著,大宮喜文, 若月薫 訳: 共立出版, 2009

連絡先

katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水、木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000730				
科目名	主題別選択Ⅱ（老化と寿命）				
担当教員	服部 淳彦				
開講時期	前期	対象年次	3		
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 1－5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。 1－10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる。					
授業の目的、概要等 「生あるものは必ず死を迎える」というが、果たして本当であろうか。生物学的に言えば、NOである。細菌などの原核生物は無限に分裂を繰り返し、生き延びることができるのである。一方、我々ヒトを含めた有性生殖を行う動物は、どんなに環境を整えても必ず死が訪れる。この授業では、「老化」に焦点を当て、老化の原因と老化に関連した病気についてはじめに解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスを行う。					
授業の到達目標(SB0s) 生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	共用セミ ナール室9	老化現象と老化の原因 (概要)	服部 淳彦
2	6/18	10:05-10:55	共用セミ ナール室9	骨の老化	服部 淳彦
3	6/25	10:05-10:55	共用セミ ナール室9	皮膚の老化	服部 淳彦
4	7/2	10:05-10:55	共用セミ ナール室9	脳の老化	服部 淳彦
5	7/9	10:05-10:55	共用セミ ナール室9	血管の老化	服部 淳彦
6	7/16	10:05-10:55	共用セミ ナール室9	老化と遺伝子	服部 淳彦
7	7/23	10:05-10:55	共用セミ ナール室9	抗加齢医学	服部 淳彦
授業方法 セミナー形式による(各自に発表してもらう)。したがって、募集人数は15名をMAXとする。					
授業内容 老化現象と老化の原因(概要) 骨の老化 皮膚の老化 脳の老化 血管の老化 老化と遺伝子 抗加齢医学					
成績評価の方法 評価:その他 100% 平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。 再評価: 有					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					

準備学習などについての具体的な指示 主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。
連絡先 ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000731					
科目名	主題別選択Ⅱ（生物と環境）					
担当教員	伊藤 正則					
開講時期	前期	対象年次	3			
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 別表1－8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する。 別表2－4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。						
授業の目的、概要等						
外部環境から刺激を受容したとき、同種の生物では、ほぼ特定の刺激に対して定型的な反応を示す。この授業では、刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させると、研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得することを目指す。主に生物環境適応を対象とする最近の研究論文を教材として用いて、生物の環境適応の多様性について理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 生体の基本構造を説明することができる。 2) 生体の構造と関連させて、基本的な機能を説明することができる。 3) 知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。 4) 研究テーマ・目的を設定し、目的を達成するための実験を立案することができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	医学科講義室2	生物と環境	概論-環境適応の多様性	伊藤 正則
2	6/18	10:05-10:55	医学科講義室2	生物と環境	恒常性のしくみ	伊藤 正則
3	6/25	10:05-10:55	医学科講義室2	生物と環境	神経系と内分泌系の協調	伊藤 正則
4	7/2	10:05-10:55	医学科講義室2	生物と環境	生体防御	伊藤 正則
5	7/9	10:05-10:55	医学科講義室2	生物と環境	行動による適応と脳制御メカニズム	伊藤 正則
6	7/16	10:05-10:55	医学科講義室2	生物と環境	環境変化による遺伝子発現の変化	伊藤 正則
7	7/23	10:05-10:55	医学科講義室2	生物と環境	生物間の相互作用と生態系	伊藤 正則
授業方法						
講義形式による。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。						
授業内容						
生物が刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで説明する。主に、最近の研究論文(生物の環境適応に関する論文)を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。						
成績評価の方法						
評価：試験 0%・レポート 80% その他(授業への参加度・授業中の回答状況) 再評価：有						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。						
準備学習などについての具体的な指示						

予習は予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案すること。
試験の受験資格 2/3以上出席したものにレポート提出の資格を与える。
教科書 :羊土社 必要に応じて関連資料を配布する。
参考書 ヒューマンバイオロジー 人体と生命 第7版／S.S.Madar:医学書院, 2005 改訂第2版イラスト生化学・分子生物学／前野 正夫:羊土社, 2008 イラスト生理学／照井 直人:羊土社, 2012
履修上の注意事項 出欠管理システムでの記録より、教員がとる出欠を優先する。
連絡先 itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000732					
科目名	主題別選択Ⅱ（民主主義を再考する）					
担当教員	藤井 達夫					
開講時期	前期	対象年次	3			
曜日・時間： 木曜 2 限 対象学科： 医学科歯学科 募集人数： 25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 1-1)、1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-6)、1-7)、1-8)、1-9)、2-4)						
授業の目的、概要等						
この授業では、近代以降の民主主義の歴史をたどりながら、現在の民主主義の閉塞状況を批判的に検討します。この検討を手掛かりにして、これからの社会をどのように作り上げていくのか履修者の皆さんと一緒に考えます。誰もが民主主義は私たちの社会のあり方——医療制度を含め——を決定する重要な政治の原理であり、手続きであると認めます。しかしながら、民主主義の内実をしっかりと理解している人はどれほどいるのでしょうか。民主主義についての議論をとおして、社会の一員としての自覚と知識を培うことがこの授業の目的になります。						
授業の到達目標(SBOs)						
(1)民主主義理論の基本的な理解を習得し、現代の民主社会が抱える問題について議論することができる。 (2)人権、社会的公正さといった規範的な視点から現代社会のあるべき姿について検討し、議論することができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	共用セミナー室 10	民主主義への不信と不満——民主主義の危機	グローバルな視点から、現代の代表制民主主義への不満とその原因について考えます。	藤井 達夫
2	6/18	10:05-10:55	共用セミナー室 10	戦後日本の民主主義とその歴史	歴史的な視点から、戦後の日本の民主主義の特徴を明らかにし、そこから現在の日本の民主主義の問題点について検討します。	藤井 達夫
3	6/25	10:05-10:55	共用セミナー室 10	間接民主主義と直接民主主義	歴史的な視点から、間接民主主義（＝代表制民主主義）と参加民主主義との関係性について検討します。	藤井 達夫
4	7/2	10:05-10:55	共用セミナー室 10	民主主義とポピュリズム	民主主義に内在する危険としてしばしば指摘されるポピュリズムに焦点を当て、ポピュリズムの歴史や現在のポピュリズムの問題点について考えます。	藤井 達夫
5	7/9	10:05-10:55	共用セミナー室 10	民主主義とエリート主義	エリート主義に基づいた近代の民主主義の構想を批判的に検討することで、その問題点を指摘します。	藤井 達夫
6	7/16	10:05-10:55	共用セミナー室 10	民主主義を深める——市民による参加と熟議	参加と熟議をキーワードにして、民主主義をさらに深めようとする現在の理論的構想や実験的な試みを紹介します。	藤井 達夫
7	7/23	10:05-10:55	共用セミナー室 10	日本国憲法と戦後民主主義	立憲主義や憲法制定権力という言葉を手掛かりに、日本国憲法と民主主義の関係について検討します。	藤井 達夫
授業方法						
講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。						

授業内容 第一回 民主主義への不信と不満—民主主義の危機 第二回 日本国憲法と戦後民主主義 第三回 間接民主主義と直接民主主義 第四回 民主主義とポピュリズム 第五回 民主主義とエリート主義 第六回 民主主義を深める—市民による参加と熟議 第七回 まとめ ※以上の授業計画には、変更の可能性あります。
成績評価の方法 評価：レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価：有(再評価方法)レポート
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 必要があれば、授業内で適宜、指示します。
教科書 教科書は使用しません。
参考書 オーウェル『カタロニア賛歌』(岩波文庫、1992 年) 小熊英二『社会を変えるには』(講談社現代新書、2012 年) 赤坂真理『愛と暴力の戦後とその後』(講談社現代新書、2014 年)
履修上の注意事項 出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。
連絡先 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000733					
科目名	主題別選択Ⅱ（英語で学ぶヒトの脳と言語）					
担当教員	戸張 靖子					
開講時期	前期	対象年次	3			
曜日・時間： 木曜日・2 時限（10:05-10:55）						
対象学科: 医・歯学科						
募集人数: 25 人						
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する。						
別表1－7)人間の心への理解を深める。						
別表2－3)言語活動や社会現象を科学的に分析ための方法を知る。						
別表2－4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。						
授業の目的、概要等						
言語を持つのは地球上でヒトだけです。この授業では、世界で使用されている代表的な神経科学の教科書を資料として、言語を可能にするヒトの脳構造を概観し、幼児の言語獲得と発達から臨界期仮説を学習します。さらに、さまざま動物のコミュニケーションとヒトの言語との比較研究から得られた言語の生物学的起源についての知見に触れます。講義は英語で記述された配布資料に基づき日本語と英語で行います。						
授業の到達目標(SB0s)						
(1)言語機能を担うヒトの脳構造について理解する。						
(2)言語の生物学的起源に関する知見に触れる。						
(3) 言語脳科学研究における研究手法を学ぶ。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	Structure of the human brain (1)	Overview of the human brain.	戸張 靖子
2	6/18	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	Structure of the human brain (2)	Language circuits in the brain.	戸張 靖子
3	6/25	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	Critical period for language learning	Is there a critical period for language learning?	戸張 靖子
4	7/2	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	Human behavior related to language	Second-language and sign language.	戸張 靖子
5	7/9	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	Evolution of language	Animal behavior similar to language.	戸張 靖子
6	7/16	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	Bird song	Comparison between bird song and human language.	戸張 靖子
7	7/23	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	Behavior of primates	Comparison between behavior of primates and human language.	戸張 靖子
授業方法						
講義形式で行う他、学生が発表する機会もあります。						
授業内容						
第1回 Overview of the human brain						
第2回 Language circuits in the brain						
第3回 Critical period for language learning						
第4回 Second-language and sign language						
第5回 Animal behavior similar to language						
第6回 Comparison between bird song and human language						
第7回 Comparison between behavior of primates and human language						
成績評価の方法						
評価： 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20%						
再評価: 有(レポート提出)						

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示
毎回プリントを配布します。予習は特に必要ありませんが、毎回授業への質問やコメントを書いていただきます。
教科書
指定なし
参考書
Principles of Neural Science, Fifth Edition, Eric R. Kandel et al., 2013 McGraw-Hill
履修上の注意事項
レポート提出の資格:原則3分の2以上の出席

時間割番号	000811			
科目名	主題別選択Ⅱ（中国政治テキスト分析）			
担当教員	家永 真幸			
開講時期	前期	対象年次	3	
授業の目的、概要等				
日本でも中国でも、政治・外交に関して政府が発表する声明の類は、さまざまな思惑が交錯した結果として、非常に微妙な言い回しになることがよくあります。この授業では、中国政治にまつわる短めの政治文書や新聞記事などを、細かな言葉遣いの背景まで留意しながら読み解きます。				
授業の到達目標(SBOs)				
近年の中国政治に関する中国語、日本語、英語で書かれた文書の読解を通じ、それら文書の意義や歴史的背景について理解することを目指します。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	家永 真幸
2	6/18	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	家永 真幸
3	6/25	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	家永 真幸
4	7/2	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	家永 真幸
5	7/9	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	家永 真幸
6	7/16	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	家永 真幸
7	7/23	10:05-10:55	共用セミ ナール室4	家永 真幸
授業方法				
毎回取り扱うテキストを 1 つ指定・配布するので、事前に読んできていただき、授業時には必ず何か発言してもらいます。受講人数と顔ぶれを見て初回時に調整しますが、1 人 1 回報告も担当してもらう予定です。中国語未履修者も受講して構いません。				
授業内容				
初回時に受講者と相談して決めますが、今のところ下記トピックを扱うことを考えています。				
第 1 回 ガイダンス、担当決め、序盤用テキスト配布				
第 2 回 「日中共同声明」(1972 年 9 月)				
第 3 回 中華人民共和国国務院新聞弁公室《釣魚島是中国的固有領土》(2012 年 9 月) 日本外務省「尖閣諸島についての基本見解」(2013 年 5 月)				
第 4 回 “Joint Communiqué Between the People's Republic of China and the United States”、《中華人民共和国和美利堅合衆国聯合公報》(1972 年 2 月)				
第 5 回 在日米国大使館“Statement on Prime Minister Abe’s December 26 Visit to Yasukuni Shrine”(2013 年 12 月) 《外交部發言人秦剛就日本首相安倍晉三參拜靖國神社發表談話》(2013 年 12 月)				
第 6 回 香港特別行政区《政務司司長談与学聯代表對話》(2014 年 10 月)				
第 7 回 総合討論				
成績評価の方法				
評価:試験0%・レポート80% その他20%(授業への参加度・授業中の回答状況)				
再評価:有				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				

準備学習などについての具体的な指示

各回の課題テキストは事前に配布するので、授業当日までに読んで来ることが求められます。授業で得た知識は自分なりに整理し、レポートに活かすことが望まれます。

時間割番号	000735					
科目名	主題別選択Ⅱ（ディアスポラの文化）					
担当教員	高尾 千津子					
開講時期	前期	対象年次	3			
曜日・時間: 木曜 2 限						
対象学科: 医・歯学科						
受講資格: 「文化と人間」「言語と人間」選択者						
募集人数: 20 人						
授業の目的、概要等						
現代のグローバルな人間の移動は、世界各地に新しいディアスポラ文化を生み出している。国を追われた亡命者や難民でなく、国際的な労働力の移動という形での移民たちが、この新たな文化の担い手となっている。授業では、ヨーロッパとアメリカを中心に、移民たちの文化を紹介し、多文化社会が投げかける問題点を考える。						
授業の到達目標(SB0s)						
人の移動にともなう文化変容と異文化間の相互理解を重要性を考える。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	共用セミナー室 11	ガイダンス	移民のアイデンティティと多文化共生について	高尾 千津子
2	6/18	10:05-10:55	共用セミナー室 11	アメリカの移民文化 1	アメリカの移民政策の歴史と移民文化について	高尾 千津子
3	6/25	10:05-10:55	共用セミナー室 11	アメリカの移民文化 2	アメリカの多文化主義の実際と問題点を紹介する。	高尾 千津子
4	7/2	10:05-10:55	共用セミナー室 11	ヨーロッパの移民文化 1	ヨーロッパの移民政策とEUにおける域内、域外の人の移動の問題を考える。	高尾 千津子
5	7/9	10:05-10:55	共用セミナー室 11	ヨーロッパの移民文化 2	ドイツの移民と多文化社会創造の試みを紹介する。	高尾 千津子
6	7/16	10:05-10:55	共用セミナー室 11	ヨーロッパの移民文化 3	フランスの移民政策とイスラーム文化	高尾 千津子
7	7/23	10:05-10:55	共用セミナー室 11	イスラエルの移民文化	移民国家イスラエルの持つ多様な文化と人々を知る	高尾 千津子
授業方法						
講義形式						
成績評価の方法						
評価：試験 0 % ・ レポート 80 % ・ その他(授業への参加度) 20%						
再評価: 有(再評価方法)						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						
授業ごとに参考文献を提示するので読んでおくこと。						
教科書						
授業でプリントを配布する。						
参考書						

駒井洋編『ヨーロッパ・ロシア・アメリカのディアスポラ』明石書店、2009 年。 野村達朗『「民族」で読むアメリカ』講談社現代新書、1992 年。 内藤正典『ヨーロッパとイスラーム——共生は可能か』岩波新書、2004 年。
履修上の注意事項 3 分の2以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。
連絡先 takao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 12:30～13:30

時間割番号	000737			
科目名	主題別選択Ⅱ（医療技術と物理）			
担当教員	檜枝 光憲			
開講時期	前期	対象年次	3	
曜日・時間: 木曜2限 募集人数: 20人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2－1) 別表2－2) 別表2－4) 別表4－2)				
授業の目的、概要等 医療技術は物理学と大いに関係しています。医療でお馴染みの X 線、MRI、レーザーなど本当に多くの医療のための基礎技術が物理学者によって発見されており、物理学と密接に関係しています。本授業はゼミ形式で進め、受講者自らの発表を通して医療技術と物理の密接な関係について理解を深めていきます。				
授業の到達目標(SB0s) 医療技術と物理の関係について具体例がイメージできるようになる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55	共用セミナー室1	檜枝 光憲
2	6/18	10:05-10:55	共用セミナー室1	檜枝 光憲
3	6/25	10:05-10:55	共用セミナー室1	檜枝 光憲
4	7/2	10:05-10:55	共用セミナー室1	檜枝 光憲
5	7/9	10:05-10:55	共用セミナー室1	檜枝 光憲
6	7/16	10:05-10:55	共用セミナー室1	檜枝 光憲
7	7/23	10:05-10:55	共用セミナー室1	檜枝 光憲
授業方法 ゼミ形式で行います。 初回に分担を決め、順番に発表を行ってもらいます。				
授業内容 第1回 イントロダクション 第2回 医学と波・音(超音波) 第3回 医学と電気・電気技術(心電計、脳波計) 第4回 医学と光学(レンズ、顕微鏡) 第5回 医学と原子物理学(X 線、レーザー) 第6回 医学と原子核物理(磁気共鳴、放射線) 第7回 医学とナノテクノロジー				
成績評価の方法 評価 : その他 100 % 発表点(発表とレジュメ)と平常点(出席、議論等への参加度)による。 再評価: 有				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				

準備学習などについての具体的な指示 発表準備のために教科書以外の参考書や他の関連図書を探して読むこと。
教科書 生物学と医学のための物理学/Paul Davidovits: 共立出版, 2015
参考書 医療系のための物理/佐藤幸一・藤城敏幸: 東京教学社, 2007
履修上の注意事項 原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取れる出欠を優先させる。
連絡先 hieda.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜 17:00～19:00 ヒポクラテス 4 階

主題別人文社会科学セミナー・講義

●医学科・歯学科(3年生):主題別人文社会科学セミナー・講義スケジュール

			3時限(11:10～12:00)														
			文化			生命			言語			制度			時間		
月日	曜日		A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
4月16日	木	1	オリエンテーション(医学科講義室2)			オリエンテーション(症例検討室)			オリエンテーション(第4ゼミナール室)			オリエンテーション(大学院講義室3)			オリエンテーション(大学院講義室4)		
4月23日	木	2	(共用ゼミナール⑪)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑨)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑦)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑩)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑫)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)
4月30日	木	3															
5月7日	木	4															
5月14日	木	5															
5月21日	木	6															
5月28日	木	7															
6月4日	木	8															
6月11日	木	1	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑪)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑨)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑦)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑩)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑫)	(大学院講義室③)
6月18日	木	2															
6月25日	木	3															
7月2日	木	4															
7月9日	木	5															
7月16日	木	6															
7月23日	木	7															
9月17日	木																
10月1日	木	1	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑪)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑨)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑦)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑩)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑫)
10月8日	木	2															
10月22日	木	3															
10月29日	木	4															
11月5日	木	5															
11月12日	木	6															
11月19日	木	7															
11月26日	木	1	総括ゼミナー(医学科講義室2)			総括ゼミナー(症例検討室)			総括ゼミナー(第4ゼミナール室)			総括ゼミナー(大学院講義室3)			総括ゼミナー(大学院講義室4)		
12月3日	木	2	合同総括ゼミナー(医学科講義室2)			総括ゼミナー(共用講義室1)			総括ゼミナー(第4ゼミナール室)			総括ゼミナー(大学院講義室3)			総括ゼミナー(大学院講義室4)		
12月10日	木	3	総括ゼミナー(医学科講義室2)			合同総括ゼミナー(症例検討室)			総括ゼミナー(第4ゼミナール室)			総括ゼミナー(大学院講義室3)			総括ゼミナー(大学院講義室4)		
12月17日	木	4	総括ゼミナー(医学科講義室2)			総括ゼミナー(症例検討室)			合同総括ゼミナー(第4ゼミナール室)			総括ゼミナー(大学院講義室3)			総括ゼミナー(大学院講義室4)		
1月14日	木	5	総括ゼミナー(医学科講義室2)			総括ゼミナー(症例検討室)			総括ゼミナー(第4ゼミナール室)			合同総括ゼミナー(大学院講義室3)			総括ゼミナー(大学院講義室4)		
1月21日	木	6	総括ゼミナー(医学科講義室2)			総括ゼミナー(症例検討室)			総括ゼミナー(第4ゼミナール室)			総括ゼミナー(大学院講義室3)			合同総括ゼミナー(大学院講義室4)		
1月28日	木	7	総括ゼミナー(医学科講義室2)			総括ゼミナー(症例検討室)			総括ゼミナー(第4ゼミナール室)			総括ゼミナー(大学院講義室3)			総括ゼミナー(大学院講義室4)		
2月4日	木	8	総括ゼミナー(医学科講義室2)			総括ゼミナー(症例検討室)			総括ゼミナー(第4ゼミナール室)			総括ゼミナー(大学院講義室3)			総括ゼミナー(大学院講義室4)		
2月12日	木																
3月5日	木																

157

時間割番号	000801					
科目名	人文社会科学講義(医療と社会)					
担当教員	藤井 達夫					
開講時期	通年	対象年次	3			
曜日・時間: 木曜 3 限 対象学科: 医・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)、1-4)、1-5)、1-8)、1-9)、2-4)、2-5)						
授業の目的、概要等						
巨大化し複雑化した現代の社会は、政治や経済、教育など、相対的に自律した諸システムから構成され、それらの相互作用によって機能しています。この授業では、医療およびそれを支える制度を社会システムの一つとして理解することで、その特徴や、それが抱える問題について検討します。特に、今年度は、日本の病院制度や医療保険制度の歴史に加え、医療政策の形成プロセスにも焦点を当てる予定です。						
授業の到達目標(SBOs)						
(1)医療およびその制度を、社会を構成する諸システムの一つとして理解し、政治や経済などの他の諸システムとの関係からそのあり方を分析することができる						
(2)社会システムとしての医療およびそれを支える諸制度の歴史と仕組みを理解した上で、現在の医療システムが抱える問題点・課題を発見し、その解決策について議論することができる						
(3)これまでに学んだ知識や獲得した視野と、総括セミナーでの思考の深化とを架橋することができる						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	11:10-12:00	大学院講義室 4	オリエンテーション		藤井 達夫
2	4/23	11:10-12:00	大学院講義室 4	医療化された社会とその批判——脱医療化社会への試み	イリイチやフーコーのテキストを手掛かりにして、医療制度を中心に組織された 20 世紀の社会の特徴とその問題点を指摘します。さらに、脱医療化社会を目指した思想の行方について考えます。	藤井 達夫
3	4/30	11:10-12:00	大学院講義室 4	再帰的近代における医療——医療とその制度の民主化——		藤井 達夫
4	5/7	11:10-12:00	大学院講義室 4	世界の医療制度	アメリカおよびヨーロッパ諸国の医療制度のいくつかを取り上げ、それらの特徴を比較検討した上で、各国の医療制度の長所および問題点について考えます。	藤井 達夫
5	5/14	11:10-12:00	大学院講義室 4	日本の医療制度とその特徴	第三回の授業を受けて、日本の医療制度の歴史と特徴、その長所と問題点について検討します。	藤井 達夫
6	5/21	11:10-12:00	大学院講義室 4	医療と政治・経済	日本の医療政策の決定過程の実情に焦点を当てることで、医療資源とその配分について論じます。	藤井 達夫
7	5/28	11:10-12:00	大学院講義室 4	誰が医療のあり方を決定すべきなのか	医療資源の公正な配分の原理とは何か、それを決定する制度はどうあるべきか、そして誰がその原理に基づいて決定すべきかについて論じます。	藤井 達夫
8	6/4	11:10-12:00	大学院講義室 4	まとめと試験		藤井 達夫

9	6/11	11:10-12:00	大学院講義室 4	医療化された社会とその批判——脱医療化社会への試み		藤井 達夫
10	6/18	11:10-12:00	大学院講義室 4	再帰的近代における医療——医療とその制度の民主化——	イリイチやフーコーのテキストを手掛かりにして、医療制度を中心に組織された 20 世紀の社会の特徴とその問題点を指摘します。さらに、脱医療化社会を目指した思想の行方について考えます。	藤井 達夫
11	6/25	11:10-12:00	大学院講義室 4	世界の医療制度		藤井 達夫
12	7/2	11:10-12:00	大学院講義室 4	日本の医療制度とその特徴	アメリカおよびヨーロッパ諸国の医療制度のいくつかを取り上げ、それらの特徴を比較検討した上で、各国の医療制度の長所および問題点について考えます。	藤井 達夫
13	7/9	11:10-12:00	大学院講義室 4	医療と政治・経済	第三回の授業を受けて、日本の医療制度の歴史と特徴、その長所と問題点について検討します。	藤井 達夫
14	7/16	11:10-12:00	大学院講義室 4	誰が医療のあり方を決定すべきなのか	日本の医療政策の決定過程の実情に焦点を当てることで、医療資源とその配分について論じます。	藤井 達夫
15	7/23	11:10-12:00	大学院講義室 4	まとめと試験	医療資源の公正な配分の原理とは何か、それを決定する制度はどうあるべきか、そして誰がその原理に基づいて決定すべきかについて論じます。	藤井 達夫
16	10/1	11:10-12:00	大学院講義室 4	医療化された社会とその批判——脱医療化社会への試み		藤井 達夫
17	10/8	11:10-12:00	大学院講義室 4	再帰的近代における医療——医療とその制度の民主化——	イリイチやフーコーのテキストを手掛かりにして、医療制度を中心に組織された 20 世紀の社会の特徴とその問題点を指摘します。さらに、脱医療化社会を目指した思想の行方について考えます。	藤井 達夫
18	10/22	11:10-12:00	大学院講義室 4	世界の医療制度		藤井 達夫
19	10/29	11:10-12:00	大学院講義室 4	日本の医療制度とその特徴	アメリカおよびヨーロッパ諸国の医療制度のいくつかを取り上げ、それらの特徴を比較検討した上で、各国の医療制度の長所および問題点について考えます。	藤井 達夫
20	11/5	11:10-12:00	大学院講義室 4	医療と政治・経済	第三回の授業を受けて、日本の医療制度の歴史と特徴、その長所と問題点について検討します。	藤井 達夫
21	11/12	11:10-12:00	大学院講義室 4	誰が医療のあり方を決定すべきなのか	日本の医療政策の決定過程の実情に焦点を当てることで、医療資源とその配分について論じます。	藤井 達夫

22	11/19	11:10-12:00	大学院講義室 4	まとめと試験	医療資源の公正な配分の原理とは何か、それを決定する制度はどうあるべきか、そして誰がその原理に基づいて決定すべきかについて論じます。	藤井 達夫
23	11/26	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー		藤井 達夫
24	12/3	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー		藤井 達夫
25	12/10	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー		藤井 達夫
26	12/17	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー		藤井 達夫
27	1/14	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー		藤井 達夫
28	1/21	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー		藤井 達夫
29	1/28	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー		藤井 達夫
30	2/4	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー		藤井 達夫
授業方法						
講義形式と授業内での質疑応答						
授業内容						
第一回 医療化された社会とその批判——医原病と脱医療化社会への試み 第二回 社会システムとしての医療 第三回 世界の医療制度 第四回 日本の医療制度とその特徴(1)——病院 第五回 日本の医療制度とその特徴(2)——医療保険 第六回 医療と政治・経済——誰が医療のあり方を決定すべきなのか 第七回 まとめと試験 ※以上の授業計画には、変更の可能性あります。						
成績評価の方法						
評価：試験 80%・レポート %・その他(授業での取り組み) 20%						
再評価：有(再評価方法)レポート						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						
必要があれば、授業内で適宜、指示します。						
教科書						
教科書は使用しません。						
参考書						
イヴァン・イリイチ『脱病院化社会』(1998 年、晶文社)、J.C.キャンベル、池上直己『日本の医療』(1996 年、中公新書)、猪飼周平『病院の世紀の理論』(2010 年、有斐閣)、真野俊樹『比較医療政策』(2013 年、ミネルヴァ書房)						
履修上の注意事項						
出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。						
連絡先						
教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。						
オフィスアワー						

教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000802					
科目名	人文社会科学講義(医療と法)					
担当教員	飛田 綾子					
開講時期	通年	対象年次	3			
曜日・時間:木曜日 3 時限(11 時 10 分から 12 時)						
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する。						
授業の目的、概要等						
授業の目的は、医療保険や年金制度をはじめとする、日本の社会保障制度の全体像を理解することです。アメリカなど他国の制度との比較を行いながら、各々の保険の受給資格や保障内容を紹介します。そして財源不足など、制度が抱えている問題を説明し、「社会保障と税の一体改革」など、政府によって進行中の改革の内容を説明します。						
授業の到達目標(SBOs)						
(1)日本がなぜ医療保険や年金制度を強制加入にしているのかを理解する。						
(2)現在、日本の社会保障が抱えている問題を把握し、どのような解決策が模索されているかを理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	11:10-12:00	大学院講義室 3	オリエンテーション	授業の概要、成績評価等について説明	飛田 綾子
2	4/23	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 1 回 日本国憲法と社会保障制度	日本の社会保障制度の全体像の説明。朝日訴訟等、有名な判決の説明。	飛田 綾子
3	4/30	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 2 回 社会保険①(医療保険)	社会保険の基本原理、医療保険の内容、医師不足・自由診療等の問題、	飛田 綾子
4	5/7	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 3 回 社会保険②(年金保険、介護保険)	年金制度の沿革、財源問題、各国との比較	飛田 綾子
5	5/14	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 4 回 社会保険③(労災保険、失業保険)	労災保険の内容(通勤災害、業務上の疾病等、)雇用保険事業の内容、損害賠償との調整等。	飛田 綾子
6	5/21	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 5 回 社会福祉サービス、公的扶助(生活保護)	社会福祉制度の展開、児童福祉・障害者福祉の新展開、生活保護制度の概要、水際作戦等の問題	飛田 綾子
7	5/28	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 6 回 社会手当(児童扶養手当、児童手当等)	児童手当の内容、少子化社会対策等	飛田 綾子
8	6/4	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 7 回 テスト		飛田 綾子
9	6/11	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 1 回 日本国憲法と社会保障制度	日本の社会保障制度の全体像の説明。朝日訴訟等、有名な判決の説明。	飛田 綾子
10	6/18	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 2 回 社会保険①(医療保険)	社会保険の基本原理、医療保険の内容、医師不足・自由診療等の問題、	飛田 綾子
11	6/25	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 3 回 社会保険②(年金保険、介護保険)	年金制度の沿革、財源問題、各国との比較	飛田 綾子
12	7/2	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 4 回 社会保険③(労災保険、失業保険)	労災保険の内容(通勤災害、業務上の疾病等、)雇用保険事業の内容、損害賠償との調整等。	飛田 綾子
13	7/9	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 5 回 社会福祉サービス、公的扶助(生活保護)	社会福祉制度の展開、児童福祉・障害者福祉の新展開、生活保護制度の概要、水際作戦等の問題	飛田 綾子

14	7/16	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 6 回 社会手当(児童扶養手当、児童手当等)	児童手当の内容、少子化社会対策等	飛田 綾子
15	7/23	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 7 回 テスト		飛田 綾子
16	10/1	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 1 回 日本国憲法と社会保障制度	日本の社会保障制度の全体像の説明。朝日訴訟等、有名な判決の説明。	飛田 綾子
17	10/8	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 2 回 社会保険①(医療保険)	社会保険の基本原則、医療保険の内容、医師不足・自由診療等の問題、	飛田 綾子
18	10/22	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 3 回 社会保険②(年金保険、介護保険)	年金制度の沿革、財源問題、各国との比較	飛田 綾子
19	10/29	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 4 回 社会保険③(労災保険、失業保険)	労災保険の内容(通勤災害、業務上の疾病等)、雇用保険事業の内容、損害賠償との調整等。	飛田 綾子
20	11/5	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 5 回 社会福祉サービス、公的扶助(生活保護)	社会福祉制度の展開、児童福祉・障害者福祉の新展開、生活保護制度の概要、水際作戦等の問題	飛田 綾子
21	11/12	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 6 回 社会手当(児童扶養手当、児童手当等)	児童手当の内容、少子化社会対策等	飛田 綾子
22	11/19	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 7 回 テスト		飛田 綾子
23	11/26	11:10-12:00	大学院講義室 3	合同総括セミナー		飛田 綾子
24	12/3	11:10-12:00	大学院講義室 3	合同総括セミナー		飛田 綾子
25	12/10	11:10-12:00	大学院講義室 3	合同総括セミナー		飛田 綾子
26	12/17	11:10-12:00	大学院講義室 3	合同総括セミナー		飛田 綾子
27	1/14	11:10-12:00	大学院講義室 3	合同総括セミナー		飛田 綾子
28	1/21	11:10-12:00	大学院講義室 3	合同総括セミナー		飛田 綾子
29	1/28	11:10-12:00	大学院講義室 3	合同総括セミナー		飛田 綾子
30	2/4	11:10-12:00	大学院講義室 3	合同総括セミナー		飛田 綾子

授業方法

毎回、教員が作成したレジュメをもとに講義形式で行います。後期後半は論文執筆に向けたセミナー指導を行います。

授業内容

- ①日本の社会保障の全体像—人口割合、財政、憲法との関わり—
- ②医療保険(医師不足、TPPの影響なども)
- ③年金保険、介護保険(個人年金の枠組み、介護保険サービスの問題点)
- ④社会福祉(児童福祉・障害者福祉など)
- ⑤公的扶助(生活保護の内容、「不正受給」をめぐる問題)
- ⑥労災保険・雇用保険(労災の判定基準、雇用保険の内容、雇用政策の是非)
- ⑦テスト

成績評価の方法

評価：試験 85 % ・ レポート 0% ・ その他(授業感想カード) 15 % 再評価： 有(再評価方法:レポート提出)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 配布するレジュメに目を通して復習しておいてください。社会保障に関するニュースに注意を払うようにして下さい。
教科書 特に指定しません。
参考書 加藤智章ら『社会保障法(第5版)』有斐閣、2013年。西村健一郎・岩村正彦編『社会保障判例百選(第4版)』有斐閣、2008年。尾形健『福祉国家と憲法構造』有斐閣、2011年。
履修上の注意事項 ①出欠管理システムの記録よりも教員の出欠調査を優先します。②教員の出欠調査は、出席調査票や簡単なアクションペーパーの提出で行います。③3分の2以上の出席を満たさなければ、テストの受験資格を得られません。④代返などの不正行為には厳正に対処します。
備考 キーワード: 社会保障、規制改革、財政改革、TPP、成長戦略
参照ホームページ 厚生労働省: http://www.mhlw.go.jp/ 内閣府: http://www.cas.go.jp/
連絡先 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000803					
科目名	主題別人文社会科学セミナー(文化と人間)					
担当教員	高尾 千津子					
開講時期	通年	対象年次	3			
曜日・時間: 木曜 3 限						
受講資格: 「文化と人間」選択者						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	11:10-12:00	医学科講義室 2	オリエンテーション	授業の概要の説明	高尾 千津子
2	4/23	11:10-12:00	共用セミナー室 11	A グループセミナー1	外国人の目から見た近代日本文化	高尾 千津子
3	4/30	11:10-12:00	共用セミナー室 11	A グループセミナー	日本人漂流民の外国理解	高尾 千津子
4	5/7	11:10-12:00	共用セミナー室 11	A グループセミナー	日露戦争と捕虜収容所 日本人はロシア兵をどう見たか	高尾 千津子
5	5/14	11:10-12:00	共用セミナー室 11	A グループセミナー	日本の難民、移民受入の歴史	高尾 千津子
6	5/21	11:10-12:00	共用セミナー室 11	A グループセミナー	横浜外国人墓地の歴史	高尾 千津子
7	5/28	11:10-12:00	共用セミナー室 11	A グループセミナー	ユダヤ難民と敦賀市民 異文化交流の実際	高尾 千津子
8	6/4	11:10-12:00	共用セミナー室 11	A グループセミナー	まとめ	高尾 千津子
9	6/11	11:10-12:00	共用セミナー室 11	B グループセミナー	外国人の目から見た近代日本文化	高尾 千津子
10	6/18	11:10-12:00	共用セミナー室 11	B グループセミナー	日本人漂流民の外国理解	高尾 千津子
11	6/25	11:10-12:00	共用セミナー室 11	B グループセミナー	日露戦争と捕虜収容所 日本人はロシア兵をどう見たか	高尾 千津子
12	7/2	11:10-12:00	共用セミナー室 11	B グループセミナー	日本の難民、移民受入の歴史	高尾 千津子
13	7/9	11:10-12:00	共用セミナー室 11	B グループセミナー	横浜外国人墓地の歴史	高尾 千津子
14	7/16	11:10-12:00	共用セミナー室 11	B グループセミナー	ユダヤ難民と敦賀市民 異文化交流の実際	高尾 千津子

15	7/23	11:10-12:00	共用セミナー室 11	Bグループセミナー	まとめ	高尾 千津子
16	10/1	11:10-12:00	共用セミナー室 11	Cグループセミナー	外国人の目から見た近代日本文化	高尾 千津子
17	10/8	11:10-12:00	共用セミナー室 11	Cグループセミナー	日本人漂流民の外国理解	高尾 千津子
18	10/22	11:10-12:00	共用セミナー室 11	Cグループセミナー	日露戦争と捕虜収容所 日本人はロシア兵をどう見たか	高尾 千津子
19	10/29	11:10-12:00	共用セミナー室 11	Cグループセミナー	日本の難民、移民受入の歴史	高尾 千津子
20	11/5	11:10-12:00	共用セミナー室 11	Cグループセミナー	横浜外国人墓地の歴史	高尾 千津子
21	11/12	11:10-12:00	共用セミナー室 11	Cグループセミナー	ユダヤ難民と敦賀市民 異文化交流の実際	高尾 千津子
22	11/19	11:10-12:00	共用セミナー室 11	Cグループセミナー	まとめ	高尾 千津子
23	11/26	11:10-12:00	医学科講義室2	総括セミナー1		高尾 千津子
24	12/3	11:10-12:00	医学科講義室2	総括セミナー2		高尾 千津子
25	12/10	11:10-12:00	医学科講義室2	総括セミナー3		高尾 千津子
26	12/17	11:10-12:00	医学科講義室2	合同総括セミナー		高尾 千津子
27	1/14	11:10-12:00	医学科講義室2	総括セミナー5		高尾 千津子
28	1/21	11:10-12:00	医学科講義室2	総括セミナー6		高尾 千津子
29	1/28	11:10-12:00	医学科講義室2	総括セミナー7		高尾 千津子
30	2/4	11:10-12:00	医学科講義室2	総括セミナー8		高尾 千津子

授業方法

古今東西の様々な文化は互いに接触し、相互に影響を与え、変化していく。講義では、民族と文化、言語と文化、宗教と文化などを題材に、日本における異文化接触の問題を中心にいくつかのテーマを扱う。授業の最終回には履修者による発表を予定している。総括セミナーでは履修者の自由な関心にしたがって各自の構想を発表してもらい、討論する。

準備学習などについての具体的な指示

教科書

プリントを配布する。

連絡先

takao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 12:30～13:30

時間割番号	000804																																																																																													
科目名	主題別人文社会科学セミナー(生命と人間)																																																																																													
担当教員	田中 智彦																																																																																													
開講時期	通年	対象年次	3																																																																																											
◇ 曜日・時間: 木曜 2 限 ◇ 対象学科: 医学科・歯学科 ◇ 受講資格: 「生命と人間」の主題であること ◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する 別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる																																																																																														
授業の目的、概要等 「生命」という概念をもつ生物は、おそらく人間だけでしょう。そしてそれゆえに、人間だけが自分の生命に「終わり」のあることを意識し、自分に生命が「ある」ことの意味を問う。あるいはそうせざるをえない。またそれゆえに人間だけが、生命とは何かを探究し、ついには生命を操作しようとしさえする。もっともこうしたことは、何も現代に特有のことではなく、人間が「人間」として言語と文化を獲得し、社会を築くようになって以来、連綿と続けられてきたことでした。 このことは他方で、私たちが生命について何ごとかを認識し、考え、語るときにはそこに、私たちの言語・文化・社会が色濃く影を落としていることを示唆します。そしてそうであるとするならば、そのような「影」にどれほど自覚的でありうるかは、私たちが生命について、また人間の生と死について、どれほど深く認識し、考え、語りうるかを左右することになるでしょう。そこでこのセミナーでは、そうした「自覚」や「深さ」へと接近する手立てとして、「授業詳細日程」にあげるような論点について考察していきます。																																																																																														
授業の到達目標(SBOs) セミナーでとりあげられる論点について理解するとともに、それらと各人がこれまでに学んできたことを結びつけ、そうして「セミナー論文」のための適切な問題設定を見いだすこと。																																																																																														
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>授業題目</td><td>授業内容</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/16</td><td>11:10-12:00</td><td>症例検討室</td><td>オリエンテーション</td><td>授業の概要説明</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>2</td><td>4/23</td><td>11:10-12:00</td><td>共用セミナー室 9</td><td>Aグループセミナー1</td><td>「生命」とは何なのか</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>3</td><td>4/30</td><td>11:10-12:00</td><td>共用セミナー室 9</td><td>Aグループセミナー2</td><td>「正常」と「病理」</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>4</td><td>5/7</td><td>11:10-12:00</td><td>共用セミナー室 9</td><td>Aグループセミナー3</td><td>「健康」と「病」</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>5</td><td>5/14</td><td>11:10-12:00</td><td>共用セミナー室 9</td><td>Aグループセミナー4</td><td>「身体」と「制度」</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>6</td><td>5/21</td><td>11:10-12:00</td><td>共用セミナー室 9</td><td>Aグループセミナー5</td><td>「生命」と「社会」</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>7</td><td>5/28</td><td>11:10-12:00</td><td>共用セミナー室 9</td><td>Aグループセミナー6</td><td>「人間」のゆくえ</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>8</td><td>6/4</td><td>11:10-12:00</td><td>共用セミナー室 9</td><td>Aグループセミナー7</td><td>セミナー論文執筆にむけて</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>9</td><td>6/11</td><td>11:10-12:00</td><td>共用セミナー室 9</td><td>Bグループセミナー1</td><td>「生命」とは何なのか</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>10</td><td>6/18</td><td>11:10-12:00</td><td>共用セミナー室 9</td><td>Bグループセミナー2</td><td>「正常」と「病理」</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>11</td><td>6/25</td><td>11:10-12:00</td><td>共用セミナー室 9</td><td>Bグループセミナー3</td><td>「健康」と「病」</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>12</td><td>7/2</td><td>11:10-12:00</td><td>共用セミナー室 9</td><td>Bグループセミナー4</td><td>「身体」と「制度」</td><td>田中 智彦</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/16	11:10-12:00	症例検討室	オリエンテーション	授業の概要説明	田中 智彦	2	4/23	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Aグループセミナー1	「生命」とは何なのか	田中 智彦	3	4/30	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Aグループセミナー2	「正常」と「病理」	田中 智彦	4	5/7	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Aグループセミナー3	「健康」と「病」	田中 智彦	5	5/14	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Aグループセミナー4	「身体」と「制度」	田中 智彦	6	5/21	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Aグループセミナー5	「生命」と「社会」	田中 智彦	7	5/28	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Aグループセミナー6	「人間」のゆくえ	田中 智彦	8	6/4	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Aグループセミナー7	セミナー論文執筆にむけて	田中 智彦	9	6/11	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Bグループセミナー1	「生命」とは何なのか	田中 智彦	10	6/18	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Bグループセミナー2	「正常」と「病理」	田中 智彦	11	6/25	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Bグループセミナー3	「健康」と「病」	田中 智彦	12	7/2	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Bグループセミナー4	「身体」と「制度」	田中 智彦
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																								
1	4/16	11:10-12:00	症例検討室	オリエンテーション	授業の概要説明	田中 智彦																																																																																								
2	4/23	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Aグループセミナー1	「生命」とは何なのか	田中 智彦																																																																																								
3	4/30	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Aグループセミナー2	「正常」と「病理」	田中 智彦																																																																																								
4	5/7	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Aグループセミナー3	「健康」と「病」	田中 智彦																																																																																								
5	5/14	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Aグループセミナー4	「身体」と「制度」	田中 智彦																																																																																								
6	5/21	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Aグループセミナー5	「生命」と「社会」	田中 智彦																																																																																								
7	5/28	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Aグループセミナー6	「人間」のゆくえ	田中 智彦																																																																																								
8	6/4	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Aグループセミナー7	セミナー論文執筆にむけて	田中 智彦																																																																																								
9	6/11	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Bグループセミナー1	「生命」とは何なのか	田中 智彦																																																																																								
10	6/18	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Bグループセミナー2	「正常」と「病理」	田中 智彦																																																																																								
11	6/25	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Bグループセミナー3	「健康」と「病」	田中 智彦																																																																																								
12	7/2	11:10-12:00	共用セミナー室 9	Bグループセミナー4	「身体」と「制度」	田中 智彦																																																																																								

13	7/9	11:10-12:00	共用セミナー室9	Bグループセミナー5	「生命」と「社会」	田中 智彦
14	7/16	11:10-12:00	共用セミナー室9	Bグループセミナー6	「人間」のゆくえ	田中 智彦
15	7/23	11:10-12:00	共用セミナー室9	Bグループセミナー7	セミナー論文執筆にむけて	田中 智彦
16	10/1	11:10-12:00	共用セミナー室9	Cグループセミナー1	「生命」とは何なのか	田中 智彦
17	10/8	11:10-12:00	共用セミナー室9	Cグループセミナー2	「正常」と「病理」	田中 智彦
18	10/22	11:10-12:00	共用セミナー室9	Cグループセミナー3	「健康」と「病」	田中 智彦
19	10/29	11:10-12:00	共用セミナー室9	Cグループセミナー4	「身体」と「制度」	田中 智彦
20	11/5	11:10-12:00	共用セミナー室9	Cグループセミナー5	「生命」と「社会」	田中 智彦
21	11/12	11:10-12:00	共用セミナー室9	Cグループセミナー6	「人間」のゆくえ	田中 智彦
22	11/19	11:10-12:00	共用セミナー室9	Cグループセミナー7	セミナー論文執筆にむけて	田中 智彦
23	11/26	11:10-12:00	症例検討室	総括セミナー1	中間発表①	田中 智彦
24	12/3	11:10-12:00	共用講義室1	総括セミナー2	中間発表②	田中 智彦
25	12/10	11:10-12:00	症例検討室	合同総括セミナー	中間発表③	田中 智彦
26	12/17	11:10-12:00	症例検討室	総括セミナー4	中間発表④	田中 智彦
27	1/14	11:10-12:00	症例検討室	総括セミナー5	中間発表⑤	田中 智彦
28	1/21	11:10-12:00	症例検討室	総括セミナー6	中間発表⑥	田中 智彦
29	1/28	11:10-12:00	症例検討室	総括セミナー7	中間発表⑦	田中 智彦
30	2/4	11:10-12:00	症例検討室	総括セミナー8	(予備日)	田中 智彦

授業方法

授業は「講義＋ディスカッション」の形式で行う予定です。

教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。

授業内容

「授業詳細日程」にある通り

成績評価の方法

◇評価: セミナー論文 70%

その他 30%(出席状況、授業への参加度など)

◇再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、

毎回の授業に臨むようにしてください。
試験の受験資格 ◇ セミナー論文の提出資格:原則 7 回中 5 回以上の出席
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。
連絡先 tanaka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 11:00～13:00 管理研究棟 2 階 哲学研究室

時間割番号	000805																																																																																						
科目名	主題別人文社会科学セミナー(言語と人間)																																																																																						
担当教員	土佐 朋子																																																																																						
開講時期	通年	対象年次	3																																																																																				
・曜日・時間:木曜3限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・受講資格:「言語と人間」の主題であること ・科目を履修して得られる能力(コンピテシー) 別表1ー1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1ー5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る																																																																																							
授業の目的、概要等 人間を他の生物から区別するものの一つに「言語」がある。人間は他者同士で構成されるこの社会において、他者とコミュニケーションするために言語が必要となる。医療従事者も、常に「患者」という他者の言葉と向き合っていかなければならない立場にある。 我々は、人間が言葉を使っている、つまりある形を持った考えを言葉で表現して伝え、真実を言葉で再現して伝えていると思いがちである。 しかし、発話主体の制御を時に発話者の意図せぬところで意図せぬメッセージとなって他者に受け取られたり、同じ「真実」であるはずなのにまったく異なる真実が語り出されるということを、我々は日々経験する。 なぜこのようなことが起こるのだろうか。人間と言語との関係はどのようにになっているのか。本当に人間は言語活動の主体たり得るのか。 このような問題意識のもとで、これまで構築されてきた言語や語りに関する理論のいくつかを学び、言語と人間に関する自分なりの見解を持ち、他者の言葉にどう向き合うべきなのか、患者の言葉をどう聞くべきなのか、抽象的かつ具体的に考察することが目的である。																																																																																							
授業の到達目標(SBOs) ①人間と言葉の関係性について理解を深める。 ②先人の理論を学びながら、自分自身の人生や生活に引きつけて考察できるようなる。 ③セミナー論文で現段階における見解をまとめる。																																																																																							
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>4/16</td><td>11:10-12:00</td><td>第4ゼミナール室</td><td>オリエンテーション</td><td>授業の概要説明</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>2</td><td>4/23</td><td>11:10-12:00</td><td>共用セミナー室7</td><td>Aグループセミナー1</td><td>「ことば」とは何なのか。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>3</td><td>4/30</td><td>11:10-12:00</td><td>共用セミナー室7</td><td>Aグループセミナー2</td><td>言語の構造、その恣意性。シニフィアンとシニフィエーゾシュールー</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>4</td><td>5/7</td><td>11:10-12:00</td><td>共用セミナー室7</td><td>Aグループセミナー3</td><td>言語過程説―時枝誠記―</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>5</td><td>5/14</td><td>11:10-12:00</td><td>共用セミナー室7</td><td>Aグループセミナー4</td><td>「ことば」の主体―バンヴェニスト―</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>6</td><td>5/21</td><td>11:10-12:00</td><td>共用セミナー室7</td><td>Aグループセミナー5</td><td>作者の死―ロラン・バルト―</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>7</td><td>5/28</td><td>11:10-12:00</td><td>共用セミナー室7</td><td>Aグループセミナー6</td><td>作品からテキストへ―ロラン・バルト―</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>8</td><td>6/4</td><td>11:10-12:00</td><td>共用セミナー室7</td><td>Aグループセミナー7</td><td>まとめ</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>9</td><td>6/11</td><td>11:10-12:00</td><td>共用セミナー室7</td><td>Bグループセミナー1</td><td>「ことば」とは何なのか。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>10</td><td>6/18</td><td>11:10-12:00</td><td>共用セミナー室7</td><td>Bグループセミナー2</td><td>言語の構造、その恣意性。シニフィアンとシニフィエーゾシュールー</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>11</td><td>6/25</td><td>11:10-12:00</td><td>共用セミナー室7</td><td>Bグループセミナー3</td><td>言語過程説―時枝誠記―</td><td>土佐 朋子</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/16	11:10-12:00	第4ゼミナール室	オリエンテーション	授業の概要説明	土佐 朋子	2	4/23	11:10-12:00	共用セミナー室7	Aグループセミナー1	「ことば」とは何なのか。	土佐 朋子	3	4/30	11:10-12:00	共用セミナー室7	Aグループセミナー2	言語の構造、その恣意性。シニフィアンとシニフィエーゾシュールー	土佐 朋子	4	5/7	11:10-12:00	共用セミナー室7	Aグループセミナー3	言語過程説―時枝誠記―	土佐 朋子	5	5/14	11:10-12:00	共用セミナー室7	Aグループセミナー4	「ことば」の主体―バンヴェニスト―	土佐 朋子	6	5/21	11:10-12:00	共用セミナー室7	Aグループセミナー5	作者の死―ロラン・バルト―	土佐 朋子	7	5/28	11:10-12:00	共用セミナー室7	Aグループセミナー6	作品からテキストへ―ロラン・バルト―	土佐 朋子	8	6/4	11:10-12:00	共用セミナー室7	Aグループセミナー7	まとめ	土佐 朋子	9	6/11	11:10-12:00	共用セミナー室7	Bグループセミナー1	「ことば」とは何なのか。	土佐 朋子	10	6/18	11:10-12:00	共用セミナー室7	Bグループセミナー2	言語の構造、その恣意性。シニフィアンとシニフィエーゾシュールー	土佐 朋子	11	6/25	11:10-12:00	共用セミナー室7	Bグループセミナー3	言語過程説―時枝誠記―	土佐 朋子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																	
1	4/16	11:10-12:00	第4ゼミナール室	オリエンテーション	授業の概要説明	土佐 朋子																																																																																	
2	4/23	11:10-12:00	共用セミナー室7	Aグループセミナー1	「ことば」とは何なのか。	土佐 朋子																																																																																	
3	4/30	11:10-12:00	共用セミナー室7	Aグループセミナー2	言語の構造、その恣意性。シニフィアンとシニフィエーゾシュールー	土佐 朋子																																																																																	
4	5/7	11:10-12:00	共用セミナー室7	Aグループセミナー3	言語過程説―時枝誠記―	土佐 朋子																																																																																	
5	5/14	11:10-12:00	共用セミナー室7	Aグループセミナー4	「ことば」の主体―バンヴェニスト―	土佐 朋子																																																																																	
6	5/21	11:10-12:00	共用セミナー室7	Aグループセミナー5	作者の死―ロラン・バルト―	土佐 朋子																																																																																	
7	5/28	11:10-12:00	共用セミナー室7	Aグループセミナー6	作品からテキストへ―ロラン・バルト―	土佐 朋子																																																																																	
8	6/4	11:10-12:00	共用セミナー室7	Aグループセミナー7	まとめ	土佐 朋子																																																																																	
9	6/11	11:10-12:00	共用セミナー室7	Bグループセミナー1	「ことば」とは何なのか。	土佐 朋子																																																																																	
10	6/18	11:10-12:00	共用セミナー室7	Bグループセミナー2	言語の構造、その恣意性。シニフィアンとシニフィエーゾシュールー	土佐 朋子																																																																																	
11	6/25	11:10-12:00	共用セミナー室7	Bグループセミナー3	言語過程説―時枝誠記―	土佐 朋子																																																																																	

12	7/2	11:10-12:00	共用セミナー室7	Bグループセミナー4	「ことば」の主体—バンヴェニスト—	土佐 朋子
13	7/9	11:10-12:00	共用セミナー室7	Bグループセミナー5	作者の死—ロラン・バルト—	土佐 朋子
14	7/16	11:10-12:00	共用セミナー室7	Bグループセミナー6	作品からテキストへ—ロラン・バルト—	土佐 朋子
15	7/23	11:10-12:00	共用セミナー室7	Bグループセミナー7	まとめ	土佐 朋子
16	10/1	11:10-12:00	共用セミナー室7	Cグループセミナー1	「ことば」とは何なのか。	土佐 朋子
17	10/8	11:10-12:00	共用セミナー室7	Cグループセミナー2	言語の構造、その恣意性。シニフィアンとシニフィエ—ソシュール—	土佐 朋子
18	10/22	11:10-12:00	共用セミナー室7	Cグループセミナー3	言語過程説—時枝誠記—	土佐 朋子
19	10/29	11:10-12:00	共用セミナー室7	Cグループセミナー4	「ことば」の主体—バンヴェニスト—	土佐 朋子
20	11/5	11:10-12:00	共用セミナー室7	Cグループセミナー5	作者の死—ロラン・バルト—	土佐 朋子
21	11/12	11:10-12:00	共用セミナー室7	Cグループセミナー6	作品からテキストへ—ロラン・バルト—	土佐 朋子
22	11/19	11:10-12:00	共用セミナー室7	Cグループセミナー7	まとめ	土佐 朋子
23	11/26	11:10-12:00	第4ゼミナル室	総括セミナー1	セミナー論文執筆にむけて	土佐 朋子
24	12/3	11:10-12:00	第4ゼミナル室	総括セミナー2	人間と「ことば」・医療と「ことば」	土佐 朋子
25	12/10	11:10-12:00	第4ゼミナル室	総括セミナー3	中間発表①	土佐 朋子
26	12/17	11:10-12:00	第4ゼミナル室	合同総括セミナー	中間発表②	土佐 朋子
27	1/14	11:10-12:00	第4ゼミナル室	総括セミナー5	中間発表③	土佐 朋子
28	1/21	11:10-12:00	第4ゼミナル室	総括セミナー6	中間発表④	土佐 朋子
29	1/28	11:10-12:00	第4ゼミナル室	総括セミナー7	中間発表⑤	土佐 朋子
30	2/4	11:10-12:00	第4ゼミナル室	総括セミナー8	中間発表⑥	土佐 朋子
授業方法 演習形式。						
授業内容 10人程度のグループごとに、文献にもとづく演習を行う。 扱う文献は、ソシュール、ヴァンヴェニスト、時枝誠記、ロラン・バルトの各論考の予定だが、変更すること可能性もある。演習方式については授業中に説明する。詳しい日程は、授業詳細日程を参照のこと。						
成績評価の方法 評価:試験 0%・セミナー論文 50% その他(授業への参加度・発表内容等) 50% 再評価:有(再評価方法 再レポート)						

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示
文献をしっかりと読むこと。発表には全力で取り組むこと。セミナー論文で取り組む具体的な問題を早めに考えること。
教科書
プリントを使用する。
参考書
ロラン・バルト『物語の構造分析』（みすず書房、1979）、同『言語のざわめき』（みすず書房、1987）、同『零度のエクリチュール』（ちくま学芸文庫、1999）、同『恋愛のディスクール・断章』（みすず書房、1980）E・バンヴェニスト『一般言語学の諸問題』（みすず書房、1983）、時枝誠記『国語学原論』（岩波文庫、2007）、ソシュール『一般言語学講義』（岩波書店、1972）、野家啓一『物語の哲学』（岩波現代文庫、2005）、吉本隆明『定本 言語にとって美とは何か I・II』（角川ソフィア文庫、2001）、シュタンツェル『物語の構造』（岩波書店、1989）、大森荘蔵『時間と自我』（青土社、1992）、同『時間と存在』（同、1994）、野口裕二編『ナラティヴ・アプローチ』（勁草書房、2009）、ブルーナー『ストーリーの心理学』（ミネルヴァ書房、2007）、丸山圭三郎『言葉とは何か』（ちくま学芸文庫、2008）、磯部光章『話を聞かない医師 思いが言えない患者』（集英社新書、2011）など。このほか、授業中に紹介する。
履修上の注意事項
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
連絡先
tosa.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
毎週水曜 PM.12:30-PM.14:50
管理研究棟 2 階文学研究室

時間割番号	000806					
科目名	主題別人文社会科学セミナー(制度と人間)					
担当教員	青山 豊					
開講時期	通年	対象年次	3			
曜日・時間:木曜日 3 時限(11 時 10 分～12 時)						
受講資格: 主題「制度と人間」コースであること						
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－2)、1－9)、1－10)、3－3)						
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－2 2－3						
授業の目的、概要等						
憲法は何のためにあるのか。立憲主義とはどういう考えなのか。憲法は私たちに明るい未来を保障するどころか、時には人々の生活や生命をも左右する「危険」な存在になりうる。改憲論議が高まりつつある現在、憲法にまつわる様々な誤解や幻想を指摘しながら、その本質についての冷静な考察を促すことを目指す。						
授業の到達目標(SB0s)						
現代国家における立憲主義と民主主義との併存可能性を制度構造の観点から説明できるようになること。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	11:10-12:00	大学院講義室 3	オリエンテーション	セミナーの概要説明	青山 豊
2	4/23	11:10-12:00	共用セミナー室 10	A グループ・セミナー1	公共としての国家	青山 豊
3	4/30	11:10-12:00	共用セミナー室 10	A グループ・セミナー2	立憲主義と共和主義	青山 豊
4	5/7	11:10-12:00	共用セミナー室 10	A グループ・セミナー3	オムとシトワイアン	青山 豊
5	5/14	11:10-12:00	共用セミナー室 10	A グループ・セミナー4	民主主義から立憲主義へ	青山 豊
6	5/21	11:10-12:00	共用セミナー室 10	A グループ・セミナー5	国家と宗教	青山 豊
7	5/28	11:10-12:00	共用セミナー室 10	A グループ・セミナー6	自由と福祉	青山 豊
8	6/4	11:10-12:00	共用セミナー室 10	A グループ・セミナー7	自由の相互承認としての憲法	青山 豊
9	6/11	11:10-12:00	共用セミナー室 10	B グループ・セミナー1	公共としての国家	青山 豊
10	6/18	11:10-12:00	共用セミナー室 10	B グループ・セミナー2	立憲主義と共和主義	青山 豊
11	6/25	11:10-12:00	共用セミナー室 10	B グループ・セミナー3	オムとシトワイアン	青山 豊
12	7/2	11:10-12:00	共用セミナー室 10	B グループ・セミナー4	民主主義から立憲主義へ	青山 豊

			ナース 10			
13	7/9	11:10-12:00	共用セミ ナース 10	B グループ・セミナー5	国家と宗教	青山 豊
14	7/16	11:10-12:00	共用セミ ナース 10	B グループ・セミナー6	自由と福祉	青山 豊
15	7/23	11:10-12:00	共用セミ ナース 10	B グループ・セミナー7	自由の相互承認としての憲法	青山 豊
16	10/1	11:10-12:00	共用セミ ナース 10	C グループ・セミナー1	公共としての国家	青山 豊
17	10/8	11:10-12:00	共用セミ ナース 10	C グループ・セミナー2	立憲主義と共和主義	青山 豊
18	10/22	11:10-12:00	共用セミ ナース 10	C グループ・セミナー3	オムとシトワイアン	青山 豊
19	10/29	11:10-12:00	共用セミ ナース 10	C グループ・セミナー4	民主主義から立憲主義へ	青山 豊
20	11/5	11:10-12:00	共用セミ ナース 10	C グループ・セミナー5	国家と宗教	青山 豊
21	11/12	11:10-12:00	共用セミ ナース 10	C グループ・セミナー6	自由と福祉	青山 豊
22	11/19	11:10-12:00	共用セミ ナース 10	C グループ・セミナー7	自由の相互承認としての憲法	青山 豊
23	11/26	11:10-12:00	大学院講 義室3	総括セミナー1	自由について	青山 豊
24	12/3	11:10-12:00	大学院講 義室3	総括セミナー2	公共について	青山 豊
25	12/10	11:10-12:00	大学院講 義室3	総括セミナー3	福祉について	青山 豊
26	12/17	11:10-12:00	大学院講 義室3	総括セミナー4	制度の構想について	青山 豊
27	1/14	11:10-12:00	大学院講 義室3	合同総括セミナー	中間発表①	青山 豊
28	1/21	11:10-12:00	大学院講 義室3	総括セミナー6	中間発表②	青山 豊
29	1/28	11:10-12:00	大学院講 義室3	総括セミナー7	中間発表③	青山 豊
30	2/4	11:10-12:00	大学院講 義室3	総括セミナー8	まとめ	青山 豊
授業方法						

講義とゼミを並行的に行う
授業内容 第1回 立憲主義の成立 第2回 日本の伝統と公私の区分 第3回 憲法改正論議を考える 第4回 立憲主義と冷戦後の世界 第5回 立憲主義と民主主義 第6回 民主主義になぜ憲法が必要か 第7回 二元的民主政
成績評価の方法 評価：試験 0 % ・ レポート 85 % ・ その他(出席)15 % 再評価：有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 指定教科書および配布プリントを事前に必ず精読し、配布プリント記載の例題に対応すること
教科書 長谷部恭男『憲法とは何か』(岩波新書、2006年)
参考書 愛敬浩二『改憲問題』(ちくま新書、2006年)、宇野重規『〈私〉時代のデモクラシー』(岩波新書、2010年)、佐々木毅『民主主義という不思議な仕組み』(ちくまプリマー新書、2007年)、杉田敦『デモクラシーの論じ方ー論争の政治』(ちくま新書、2001年)、長谷部恭男『憲法と平和を問いなおす』(ちくま新書、2004年)、樋口陽一『個人と国家』(集英社新書、2000年)
履修上の注意事項 毎回出欠を確認します。10分以上の遅刻は欠席扱いとなり、減点対象になりますので気を付けて下さい
連絡先 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000807					
科目名	主題別人文社会科学セミナー(時間と人間)					
担当教員	飯田 卓					
開講時期	通年	対象年次	3			
曜日・時間: 木曜 3 限						
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)、1-4)、2-5)						
授業の目的、概要等						
本セミナーでは、時間の観点から、人間あるいは人間の生死の問題を理解することを目指します。ただし、時間そのものを素朴に自明視したまま、人間について中心的に考察するわけではありません。言い換えれば、人間の意識や行為(あるいはそれらの基底にあるリズム)から独立して時間なるものが存在すると想定したうえで、そのような時間が一方的に人間を規定・拘束する在り方を考察するものではありません。時間の実在を素朴に認める立場には、時間についての常識的見方だけでなく、キリスト教における世界創造説や近代以降の自然科学的見方、人文・社会科学的見方もその大部分が含まれますが、ここでの目的はむしろそのような見方を批判的に吟味しながら、時間と人間について考察することにあります。 時間を無条件に実体化して考える実在論的独断や、時間を主観的観念あるいは意識に還元する観念論的独断に陥ることなく、時間について考察しようとするならば、①「時間について探求するアプローチ」と、②「時間の観点から人間について探求するアプローチ」とを便宜的に区別したうえで、①においては時間の量的位相(物理的・客観的時間等)または時間の質的位相(過去・現在・未来という様相あるいは体験的・行為的時間等)の一方のみをもって時間の本質とみなすのではなく、両者の相互反映的な関係を問うことが、②においては①を踏まえた時間的観点から、特定の歴史的・文化的な社会に位置づけられた人間の在り方を問わなければなりません。すなわち、時間を二つ以上の出来事(変化)の相関(人間のリズム・意識・行為等と、天体の運動・時計等との相関)と捉えたうえで、両者を媒介する意味(時間的意味)に注目し、時間というものが——さまざまな社会・文化・歴史的状況——に置かれた人間(の行為)を経由してはじめてその時間的意味を獲得し(現在の行為における関心によって先取りされる未来とのかかわりが時間に実質と意味を与える)、同時にこのような仕方でも構成された時間を背景として人間(の行為)もまた成立するという、いわば自己言及的な循環から時間と人間との関係を考察する必要があるのです。						
授業の到達目標(SBOs)						
時間に関するかぎり、「〇〇とは何か」という問い方は、十分に吟味しなければ決して正しい問いの立て方とは言えません。というのは、「時間とは何か」という問いの形式そのものが、時間についての一定の先入見に基づいているために、それを吟味しなければ、この問いは問いとして正当かつ十分な資格を持ちえないからです。時間についての問い方が誤っているということは、時間にアプローチするための基本的な姿勢が誤っていることにほかならないのです。このことを踏まえて本セミナーでは、まず文献講読と討議を通して、時間を自明視しない姿勢を身につけること。つぎに(いかなる意味においてであれ)人間とかかわらせながら時間について考察できるようになること。そのうえで、各自の興味・関心にしたがって(生物的時間であれ、物理的時間であれ、社会的時間であれ、心理的時間であれ、歴史的時間であれ、哲学的時間であれ、文学的時間であれ、音楽的時間であれ・・・)最終的に提出する「セミナー論文」において、時間と人間に関する問いを正しく設定し、一定の結論を導くことができるようになること。以上のことを到達目標とします。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	11:10-12:00	大学院講義室 4	オリエンテーション	授業の概要説明	飯田 卓
2	4/23	11:10-12:00	共用セミナー室 12	Aグループセミナー1	「時間と人間」に関する文献選定等	飯田 卓
3	4/30	11:10-12:00	共用セミナー室 12	Aグループセミナー2	「時間と人間」に関する文献発表・討議①	飯田 卓
4	5/7	11:10-12:00	共用セミナー室 12	Aグループセミナー3	「時間と人間」に関する文献発表・討議②	飯田 卓
5	5/14	11:10-12:00	共用セミナー室 12	Aグループセミナー4	「時間と人間」に関する文献発表・討議③	飯田 卓
6	5/21	11:10-12:00	共用セミナー室 12	Aグループセミナー5	「時間と人間」に関する文献発表・	飯田 卓

			ナース 12		討議④	
7	5/28	11:10-12:00	共用セミ ナース 12	Aグループセミナー6	「時間と人間」に関する文献発表・ 討議⑤	飯田 卓
8	6/4	11:10-12:00	共用セミ ナース 12	Aグループセミナー7	「時間と人間」に関する文献発表・ 討議⑥	飯田 卓
9	6/11	11:10-12:00	共用セミ ナース 12	Bグループセミナー1	「時間と人間」に関する文献選定等	飯田 卓
10	6/18	11:10-12:00	共用セミ ナース 12	Bグループセミナー2	「時間と人間」に関する文献発表・ 討議①	飯田 卓
11	6/25	11:10-12:00	共用セミ ナース 12	Bグループセミナー3	「時間と人間」に関する文献発表・ 討議②	飯田 卓
12	7/2	11:10-12:00	共用セミ ナース 12	Bグループセミナー4	「時間と人間」に関する文献発表・ 討議③	飯田 卓
13	7/9	11:10-12:00	共用セミ ナース 12	Bグループセミナー5	「時間と人間」に関する文献発表・ 討議④	飯田 卓
14	7/16	11:10-12:00	共用セミ ナース 12	Bグループセミナー6	「時間と人間」に関する文献発表・ 討議⑤	飯田 卓
15	7/23	11:10-12:00	共用セミ ナース 12	Bグループセミナー7	「時間と人間」に関する文献発表・ 討議⑥	飯田 卓
16	10/1	11:10-12:00	共用セミ ナース 12	Cグループセミナー1	「時間と人間」に関する文献選定等	飯田 卓
17	10/8	11:10-12:00	共用セミ ナース 12	Cグループセミナー2	「時間と人間」に関する文献発表・ 討議①	飯田 卓
18	10/22	11:10-12:00	共用セミ ナース 12	Cグループセミナー3	「時間と人間」に関する文献発表・ 討議②	飯田 卓
19	10/29	11:10-12:00	共用セミ ナース 12	Cグループセミナー4	「時間と人間」に関する文献発表・ 討議③	飯田 卓
20	11/5	11:10-12:00	共用セミ ナース 12	Cグループセミナー5	「時間と人間」に関する文献発表・ 討議④	飯田 卓
21	11/12	11:10-12:00	共用セミ ナース 12	Cグループセミナー6	「時間と人間」に関する文献発表・ 討議⑤	飯田 卓
22	11/19	11:10-12:00	共用セミ ナース 12	Cグループセミナー7	「時間と人間」に関する文献発表・ 討議⑥	飯田 卓

			12				
23	11/26	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー1	セミナー論文執筆にむけて	飯田 卓	
24	12/3	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー2	セミナー論文構想発表①	飯田 卓	
25	12/10	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー3	セミナー論文構想発表②	飯田 卓	
26	12/17	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー4	セミナー論文構想発表③	飯田 卓	
27	1/14	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー5	セミナー論文構想発表④	飯田 卓	
28	1/21	11:10-12:00	大学院講義室 4	合同総括セミナー	セミナー論文構想発表⑤	飯田 卓	
29	1/28	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー7	セミナー論文構想発表⑥	飯田 卓	
30	2/4	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー8	補講	飯田 卓	
授業方法							
セミナー形式							
授業内容							
授業はセミナー形式(ゼミナール形式)で進めてゆきますので、各回とも履修者各自による発表・質問と討議が中心となります。前半(グループ別)では履修者の関心に沿って時間に関する文献をいくつか選び、それらを全員で講読します。具体的には履修者のあいだで分担(発表・質問担当)を決め、発表担当者にはパワーポイントを用いて内容について報告を行っていただきます。そして報告された内容をもとに討議を行うという仕方です。後半(グループ合同)では各自の関心にしがった研究の成果を報告していただき、その報告をもとに討議を行うという仕方です。							
成績評価の方法							
評価：試験 % ・ レポート(セミナー論文) 80% ・ その他(出席・コメントシート等) 20% 再評価：有(セミナー論文再提出)							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示							
配布された文献は次回までに目を通しておいください。							
教科書							
特に必要ありません。							
参考書							
教場にて適宜指示しますが、さしあたり以下の文献を挙げておきます。H・ベルクソン『意識に直接与えられたものについての試論』ちくま学芸文庫、E・マツハ『時間と空間』法政大学出版局、P・ホーウィッチ『時間に向きはあるか』丸善、R・モリス『時間の矢』地人選書、B・リベット『マインド・タイム 脳と意識の時間』岩波書店、E・ヘッペル『意識のなかの時間』岩波書店渡辺慧『時』河出書房新社、滝浦静雄『時間』岩波新書、植村恒一郎『時間の本性』勁草書房、入不二基義『時間は実在するか』講談社現代新書、B・アダム『時間の社会理論』法政大学出版局、野家啓一『物語の哲学』岩波現代文庫、真木悠介『時間の比 較社会学』岩波現代文庫、中村秀吉『時間のパラドックス』中公新書、木村敏『時間と自己』中公新書、広井良典『死生観を問いなおす』ちくま新書、大森荘蔵『時は流れず』青土社、吉田健一『時間』講談社文芸文庫、加藤周一『日本文化における時間と空間』岩波書店、等							
履修上の注意事項							
毎回コメントシートを配布し、出欠をとります。							
連絡先							
教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。							
オフィスアワー							
教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。							

東京医科歯科大学全学共通科目履修規則

平成 16 年 4 月 1 日
規則 第 217 号

(趣旨)

第 1 条 東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目（以下「全学共通科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成 16 年規程第 4 号。以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(授業科目の編成)

第 2 条 全学共通科目における授業科目は、次の 4 系をもって編成する。

自由教育講義系
自由教育実習系
自由教育セミナー系
基礎教育系

(授業科目及び単位数)

第 3 条 前条の各系に属する授業科目及び修得すべき単位数等は、別表 1 に定めるとおりとする。

2 前項の授業科目及び修得すべき単位数等は、教養部教授会の議を経て定めるものとする。

(1 単位当たりの授業時間)

第 4 条 学則第 36 条に定める 1 単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- (1) 講義については、15 時間
- (2) 演習については、30 時間
- (3) 実験及び実習については、45 時間

(履修届)

第 5 条 学生は、別に定める授業科目の中から、履修しようとする授業科目を所定の期日までに届け出なければならない。

(定期試験)

第 6 条 履修した授業科目については、試験を行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、実験、実習を伴う授業科目又は試験を行うことが困難な授業科目等で、平常の学修の成果を評価して成績を与えることが適切と認められる場合には、試験によらず、指定した課題についての報告等をもって試験に代えることができる。
- 3 第 1 項の試験については、別に定める。
- 4 試験に合格したときは、所定の単位を与える。

(学習の評価)

第 7 条 履修した授業科目の成績については、別表 2 により学習の評価を行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、前条第 2 項に該当する授業科目のうち、第 1 項により難しい場合の学習の評価は、別表 3 により行う。

- 3 第1項及び第2項の学習の評価に、平常の学修の成果を加味することができる。
- 4 教養部長は、学習の評価の結果を学生に通知する。

(再履修)

第8条 前条により、「不可」又は「不合格」の評価を得た授業科目については、所定の手続きにより再履修することができる。

(懲戒)

第9条 教養部長は、懲戒に相当すると思われる行為があったときは、学則第58条に定める懲戒の手続きをとるものとする。なお、手続きについては別に定める。

(進級要件)

- 第10条 別表1(1)に定める単位をすべて修得しなければ、第2学年に進級することができない。
- 2 別表1(2)に定める単位をすべて修得しなければ、第3学年に進級することができない。
- 3 別表1(3)に定める単位をすべて修得しなければ、第4学年に進級することができない。
- 4 全学共通科目の単位の認定については、教養部教授会の議を経て、教養部長がこれを行う。
- 5 教養部長は、前項の認定の結果について各学部長に通知する。
- 6 2年以内に、別表1(1)に定める単位をすべて修得することができない学生には、学則第33条による退学を命ずる。ただし、当該期間には、休学の期間を算入しない。

(歯学部口腔保健学科編入学生の履修)

第11条 学則第18条及び第18条の2に定める歯学部口腔保健学科編入学生の全学共通科目に係る履修については、別に定める。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、全学共通科目の履修に関する必要な事項は、教養部教授会が別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学に平成16年3月31日に在学し、引き続き本学の在学者となったもの(以下「在学者」という。)及び平成16年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者の教育課程の履修については、この規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成18年3月31日規則第10号)

- 1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 平成18年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)および平成18年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成20年3月31日規則第8号)

- 1 この規則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年3月31日において現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成20年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表(1)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 21 年 3 月 19 日規則第 11 号）

- 1 この規則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 21 年 3 月 31 日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 21 年 4 月 1 日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（1）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 22 年 3 月 30 日規則第 40 号）

- 1 この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 22 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 22 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表 1、別表 2 及び別表 3 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 23 年 3 月 4 日規則第 14 号）

- 1 この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 23 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 23 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

別表1 (1) 省略

(2)第2学年

授 業 科 目			修 得 す べ き 単 位 数						備 考
			医 学 部			歯 学 部			
			医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科		
				看護学 専攻	検査技 術学専 攻		口腔保 健衛生 学専攻	口腔保 健工学 専攻	
基礎 教育系	教養 教育	生命科学基礎	2			2			
		主題別選択Ⅰ	1			1			
	連携 教育	教養英語				4			
		情報科学演習				1			
		サイエンスPBL				1			
		生命科学(人体の生物学)				2			
		生命科学(生物物理化学)				2			
		人文社会科学総合講義				2			
第2学年 小計			3			15			

(3)第3学年

授 業 科 目			修 得 す べ き 単 位 数						備 考
			医 学 部			歯 学 部			
			医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科		
				看護学 専攻	検査技 術学専 攻		口腔保 健衛生 学専攻	口腔保 健工学 専攻	
基礎 教育系	教養 教育	主題別選択Ⅱ	1			1			
		主題別人文社会科学セ ミナー	2			2			
第3学年 小計			3			3			
全学共通科目 合計			40	29	32	52	26	26	

別表2

摘 要	成績区分	評価区分	単位認定
第7条第1項に該当する授業科目	100～90 点	秀	合格
	89～80 点	優	
	79～70 点	良	
	69～60 点	可	
	59～0 点	不可	不合格

別表3

摘 要	成績区分	評価区分	単位認定
第7条第2項に該当する授業科目	—	合格	合格
	—	不合格	不合格